

【 医 学 部 】

第 2 学 年

<総合科学系>

自然科学

統計学Ⅰ……………2- 1

統計学Ⅱ……………2- 2

語 学

英語ⅢA……………2- 3

英語ⅢB……………2- 4

英語ⅣA……………2- 5

英語ⅣB……………2- 6

<生命科学・社会医学系>

解剖学・組織学Ⅰ

人体発生学……………2- 7

肉眼解剖学……………2- 8

組織学……………2- 9

解剖学・組織学Ⅱ

脳解剖学……………2-10

分子細胞生物学Ⅱ……………2-11

生化学実習……………2-12

生理学

器官生理学……………2-13

神経生理学……………2-14

薬理学……………2-15

生理学・薬理学実習……………2-16

微生物学……………2-17

免疫学……………2-18

病理学

病理学総論Ⅰ……………2-19

病理学総論Ⅱ……………2-20

<臨床医学系>

漢方医学Ⅰ……………2-21

腎・泌尿器……………2-22

内科学総論……………2-23

<総合教育>

臨床解剖学……………2-24

基礎特別講義……………2-25

チュートリアルⅡ……………2-26

行動科学Ⅲ（こころと病Ⅰ）…2-27

基礎臨床統合……………2-28

腫瘍学演習……………2-29

医学概論……………2-30

科目・コース（ユニット）名： 統計学 I

英語名称： Statistics I

【担当責任者】 中村 信裕

【開講年次】 2年, 【学期】 前期 【必修／選択】 必修

【授業形態】 講義

【概要】 統計学はデータサイエンスの基礎をなし、医学を含むあらゆる自然科学・社会科学の分野において広く応用されている。統計学では多くの個体からなる集団から一部分の個体をデータとして取り出し、そのデータから、集団全体としての性質を推測するのであるが、その推論の裏付けとなるのが確率論である。本授業では統計理論の基礎となる確率論を学び、さらに、統計学の基礎概念が確率論の言葉を用いてどのように形成されるのかを学ぶ。

【学習目標】

1. 確率論的なものの見方が理解でき、確率変数、確率分布に関する基本事項が理解できる。
2. 観察、実験によって得られたデータは、確率変数の実現値として捉えることができ、確率変数とその分布の理論に基づいて解析されることが理解できる。

【教科書】 D. Diez, M. Cetinkaya-Rundel and C. Barr 著, 国友直人, 小暮厚之, 吉田靖訳 : データ分析のための統計学入門, 原著第4版 [http://www.kunitomo-lab.sakura.ne.jp/2021-3-30open\(S\).pdf](http://www.kunitomo-lab.sakura.ne.jp/2021-3-30open(S).pdf)

【参考書】 日本統計学会編：統計学基礎(東京図書)
高遠節夫 他著『新確率統計』大日本図書

【成績評価方法】 中間試験、期末試験、平常点、レポート等により評価する。
出席については規定に基づき、原則として2/3以上の出席を要する。

【学習上の注意事項】 講義の進度に応じて適時小テストを行う。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2024/4/10	水	1	(講) 確率と確率変数	中村信裕
2	2024/4/17	水	1	(講) 離散型確率分布(二項分布, ポアソン分布), 期待値, 分散	
3	2024/4/24	水	1	(講) 連続型確率分布 1(一様分布, 正規分布)	
4	2024/5/1	水	1	(講) 連続型確率分布 2(変数変換公式とその応用)	
5	2024/5/8	水	1	(講) 確率ベクトルと同時確率分布 1(離散型)	
6	2024/5/15	水	1	(講) 確率ベクトルと同時確率分布 2(連続型)	
7	2024/5/22	水	1	(講) 正規分布の再生性	
8	2024/5/29	水	1	(講) 第1～7回講義内容についての総括(テスト)	
9	2024/6/5	水	1	(講) チェビシェフの不等式, 大数の法則	
10	2024/6/12	水	1	(講) 中心極限定理, 二項分布の正規近似	
11	2024/6/19	水	1	(講) 標本分布, 特にカイ自乗分布	
12	2024/6/26	水	1	(講) 偏差平方和とカイ自乗分布	
13	2024/7/3	水	1	(講) 点推定(不偏推定量, 最尤推定量)	
14	2024/7/10	水	1	(講) 区間推定 1(信頼係数, 信頼区間, 信頼限界)	
15	2024/7/17	水	1	(講) 区間推定 2(母平均, 母分散, 母比率の区間推定)	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
中村信裕	教授	総合科学教育研究センター(数物・情報・統計科学領域)

科目・コース（ユニット）名：統計学Ⅱ
英語名称：StatisticsⅡ

【担当責任者】中村 信裕

【開講年次】 2年, 【学期】後期【必修／選択】必修

【授業形態】 講義

【概要】統計学は医学を含むあらゆる自然科学・社会科学の分野において広く応用されており、現代のほとんどすべての科学的判断の根拠は統計学にあると言ってよい。本授業では、実際の観測、実験、調査などの結果を統計的に処理するのに必要となる基礎概念、基礎事項を学習する。

【学習目標】

1. 観察、実験によって得られた標本を、確率論的なモデルの中の偶然的な現象として捉えることができる。
2. 統計的推測の原則と方法を理解し、統計手法の具体的な取り扱いを習得する。

【教科書】D.Diez, M.Cetinkaya-Rundel and C.Barr 著, 国友直人, 小暮厚之, 吉田靖訳
: データ分析のための統計学入門, 原著第4版 [http://www.kunitomo-lab.sakura.ne.jp/2021-3-30open\(S\).pdf](http://www.kunitomo-lab.sakura.ne.jp/2021-3-30open(S).pdf)

【参考書】日本統計学会編：統計学基礎(東京図書)

【成績評価方法】試験、平常点、レポート等により評価する。

出席については規定に基づき、原則として2/3以上の出席を要する。

【学習上の注意事項】 講義の進度に応じて適時小テストを行う。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2024/9/5	木	1	(講) 統計的仮説検定の一般論 (仮説、有意水準、棄却域、棄却)	中村信裕
2	2024/9/12	木	1	(講) 母平均・母分散の検定	
3	2024/9/19	木	1	(講) 母平均の差の検定, 等分散の検定, Welch の検定	
4	2024/9/26	木	1	(講) 対応のある母平均の差の検定, 母比率の検定	
5	2024/10/3	木	1	(講) 検出力とサンプルサイズ	
6	2024/10/10	木	1	(講) カテゴリカルデータの分析 1 (カイ自乗適合度検定, 独立性の検定)	
7	2024/10/17	木	1	(講) カテゴリカルデータの分析 2 (Fisher の直接確率の方法, 分布の適合度検定), 最尤推定量	
8	2024/10/24	木	1	(講)総括(1 回目から 7 回目までの総括 (テスト))	
9	2024/10/31	木	1	(講)分散分析 1 (一元配置分散分析)	
10	2024/11/7	木	1	(講)分散分析 2 (多重比較, 二元配置分散分析)	
11	2024/11/14	木	1	(講)分散分析 3 (二元配置分散分析の続き)	
12	2024/11/21	木	1	(講) 回帰分析 1 (単回帰, 回帰係数, 回帰係数の検定)	
13	2024/11/28	木	1	(講) 回帰分析 2 (重回帰, 偏回帰係数の検定)	
14	2024/12/5	木	1	(講)ノンパラメトリック法 1 (Wilcoxon の順位和検定)	
15	2024/12/12	木	1	(講)ノンパラメトリック法 2 (Kruskal-Wallis の検定), 数学的補遺	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
中村信裕	教授	総合科学教育研究センター (数物・情報・統計科学領域)

科目・コース（ユニット）名：英語 IIIA

英語名称：English IIIA

【担当責任者】藤平明彦アンドリュー（英語 IIIA), Peter McCann（英語 IIIA/B)

【開講年次】2年, 【学期】前期 【必修／選択】必修

【授業形態】演習

【概要】

<コース分け>

英語 III には、(1) 英語 IIIA を藤平が担当し、英語 IIIB を中山が担当するコースと、(2) 英語 IIIA と英語 IIIB の両方を McCann が担当する上級者向けのコース（定員25名前後）の2コースがある。受講者は(1)、(2) どちらかのコースを選択する。1回目の授業をガイダンスとし、詳細はそこで説明するので必ず出席すること。

(1) のコースを選択した場合、受講者は2つの班に分かれて授業を受ける。各班とも次回以降、毎週、藤平（英語 IIIA）と中山（英語 IIIB）のクラスを交互に受講する。例えば、火曜日に英語 IIIA を受講した班は、木曜日には英語 IIIB を受講する。スケジュールの詳細は下記「授業計画」を参照のこと。中山の英語 IIIB の詳細については、シラバスの英語 IIIB のページを参照のこと。

(2) のコースを選択した場合、英語 IIIA と英語 IIIB は統合され、受講者は火曜日と木曜日のすべての授業を McCann のクラスで受ける。

<授業概要>

藤平担当クラス

Conducted in English, this class is an opportunity for students to develop their discussion skills in a small group setting. Students will facilitate discussions on a variety of topics and practice active listening through agreeing and disagreeing with one another.

McCann担当クラス

Conducted in English, this course represents a series of opportunities to meet twice weekly and to communicate in English: one of the twice weekly classes focuses on themes of basic practical medicine, while the second class of the week moves away from medicine to look at essays and speeches concerning a wider range of social and health-related topics.

【学習目標】

藤平担当クラス

The aim of the course is to allow students to become more comfortable using English to exchange opinions with one another. Participants will also learn how to be an active listener who contributes to a more productive discussion. Students will practice listening online before class.

科目・コース（ユニット）名：英語 IIIA

英語名称：English IIIA

McCann担当クラス

Participants will develop the ability to read medical textbooks with greater accuracy and fluency.

Participants will develop spoken communication skills, including personal communication strategies designed to gather and share information.

【教科書】

藤平担当クラス

Materials will be posted online or provided by the instructor.

McCann担当クラス

Details of class materials will be given during the “Guidance” session.

【参考書】

藤平担当クラス

N/A

McCann担当クラス

- *Professional English in Use: Medicine*, by Eric H. Glendinning & Ron Howard (Cambridge University Press)
- Additional materials to be indicated at “guidance” session.

【成績評価方法】

藤平担当クラス

Final Review: 40%

Listening Homework: 20% (exercises for each topic done online)

Vocabulary Quizzes: 20% (done at the beginning of class each week)

Group Discussions: 10% (weekly evaluations by facilitators)

Attendance: 10% (students must attend at least 10 of the 15 sessions)

McCann担当クラス

Attendance: 20%; attitude and contribution to class morale: 20%; final examination 60%.

Students must attend at least two-thirds (20 sessions) of all classes in order to be awarded the credits for this course.

Participants in this course must be willing to communicate positively with their classmates.

【学習上の注意事項】

藤平担当クラス

Participants must be willing to converse actively with their classmates in English.

科目・コース（ユニット）名：英語 IIIA

英語名称：English IIIA

McCann担当クラス

Participants must be willing to converse actively with their classmates in English.

【垂直的統合授業の実施内容】該当なし

【水平的統合授業の実施内容】該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】該当なし

【授業スケジュール】

藤平担当クラス

【1班】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/4/4	木	1	Guidance	藤平明彦アンドリュー
2	24/4/11	木	1	(演) Introductions	藤平明彦アンドリュー
3	24/4/18	木	1	(演) Movies	藤平明彦アンドリュー
4	24/4/25	木	1	(演) Health & Fitness	藤平明彦アンドリュー
5	24/5/2	木	1	(演) Music	藤平明彦アンドリュー
6	24/5/9	木	1	(演) TV	藤平明彦アンドリュー
7	24/5/16	木	1	(演) Holidays	藤平明彦アンドリュー
8	24/5/23	木	1	(演) Animals	藤平明彦アンドリュー
9	24/5/30	木	1	(演) Fashion	藤平明彦アンドリュー
10	24/6/6	木	1	(演) Food	藤平明彦アンドリュー
11	24/6/13	木	1	(演) Sports	藤平明彦アンドリュー
12	24/6/20	木	1	(演) School	藤平明彦アンドリュー
13	24/6/27	木	1	(演) Travel	藤平明彦アンドリュー
14	24/7/4	木	1	(演) Shopping	藤平明彦アンドリュー

科目・コース（ユニット）名：英語 IIIA

英語名称：English IIIA

15	24/7/18	木	1	(演) Final Review	藤平明彦アンドリュー
----	---------	---	---	------------------	------------

【2班】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/4/4	木	1	Guidance	藤平明彦アンドリュー
2	24/4/9	火	2	(演) Introductions	藤平明彦アンドリュー
3	24/4/16	火	2	(演) Movies	藤平明彦アンドリュー
4	24/4/23	火	2	(演) Health & Fitness	藤平明彦アンドリュー
5	24/4/30	火	2	(演) Music	藤平明彦アンドリュー
6	24/5/7	火	2	(演) TV	藤平明彦アンドリュー
7	24/5/14	火	2	(演) Holidays	藤平明彦アンドリュー
8	24/5/21	火	2	(演) Animals	藤平明彦アンドリュー
9	24/5/28	火	2	(演) Fashion	藤平明彦アンドリュー
10	24/6/4	火	2	(演) Food	藤平明彦アンドリュー
11	24/6/11	火	2	(演) Sports	藤平明彦アンドリュー
12	24/6/18	火	2	(演) School	藤平明彦アンドリュー
13	24/6/25	火	2	(演) Travel	藤平明彦アンドリュー
14	24/7/2	火	2	(演) Shopping	藤平明彦アンドリュー
15	24/7/9	火	2	(演) Final Review	藤平明彦アンドリュー

McCann担当クラス (English IIIA/B)

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/4/4	木	1	Guidance	Peter McCann

科目・コース（ユニット）名：英語 IIIA

英語名称：English IIIA

2	24/4/9	火	2	(演) Essay and Discussion: My club activities	Peter McCann
3	24/4/11	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Medical Treatment	Peter McCann
4	24/4/16	火	2	(演) Essay and Discussion: How committed are you to learning English?	Peter McCann
5	24/4/18	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Surgical treatment	Peter McCann
6	24/4/23	火	2	(演) Essay and Discussion: What do you want to do with your life?	Peter McCann
7	24/4/25	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Therapies	Peter McCann
8	24/4/30	火	2	(演) Essay and Discussion: How do you keep fit?	Peter McCann
9	24/5/2	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Screening and immunization	Peter McCann
10	24/5/7	火	2	(演) Essay and Discussion: Pet owners should be responsible for their pets – until the end.	Peter McCann
11	24/5/9	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Epidemiology	Peter McCann
12	24/5/14	火	2	(演) Essay and Discussion: Domestic violence should not be tolerated.	Peter McCann
13	24/5/16	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Medical ethics	Peter McCann
14	24/5/21	火	2	(演) Essay and Discussion: How can we prevent suicide?	Peter McCann
15	24/5/23	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: U46 Research studies	Peter McCann
16	24/5/28	火	2	(演) Essay and Discussion: Colleges should offer driving lessons	Peter McCann
17	24/5/30	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Taking a history 1	Peter McCann

科目・コース（ユニット）名：英語 IIIA

英語名称：English IIIA

18	24/6/4	火	2	(演) Essay and Discussion: Should the age of adulthood be lowered in Japan?	Peter McCann
19	24/6/6	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Taking a history 2	Peter McCann
20	24/6/11	火	2	(演) Essay and Discussion: Should English be taught in primary schools?	Peter McCann
21	24/6/13	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Taking a history 3	Peter McCann
22	24/6/18	火	2	(演) Essay and Discussion: Should we let children use cellphones?	Peter McCann
23	24/6/20	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Physical examination.	Peter McCann
24	24/6/25	火	2	(演) Essay and Discussion: Should the consumption tax be raised	Peter McCann
25	24/6/27	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Mental state examination.	Peter McCann
26	24/7/2	火	2	(演) Essay and Discussion: Do you vote?	Peter McCann
27	24/7/4	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Explaining diagnosis and management	Peter McCann
28	24/7/9	火	2	(演) Essay and Discussion: How can we reduce CO ₂ emissions to prevent global warming?	Peter McCann
29	24/7/16	火	2	(演) 3A TEST	Peter McCann
30	24/7/18	木	1	(演) 3B TEST	Peter McCann

【担当教員】

教員氏名	職	所属
藤平明彦アンドリュース	教授	総合科学教育研究センター
Peter McCann	非常勤講師	

科目・コース（ユニット）名： 英語 IIIB

英語名称： English IIIB

【担当責任者】 中山仁（英語 IIIB), Peter McCann (英語 IIIA/B)

【開講年次】 2年, 【学期】 前期 【必修／選択】 必修,

【授業形態】 演習

【概要】

<コース分け>

英語 III には、(1) 英語 IIIA 藤平が担当し、英語 IIIB を中山が担当するコースと、(2) 英語 IIIA と英語 IIIB の両方を McCann が担当する上級者向けのコース（定員25名前後）の2コースがある。受講者は(1)、(2)どちらかのコースを選択する。1回目の授業をガイダンスとし、詳細はそこで説明するので必ず出席すること。

(1) のコースを選択した場合、受講者は2つの班に分かれて授業を受ける。各班とも次回以降、毎週、藤平（英語 IIIA）と中山（英語 IIIB）のクラスを交互に受講する。例えば、火曜日に英語 IIIA を受講した班は、木曜日には英語 IIIB を受講する。スケジュールの詳細は下記「授業計画」を参照のこと。藤平 の英語 IIIA の詳細については、英語 IIIA のページを参照のこと。

(2) のコースを選択した場合、英語 IIIA と英語 IIIB は統合され、受講者は火曜日と木曜日のすべての授業を McCann のクラスで受ける。

<授業概要>

中山担当クラス

医学や生命科学で使われる英語のリスニング、リーディングを通して、医学や生命科学の分野で使われる語彙、表現、発音などを学び、それらの理解を深める。

McCann's class

Conducted in English, this course represents a series of opportunities to meet twice weekly and to communicate in English: one of the twice weekly classes focuses on themes of basic practical medicine, while the second class of the week moves away from medicine to look at essays and speeches concerning a wider range of social and health-related topics.

【学習目標】

中山担当クラス

科目・コース（ユニット）名：英語 IIIB

英語名称：English IIIB

医学や生命科学に関する英語のリスニング・リーディングの練習を通して、概要や必要な情報を把握する技能を身につける。また、医学や生命科学で用いられる基本的表現や語彙を身につけ、医学用語を正しく発音できるようにすると同時に、英文を正確に読み取る技能を高める。

- ①医学や生命科学に関する英語を聞いて（または読んで）、概要と必要な情報を把握することができる。
- ②医学や生命科学に関して書かれた英文を正確に読み取ることができる。
- ③医学や生命科学で用いられる基本的表現や語彙を正確に理解することができる。
- ④医学や生命科学で用いられる語彙を正確に発音することができる。
- ⑤相手に正しく伝わるストレスとイントネーションで英文を発話することができる。

McCann's class

Participants will develop the ability to read medical textbooks with greater accuracy and fluency.

Participants will develop spoken communication skills, including personal communication strategies designed to gather and share information.

【教科書】

中山担当クラス

- ・教室で指示をする。

McCann's class

- ・ Details of class materials will be given during the “Guidance” session.

【参考書】

中山担当クラス

Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English, Oxford University Press.

Longman Dictionary of Contemporary English. Pearson Longman.

ウィズダム英和辞典（三省堂書店）

ジーニアス英和辞典（大修館書店）

McCann's class

- ・ *Professional English in Use: Medicine*, by Eric H. Glendinning & Ron Howard (Cambridge University Press)
- ・ Additional materials to be indicated at “guidance” session.

【成績評価方法】

中山担当クラス

期末試験（70%前後）及び小テスト（30%前後）、授業への参加度・貢献度（適宜加点・減点を行う）などに基づいて総合的に評価する。なお、出席が授業回数の3分の2に満たない場合は、期末試験の受験を認めないので注意してください。

科目・コース（ユニット）名： 英語 IIIB

英語名称： English IIIB

McCann's class

Attendance: 20%; attitude and contribution to class morale: 20%; final examination 60%. Students must attend at least two-thirds (20 sessions) of all classes in order to be awarded the credits for this course.

Participants in this course must be willing to communicate positively with their classmates.

【学習上の注意事項】

McCann's class

Participants must be willing to converse actively with their classmates in English.

【垂直的統合授業の実施内容】 該当なし

【水平的統合授業の実施内容】 該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】 該当なし

【授業スケジュール】

中山担当クラス

【1班】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/4/4	木	1	“Guidance” for course as a whole	中山仁
2	24/4/9	火	2	(演) 医療に関する記事(1)／リスニング、ディクテーション、語彙、表現	中山仁
3	24/4/16	火	2	(演) 医療に関する記事(1)／リーディング、語彙、表現、まとめ	中山仁
4	24/4/23	火	2	(演) 医療に関する記事(2)／リスニング、ディクテーション、語彙、表現	中山仁
5	24/4/30	火	2	(演) 医療に関する記事(2)／リーディング、語彙、表現、まとめ	中山仁
6	24/5/7	火	2	(演) 医療に関する記事(3)／リスニング、ディクテーション、語彙、表現	中山仁
7	24/5/14	火	2	(演) 医療に関する記事(3)／リーディング、語彙、表現、まとめ	中山仁
8	24/5/21	火	2	(演) 医療に関する記事(4)／リスニング、ディクテーション、語彙、表現	中山仁
9	24/5/28	火	2	(演) 医療に関する記事(4)／リーディング、語彙、表現、まとめ	中山仁

科目・コース（ユニット）名： 英語 IIIB

英語名称： English IIIB

10	24/6/4	火	2	(演) 医療に関する記事(5)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
11	24/6/11	火	2	(演) 医療に関する記事(5)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁
12	24/6/18	火	2	(演) 医療に関する記事(6)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
13	24/6/25	火	2	(演) 医療に関する記事(6)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁
14	24/7/2	火	2	(演) 医療に関する記事(7)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
15	24/7/9	火	2	(演) 医療に関する記事(7)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁

【2班】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/4/4	木	1	“Guidance” for course as a whole	中山仁
2	24/4/11	木	1	(演) 医療に関する記事(1)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
3	24/4/18	木	1	(演) 医療に関する記事(1)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁
4	24/4/25	木	1	(演) 医療に関する記事(2)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
5	24/5/2	木	1	(演) 医療に関する記事(2)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁
6	24/5/9	木	1	(演) 医療に関する記事(3)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
7	24/5/16	木	1	(演) 医療に関する記事(3)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁
8	24/5/23	木	1	(演) 医療に関する記事(4)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
9	24/5/30	木	1	(演) 医療に関する記事(4)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁
10	24/6/6	木	1	(演) 医療に関する記事(5)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
11	24/6/13	木	1	(演) 医療に関する記事(5)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁
12	24/6/20	木	1	(演) 医療に関する記事(6)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
13	24/6/27	木	1	(演) 医療に関する記事(6)／リーディング, 語彙, 表現, まとめ	中山仁

科目・コース（ユニット）名： 英語 IIIB

英語名称： English IIIB

14	24/7/4	木	1	(演) 医療に関する記事(7)／リスニング, ディクテーション, 語彙, 表現	中山仁
15	24/7/18	木	1	(演) 医療に関する記事(7)／リーディン グ, 語彙, 表現, まとめ	中山仁

McCann's class (English 3A/B)

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/4/4	木	1	Guidance	Peter McCann
2	24/4/9	火	2	(演) Essay and Discussion: My club activities	Peter McCann
3	24/4/11	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Medical Treatment	Peter McCann
4	24/4/16	火	2	(演) Essay and Discussion: How committed are you to learning English?	Peter McCann
5	24/4/18	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Surgical treatment	Peter McCann
6	24/4/23	火	2	(演) Essay and Discussion: What do you want to do with your life?	Peter McCann
7	24/4/25	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Therapies	Peter McCann
8	24/4/30	火	2	(演) Essay and Discussion: How do you keep fit?	Peter McCann
9	24/5/2	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Screening and immunization	Peter McCann
10	24/5/7	火	2	(演) Essay and Discussion: Pet owners should be responsible for their pets – until the end.	Peter McCann
11	24/5/9	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Epidemiology	Peter McCann
12	24/5/14	火	2	(演) Essay and Discussion: Domestic violence should not be tolerated.	Peter McCann
13	24/5/16	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Medical ethics	Peter McCann

科目・コース（ユニット）名： 英語 IIIB

英語名称： English IIIB

14	24/5/21	火	2	(演) Essay and Discussion: How can we prevent suicide?	Peter McCann
15	24/5/23	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: U46 Research studies	Peter McCann
16	24/5/28	火	2	(演) Essay and Discussion: Colleges should offer driving lessons	Peter McCann
17	24/5/30	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Taking a history 1	Peter McCann
18	24/6/4	火	2	(演) Essay and Discussion: Should the age of adulthood be lowered in Japan?	Peter McCann
19	24/6/6	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Taking a history 2	Peter McCann
20	24/6/11	火	2	(演) Essay and Discussion: Should English be taught in primary schools?	Peter McCann
21	24/6/13	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Taking a history 3	Peter McCann
22	24/6/18	火	2	(演) Essay and Discussion: Should we let children use cellphones?	Peter McCann
23	24/6/20	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Physical examination.	Peter McCann
24	24/6/25	火	2	(演) Essay and Discussion: Should the consumption tax be raised	Peter McCann
25	24/6/27	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Mental state examination.	Peter McCann
26	24/7/2	火	2	(演) Essay and Discussion: Do you vote?	Peter McCann
27	24/7/4	木	1	(演) HEALTH EDUCATION: Explaining diagnosis and management	Peter McCann
28	24/7/9	火	2	(演) Essay and Discussion: How can we reduce CO ₂ emissions to prevent global warming?	Peter McCann

科目・コース（ユニット）名：英語 IIIB

英語名称：English IIIB

29	24/7/16	火	2	(演) 3A TEST	Peter McCann
30	24/7/18	木	1	(演) 3B TEST	Peter McCann

【担当教員】

教員氏名	職	所属
中山仁	教授	看護学部総合科学部門（言語学分野）
Peter McCann	非常勤講師	

科目・コース（ユニット）名：英語 IV A

英語名称：English IV A

【担当責任者】田中明夫・中山仁・藤平明彦アンドリュー・Peter McCann

【開講年次】2年，【学期】後期【必修／選択】必修

【授業形態】演習

【概要】

英語のライティング技能習得のための授業である。将来、医学論文等を英語で作成する際に必要となる基本事項を習得し、ライティング技能を高めると同時にその学習方法を身につけるための授業を行う。

4クラス編成で、各クラス32名前後の比較的少人数で演習を中心とした授業を行う。それぞれのクラスを各教員が担当し、受講生はいずれかのクラスを選択する。第1回目の授業をガイダンスとし、詳細はそこで説明するので必ず出席すること。

【学習目標】

- 1) 英語のパラグラフの構成を、日本語の段落との違いに留意して理解できる。
- 2) 英語の文章をパラグラフ単位で正確に理解できる。
- 3) 論理展開が明快で、適切な英語表現を用いたパラグラフを書くことができる。
- 4) データを適切な英語で説明をすることができる。
- 5) 自分が書いたパラグラフを正確な発音で読み、聞き手に理解してもらえる。
- 6) 辞典、コンピュータ、インターネット等を用いて、必要な英語表現を適切な手段で調べたり、検索したりすることができる。
- 7) 英語の句読法を正しく使うことができる。

【教科書】

中山担当クラス

ガイダンスで指示をします。

藤平担当クラス

Active Skills for Reading 1, Neil J Anderson, Heinle Cengage Learning

ISBN: 978-1-133-30799-0

田中担当クラス

印刷物を随時配布します。

McCann担当クラス

Materials as prepared by the teacher

【参考書】

中山担当クラス

『ウィズダム英和辞典』（三省堂書店）

『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）

科目・コース（ユニット）名：英語 IV A

英語名称：English IV A

Longman Dictionary of Contemporary English (Longman)
Oxford Advanced Learner's Dictionary (Oxford University Press)
英辞郎 on the Web（アルク社Website）

藤平担当クラス

N/A

田中担当クラス

『ウィズダム英和辞典』（三省堂書店）

『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）

Longman Dictionary of Contemporary English (Longman)
Oxford Advanced Learner's Dictionary (Oxford University Press)
『新編 英和活用大辞典』（研究社）

英辞郎 on the Web（アルク社Website）：<https://eow.alc.co.jp/>

McCann担当クラス

Abstracts and the Writing of Abstracts, by Swales and Feake. University of Michigan Press.

【成績評価方法】

中山担当クラス

課題等の提出物（30～40%前後）、授業への参加度・貢献度および期末試験（60～70%前後）などに基づいて総合的に評価します。なお、出席が授業回数の3分の2に満たない場合は、提出された課題を評価の対象外とし、期末試験の受験も認めないので注意してください。

藤平担当クラス

Midterm Review: 30% (Written exam given at the middle of the course)

Final Review: 30% (Written exam given at the end of the course)

Textbook Homework: 15% (Submitted online before the next class)

Vocabulary Quizzes: 15% (Given at the beginning of each class)

Attendance: 10% (Students must attend at least 10 of the 15 classes)

田中担当クラス

課題等の提出物（50%）、及び、小テスト・授業への参加度・貢献度と期末試験（50%）を総合して評価します。なお、出席が授業回数の3分の2に満たない場合は、提出された課題を評価の対象外とし、期末試験の受験も認めないので注意してください。

McCann担当クラス

A written test will be given in the final lesson of the course that will account for 70% of each student's total score. Attendance will account for 20% - students must attend a minimum of 10 of the total 15 lessons. For the final 10%, students will be assessed on their classroom participation throughout the course.

科目・コース（ユニット）名：英語 IV A

英語名称：English IV A

【学習上の注意事項】

中山担当クラス

授業には必ず十分準備をして臨み、授業中の演習には積極的に取り組んでください。課題等の提出物は必ず期限内に提出してください。

藤平担当クラス

Students are encouraged to have an electronic or paper dictionary to assist them with their composition writing.

田中担当クラス

正しく簡潔な英語で論理展開が明快なパラグラフを書けるよう努力をしてください。そのために、授業中の演習には積極的に取り組んでください。また、課題等の提出物は必ず期限内に提出してください。授業スケジュールに関しては、受講生の学習項目ごとの事前の知識量と演習後の目標到達度に応じて変更することがあります。

McCann担当クラス

This class is meant to serve as a basic foundation for scientific writing in the future. The rules and habits learned are general rules to follow, but may differ in future depending on the journal or conference you are writing for. In addition, please remember that active participation in class is essential in order get the most out of it. If you have any questions, please feel free to contact me at any time.

【垂直的統合授業の実施内容】 該当なし

【水平的統合授業の実施内容】 該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】 該当なし

【授業スケジュール】

中山担当クラス

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/9/4	水	1	(演) ガイダンス	中山 仁
2	24/9/11	水	1	(演) イントロダクション	中山 仁
3	24/9/18	水	1	(演) センテンスとパラグラフ / topic, strong or weak paragraphs, etc.	中山 仁
4	24/9/25	水	1	(演) トピックとトピック文(1) / topic, main idea, etc.	中山 仁
5	24/10/2	水	1	(演) トピックとトピック文(2)	中山 仁
6	24/10/9	水	1	(演) サポート文 / support, reasons, examples, connecting words, etc	中山 仁
7	24/10/16	水	1	(演) 結論文 / conclusion, restate, summary, etc.	中山 仁

科目・コース（ユニット）名：英語 IV A

英語名称：English IV A

8	24/10/23	水	1	(演) アイディアの創造からパラグラフ完成の流れ(1) / process writing, brainstorming, organizing, editing, etc.	中山 仁
9	24/10/30	水	1	(演) アイディアの創造からパラグラフ完成の流れ(2)	中山 仁
10	24/11/6	水	1	(演) パラグラフ展開のタイプ(1) / adjectives, examples, peer reviewing, etc.	中山 仁
11	24/11/13	水	1	(演) パラグラフ展開のタイプ(2) / facts, examples, etc.	中山 仁
12	24/11/20	水	1	(演) パラグラフ展開のタイプ(3) / cause and effect	中山 仁
13	24/11/27	水	1	(演) パラグラフ展開のタイプ(4) / contrast and comparison	中山 仁
14	24/12/4	水	1	(演) パラグラフ展開のタイプ(5) / data, figure, table, etc	中山 仁
15	24/12/11	水	1	(演) まとめ	中山 仁

藤平担当クラス

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/9/4	水	1	Guidance	藤平明彦アンドリュー
2	24/9/11	水	1	Unit 1: A Restaurant for Change	藤平明彦アンドリュー
3	24/9/18	水	1	Unit 2: Computer Beats Champs	藤平明彦アンドリュー
4	24/9/25	水	1	Unit 3: Want to Study Abroad?	藤平明彦アンドリュー
5	24/10/2	水	1	Unit 4: A Student Budget	藤平明彦アンドリュー
6	24/10/9	水	1	Unit 5: Cell Phone Etiquette	藤平明彦アンドリュー
7	24/10/16	水	1	Unit 6: The Olympic Flame	藤平明彦アンドリュー
8	24/10/23	水	1	Midterm Review	藤平明彦アンドリュー
9	24/10/30	水	1	Unit 7: The World's Oldest Universities	藤平明彦アンドリュー
10	24/11/6	水	1	Unit 8: Which English Will We Speak?	藤平明彦アンドリュー
11	24/11/13	水	1	Unit 9: How Do You Celebrate?	藤平明彦アンドリュー

科目・コース（ユニット）名：英語 IV A

英語名称：English IV A

12	24/11/20	水	1	Unit 10: The Age of Adulthood	藤平明彦アンドリユー
13	24/11/27	水	1	Unit 11: Are you an Ophiuchus?	藤平明彦アンドリユー
14	24/12/4	水	1	Unit 12: A Japanese Folktale	藤平明彦アンドリユー
15	24/12/11	水	1	Final Review	藤平明彦アンドリユー

田中担当クラス

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/9/4	水	1	(演) ガイダンス	田中明夫
2	24/9/11	水	1	(演) パラグラフの構造と機能(1) : Topic Sentence	田中明夫
3	24/9/18	水	1	(演) パラグラフの構造と機能(2) : Topic Sentence	田中明夫
4	24/9/25	水	1	(演) パラグラフの構造と機能(3) : Topic Sentence	田中明夫
5	24/10/2	水	1	(演) パラグラフの構造と機能(4) : Supporting Sentence	田中明夫
6	24/10/9	水	1	(演) パラグラフの構造と機能(5) : Supporting Sentence	田中明夫
7	24/10/16	水	1	(演) パラグラフの構造と機能(6) : Concluding Sentence	田中明夫
8	24/10/23	水	1	(演) パラグラフの構造と機能(7) : Concluding Sentence	田中明夫
9	24/10/30	水	1	(演) パラグラフの構造と機能(8) : Brainstorming & Structure	田中明夫
10	24/11/6	水	1	(演) パラグラフの論理と表現(1) : Transitional expression & conjunction	田中明夫
11	24/11/13	水	1	(演) パラグラフの論理と表現(2) : Paragraph Unity	田中明夫
12	24/11/20	水	1	(演) パラグラフの論理と表現(3) : Cause & Effect	田中明夫
13	24/11/27	水	1	(演) パラグラフの論理と表現(4) : Classification	田中明夫
14	24/12/4	水	1	(演) パラグラフの論理と表現(5) : Comparison & Contrast	田中明夫
15	24/12/11	水	1	(演) まとめ	田中明夫

科目・コース（ユニット）名：英語 IV A

英語名称：English IV A

McCann担当クラス

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/9/4	水	1	(演) Guidance	Peter McCann
2	24/9/11	水	1	(演) Abstract Writing: Basic Information	Peter McCann
3	24/9/18	水	1	(演) The Introduction Section 1	Peter McCann
4	24/9/25	水	1	(演) The Introduction Section 2	Peter McCann
5	24/10/2	水	1	(演) The Methods Section 1	Peter McCann
6	24/10/9	水	1	(演) The Methods Section 2	Peter McCann
7	24/10/16	水	1	(演) Introduction/Methods PRACTICE	Peter McCann
8	24/10/23	水	1	(演) The Results Section 1	Peter McCann
9	24/10/30	水	1	(演) The Results Section 2	Peter McCann
10	24/11/6	水	1	(演) The Discussion/Conclusion Section 1	Peter McCann
11	24/11/13	水	1	(演) The Discussion/Conclusion Section 2	Peter McCann
12	24/11/20	水	1	(演) Results/Discussion Practice	Peter McCann
13	24/11/27	水	1	(演) Full Abstract Practice	Peter McCann
14	24/12/4	水	1	(演) COURSE REVIEW	Peter McCann
15	24/12/11	水	1	(演) TEST	Peter McCann

【担当教員】

教員氏名	職	所 属
中山仁	教授	総合科学教育研究センター
藤平明彦アンドリュー	教授	総合科学教育研究センター
田中明夫	准教授	総合科学教育研究センター
Peter McCann	非常勤講師	

科目・コース（ユニット）名：英語 IV B

英語名称：English IV B

【担当責任者】田中明夫・中山仁・藤平明彦アンドリュー・Peter McCann

【開講年次】2年，【学期】後期【必修／選択】必修

【授業形態】演習

【概要】

スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、および、ボキャブラリー・文法の中から1つまたは複数の項目を取り上げ演習を行う。

このコースは4クラス編成で、各クラス32名前後の比較的少人数で演習を中心とした授業を行う。各クラスの授業テーマは担当教員が独自に設定する（下記の学習目標を参照）。受講生はいずれかのクラスを選択する。第1回目の授業をガイダンスとし、詳細はそこで説明するので必ず出席すること。

【学習目標】

中山担当クラス

相手の話を正しく理解し、自分の意図を相手に正しく伝えるために必要な英語の知識とスキルについて、いくつかのポイントに絞って演習を行い、各自が強化すべき学習項目を再認識すると同時に、それらの効果的な学習方法について学ぶ。具体的な目標は以下のとおり：

- ①基本的表現や語彙を正確に理解することができる。
- ②英語を聞き、概要と必要な情報を把握することができる。
- ③英語の論理的な構成とは何かを説明できる。
- ④英語の論理的な構成で短いスピーチができる。
- ⑤語彙・短い英文を正確に発音することができる。

藤平担当クラス

In each session, students will develop their listening and writing skills through a weekly dictogloss. They will also practice active learning and exchange opinions through small group discussions with their classmates.

田中担当クラス

文法や語彙に関するエッセンスを演習や課題を通して（再）確認し身につける。具体的には以下の3点を目標とする。

- ①英語で表現しようとしている対象を適切な視点からとらえ、英文を構成し表現することができる。
- ②適切な論理で英文を構成し、英語らしく表現することができる。
- ③基本的な文法や語彙を間違えずに、英文を構成し表現することができる。

McCann 担当クラス

In each session, students will be able to speak on everyday conversational topics in an intermediate-to-advanced level. They will be able to use natural phrasing and produce spontaneous responses.

科目・コース（ユニット）名：英語 IV B

英語名称：English IV B

【教科書】

中山担当クラス

ガイダンスで指示をします。

藤平担当クラス

Ultimate Listening (Advanced). Adrian Leis, Simon Cook. Kaitakusha. ISBN978-4-7589-2311-8

田中担当クラス

印刷物を随時配布します。

McCann 担当クラス

World English 3, Second Edition. Kristin Johannsen, Rebecca Tarver Chase. HEINLE CENGAGE Learning

【参考書】

中山担当クラス

- ・『ウィズダム英和辞典』（三省堂書店）--iPhone, iPad 用 App 版も入手可能（機能豊富）
- ・『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）
- ・ *Longman Dictionary of Contemporary English* (Longman)
- ・ *Oxford Advanced Learner's Dictionary* (Oxford University Press)

藤平担当クラス

N/A

田中担当クラス

- ・『ウィズダム英和辞典』（三省堂書店）
- ・『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）
- ・ *Longman Dictionary of Contemporary English* (Longman)
- ・ *Oxford Advanced Learner's Dictionary* (Oxford University Press)
- ・『新編 英和活用大辞典』（研究社） 2-6-4
- ・英辞郎 on the Web（アルク社Website）：<https://eow.alc.co.jp/>

McCann 担当クラス

N/A

【成績評価方法】

中山担当クラス

確認テストおよび課題等の提出物（30～40%）、授業への参加度・貢献度および期末試験

科目・コース（ユニット）名：英語 IV B

英語名称：English IV B

（60～70%）などに基づいて総合的に評価します。なお、出席が授業回数の3分の2に満たない場合は、期末試験の受験を認めないので注意してください。

藤平担当クラス

Review Test: 40% (written exam given at the end of the course)

Vocabulary Quizzes: 20% (given at the beginning of class each week)

Group Activities: 20% (weekly discussions with classmates)

Attendance and Participation: 20% (students must attend at least 10 of the 15 lessons)

田中担当クラス

小テスト（30%）、及び、授業への参加度・貢献度及と期末試験（70%）を総合して評価します。なお、出席が授業回数の3分の2に満たない場合は、期末試験の受験を認めないので注意してください。

McCann担当クラス

A written test will be given at the end of the course that will account for 60% of each student's total score. Classroom attitude will account for 20% - students will be assessed on their classroom participation throughout the course. Attendance will account for the remaining 20% - students must attend a minimum of 10 of the total 15 lessons.

【学習上の注意事項】

中山担当クラス

各ユニットの目的を常に意識して課題に取り組んでください。受講前の知識量・スキルと演習後の熟達度に応じて進度、内容を変更することがあります。

藤平担当クラス

Participants must be willing to converse actively with their classmates in English.

田中担当クラス

積極的に演習に取り組んで、適切な論理と構造をもつ英語らしい文を書けるようになってください。授業スケジュールに関しては、受講生の学習項目ごとの事前の知識量と演習後の目標到達度に応じて変更することがあります。欠席・遅刻には、厳しく対処します。

McCann担当クラス

This class serves as a forum in which students are able to practice everyday conversational English. Students will acquire knowledge on how to handle typical conversational topics, using natural phrasing and spontaneous responses. The speaking practice in this class will also serve to improve the confidence of the students in their English ability; review and reinforcement of the English language structures will help towards smoother and more effective communication.

科目・コース（ユニット）名：英語 IV B

英語名称：English IV B

【垂直的統合授業の実施内容】該当なし

【水平的統合授業の実施内容】該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】該当なし

【授業スケジュール】

中山担当クラス

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/9/6	金	1	(演) ガイダンス	中山仁
2	24/9/13	金	1	(演) ニュアンスで整理する基本時制 (1)	中山仁
3	24/9/20	金	1	(演) ニュアンスで整理する基本時制 (2)	中山仁
4	24/9/27	金	1	(演) ニュアンスで整理する基本時制 (3)	中山仁
5	24/10/4	金	1	(演) 助動詞のニュアンス、前置詞のコンセプト	中山仁
6	24/10/11	金	1	(演) 名詞の可算・不可算、自動詞・他動詞	中山仁
7	24/10/18	金	1	(演) 不定詞、動名詞	中山仁
8	24/10/25	金	1	(演) 仮定法、派生形容詞	中山仁
9	24/11/1	金	1	(演) Review 1	中山仁
10	24/11/8	金	1	(演) 発想転換の表現法 (1): 主語、動詞	中山仁
11	24/11/15	金	1	(演) 発想転換の表現法 (2): 能動態、直訳回避法	中山仁
12	24/11/22	金	1	(演) 発想転換の表現法 (3): 現在形の活用、伝わる分割表現	中山仁
13	24/11/29	金	1	(演) 気持ちを表現する形容詞 (1)	中山仁
14	24/12/6	金	1	(演) 気持ちを表現する形容詞 (2)	中山仁
15	24/12/13	金	1	(演) Review 2	中山仁

藤平担当クラス

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
----	-------	----	----	-----	-------

科目・コース（ユニット）名：英語 IV B

英語名称：English IV B

1	24/9/6	金	1	(演) Guidance	藤平明彦アンドリュー
2	24/9/13	金	1	(演) The Mary River Turtle	藤平明彦アンドリュー
3	24/9/20	金	1	(演) Orange	藤平明彦アンドリュー
4	24/9/27	金	1	(演) Rainbows	藤平明彦アンドリュー
5	24/10/4	金	1	(演) Cows	藤平明彦アンドリュー
6	24/10/11	金	1	(演) The Underwater Waterfall	藤平明彦アンドリュー
7	24/10/18	金	1	(演) The Seahorse	藤平明彦アンドリュー
8	24/10/25	金	1	(演) Honesty and Lying	藤平明彦アンドリュー
9	24/11/1	金	1	(演) Polar Bears	藤平明彦アンドリュー
10	24/11/8	金	1	(演) How Long is a Jiffy?	藤平明彦アンドリュー
11	24/11/15	金	1	(演) Shorthand	藤平明彦アンドリュー
12	24/11/22	金	1	(演) Strait of Gibraltar	藤平明彦アンドリュー
13	24/11/29	金	1	(演) Japanese Carp	藤平明彦アンドリュー
14	24/12/6	金	1	(演) Central Park	藤平明彦アンドリュー
15	24/12/13	金	1	(演) Review Test	藤平明彦アンドリュー

田中担当クラス

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/9/6	金	1	(演) ガイダンス	田中明夫
2	24/9/13	金	1	(演) 出来事の捉え方と文の形 (1)	田中明夫
3	24/9/20	金	1	(演) 出来事の捉え方と文の形 (2)	田中明夫
4	24/9/27	金	1	(演) 出来事の捉え方と文の形 (3)	田中明夫

科目・コース（ユニット）名：英語 IV B

英語名称：English IV B

5	24/10/4	金	1	(演) 出来事の捉え方と文の形 (4)	田中明夫
6	24/10/11	金	1	(演) 出来事の捉え方と文の形 (5)	田中明夫
7	24/10/18	金	1	(演) 受動態 (1) 能動態と受動態	田中明夫
8	24/10/25	金	1	(演) 受動態 (2) 自動詞と受動態	田中明夫
9	24/11/1	金	1	(演) 時制 (1) 過去と現在完了	田中明夫
10	24/11/8	金	1	(演) 時制 (2) 過去と過去完了	田中明夫
11	24/11/15	金	1	(演) 関係詞 (1) 制限用法と非制限用法	田中明夫
12	24/11/22	金	1	(演) 関係詞 (2) 関係代名詞と関係副詞	田中明夫
13	24/11/29	金	1	(演) 関係詞 (3) 注意すべき用法	田中明夫
14	24/12/6	金	1	(演) 文の情報構造と語順	田中明夫
15	24/12/13	金	1	(演) まとめ	田中明夫

McCann 担当クラス

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	24/9/6	金	1	(演) Guidance	Peter McCann
2	24/9/13	金	1	(演) Unit 1: People and Places	Peter McCann
3	24/9/20	金	1	(演) "	Peter McCann
4	24/9/27	金	1	(演) Unit 2: The Mind	Peter McCann
5	24/10/4	金	1	(演) "	Peter McCann
6	24/10/11	金	1	(演) Unit 3: Changing Planet	Peter McCann
7	24/10/18	金	1	(演) "	Peter McCann
8	24/10/25	金	1	(演) Unit 4: Money vs. Wealth	Peter McCann

科目・コース（ユニット）名：英語 IV B

英語名称：English IV B

9	24/11/1	金	1	(演) "	Peter McCann
10	24/11/8	金	1	(演) Unit 5: Survival	Peter McCann
11	24/11/15	金	1	(演) "	Peter McCann
12	24/11/22	金	1	(演) Unit 6: Art	Peter McCann
13	24/11/29	金	1	(演) "	Peter McCann
14	24/12/6	金	1	(演) Unit 7: Getting Around	Peter McCann
15	24/12/13	金	1	(演) "	Peter McCann

【担当教員】

教員氏名	職	所 属
中山仁	教授	総合科学教育研究センター
藤平明彦アンドリュー	教授	総合科学教育研究センター
田中明夫	准教授	総合科学教育研究センター
Peter McCann	非常勤講師	

科目・コース（ユニット）名：解剖・組織学 1(人体発生学)

英語名称：Human Embryology

【担当責任者】渡邊 裕二(神経解剖・発生学講座)

【連絡先】024-547-1116、yuji-w@fmu.ac.jp

【開講年次】1年後期および2年前期

【必修／選択】必修

【授業形態】講義

【概要】人体の構造の理解を助けるために、構造が出来上がる過程とその仕組みについて学ぶ。前半は、様々な構造の基本となる原基の形成過程を講義する(1年時)。後半(2年時)は、肉眼解剖学実習の進行に合わせて、各器官系の発生について解説する。最新の発生生物学的な知見も紹介する。

【学習目標】

- 1) 個体発生の初期段階(配偶子の形成から器官形成期の前半まで)の過程を説明できる。
- 2) 各器官系の発生過程を説明できる。
- 3) 発生の異常によって起こる代表的な先天的な障害について概説できる。

【教科書】

ラングマン人体発生学 第11版 メディカルサイエンスインターショナル

9,240円 T.W. Sadler 著 安田峯生、山田重人訳

【参考書】

ムーア 人体発生学 第11版 医歯薬出版(附属図書館にもあります)

11,000円 K. L. Moore 著 大谷浩、小川典子、松本暁洋 訳

ラーセン 人体発生学 第4版 西村書店(附属図書館にもあります)

6,600円 Gary C. Schoenwolf 著 仲村春和、大谷浩 訳

【成績評価方法】

学習目標の到達度を 2 年前期の期末筆記試験で評価する(1 年後期の期末には試験を行わない)。さらに授業への出席と授業態度等を総合して評価する。期末試験の受験のためには全授業の 3 分の 2 以上に出席することが必須である。期末試験の再試験は1回だけ実施する。ただし、本試験において著しく低い点(正規分布において、概ね-3 σ 以下の得点)を得たものは、再試験の受験を認めない。

【学習上の注意事項】 特になし

【垂直的統合授業の実施内容】

関連する産科学、新生児学、小児外科学的内容を含む講義が行われる。

【水平的統合授業の実施内容】

人体発生学の授業のテーマは肉眼解剖学実習の進度に合わせており、実習で観察したばかりの各構造の発生について人体発生学で講義する。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

授業内で授業担当者が行っている専門的な研究の内容も紹介されている。

【授業スケジュール】

人体発生学 2024 年度 2 年生講義予定

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当 教員 名	備考
8	2024/4/22	月	2	(講) 骨格系・筋系・四肢の発生 1	本間	
9	5/13	月	2	(講) 骨格系・筋系・四肢の発生 2	本間	
10	5/20	月	2	(講) 心血管系の発生 1	向笠	
11	6/3	月	2	(講) 心血管系の発生 2	向笠	
12	6/17	月	2	(講) 消化器の発生	向笠	
13	6/19	水	6	(講) 呼吸器の発生・体腔分割	向笠	
14	6/26	水	6	(講) 鰓弓 1	本間	
15	7/3	水	6	(講) 鰓弓 2	本間	
16	7/8	月	3	(講) 泌尿生殖器 1	本間	
17	7/9	火	3	(講) 泌尿生殖器 2・眼と耳	本間	

人体発生学 2024 年度 1 年生講義予定

1	2025/1/20	月	2	(講) 発生の概要、配偶子の形成	渡邊	
2	1/20	月	3	(講) 発生第1週 受精、卵割、着床	渡邊	
3	1/23	木	3	(講) 第2週 二層性胚盤と栄養膜	渡邊	
4	1/27	月	2	(講) 第3週 三胚葉の形成、神経板	渡邊	
5	1/27	月	3	(講) 第4週 体節、胚のたたみ込み、鰓弓	渡邊	
6	2/17	月	2	(講) 分節性、血管系、胎盤、胎児期	渡邊	
7	2/17	月	3	(講) 外胚葉の発生分化	渡邊	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
本間 俊作	准教授	神経解剖・発生学講座	
渡邊 裕二	講師	神経解剖・発生学講座	
向笠 勝貴	助教	神経解剖・発生学講座	

科目・コース（ユニット）名： 解剖・組織学Ⅰ（肉眼解剖学）
英語名称： Human Gross Anatomy

【担当責任者】

コースコーディネーター：本間俊作（神経解剖・発生学講座）

分野担当責任者：本間俊作（神経解剖・発生学講座）、和栗 聡（解剖・組織学講座）

【連絡先】 024-547-1116、anatomy1@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年 【学期】 前期 【必修／選択】 必修

【授業形態】 講義／実習

【概要】

人体の肉眼的構造を、献体されたご遺体を解剖することにより学ぶコースです。構造物の名称や存在部位を学ぶだけでなく、複数の構造物の3次元における相対的な位置関係を理解することも学びます。人体を解剖することを許されたことは、それに対する責任も伴います。学習の成果をあげることが何よりその責任を果たすことです。献体されたご遺体が、あなたの医師としてのキャリアにおける最初の患者です。

【学習目標】

- 1) 人体の肉眼的構造物の名称、存在部位、周囲の他の構造物との立体関係、そして多様性を学習、理解し、短い文章で記述できるようになる。

肉眼解剖学の学習は外国語の習得に似ています。単語や文法を学ぶこと同様に、はじめに多数の名称を覚なくてははいけません。しかし、覚えることはゴールではありません。覚えた用語を将来の臨床に結びつける使い方を意識してください。英語で覚えることを強く勧めます。英語に抵抗がなくなると世界が変わります。

- 2) 共同で一つの作業を成し遂げる、チームワークを遂行できる。

実習は、4人の学生からなるチームで、一体のご遺体の解剖を行います。各人が担当した部位を、責任ある形で次に引き継ぎできるように解剖し、その結果をグループ内の他の学生に説明することで、状況を第三者に正確に伝達、共有する方法を学ぶとともに、チームの一員であることの意味を理解してください。そして、解剖した結果が他のご遺体と同一であることはありません。人体の多様性も併せて学ぶことが求められます。

- 3) 医師としてのプロフェッショナリズムの獲得と、アカデミアの一員であることの自覚。

学生も大学というアカデミアの一員です。知的活動を行っている組織の一員として社会に果たす義務を自覚してください。同時に、その義務は医師としてのプロフェッショナリズムの構成要素の一つであることを学んでください。

【教科書】

どの教科書でも構わないので、自身の好みに合う教科書を見つけ、関係するページを実習前に必ず一読すること。まとめた参考書は試験対策に役立つことはあっても、学習には適しません。グレイ解剖学の学生版は、英語版 (Gray's Anatomy for Students) も読みやすいです。以下に、入手しやすく代表的な本をリストします。

テキスト

- グレイ解剖学 原著第4版 Richard L. Drake 他著 秋田恵一翻訳 Elsevier
- ムーア臨床解剖学 第3版 K. Moore 他著 坂井建雄監訳 メディカルサイエンスインターナショナル
- トートラ解剖学 第2版 G. J. Tortora 著、小澤一史他監訳 (2010年) 丸善

実習手引き書 (指定、必須)

- 解剖実習の手びき 改訂11版 寺田春水、藤田恒夫著 南山堂
肉眼解剖実習はこの実習書に沿って行われるので必ず揃えること

肉眼解剖学図譜 (アトラス)

- ネットー解剖学図譜 第7版 電子書籍付き 南江堂
- プロメテウス解剖学コアアトラス 改訂第3版 医学書院
一冊はぜひ揃えること。

【参考書】

- Gray's Anatomy: The Anatomical Basis of Clinical Practice
解剖学の大著 (英語) 最も詳しい権威ある解剖学の教科書
- 臨床のための解剖学 Clinically Oriented Anatomy, 7th ed.
ムーア臨床解剖学の親本 (日本語)

【成績評価方法】

- 1) 最終的な合否は、中間試験、期末試験、口頭試問 (3回)、不定期なクイズやスケッチ、その他の提出物の評価を総合的に合算して決定します。ただし、中間・期末試験、口頭試問、再試験のいずれかについて著しく低い点 (正規分布において、 -3σ 以下の得点) を得たものは、他の試験が合格していても最終的な評価において肉眼解剖学の合格を認めません。
- 2) ご遺体への敬意を欠いた行為は、学則に基づく懲戒の対象となります。またアンプロフェSSIONALな行為 (遅刻や無断欠席、服装・身だしなみ、同僚やスタッフに

に対する態度、提出物の遅れ、安全面への配慮の欠如など)が目立つ場合は教務委員会への報告を行います。

- 3) 中間、期末試験の再試験をすべて受験することは、冒頭に述べた学生としての学習の責務を果たしていないという観点から、進級の判定に悪影響が及びます。

【学習上の注意事項】

- 1) 言うまでもなく、事前の十分な予習を行うことなく解剖実習を正規の時間内に終わらせることはできません。事前の準備(予習)は、解剖実習を行う者の責務です。担当部位は毎回交代するので、自分が担当する部位だけでなく担当しない部位についても充分予習してきなさい。
- 2) 実習の欠席は、体調不良(COVID等)や忌引などのやむを得ない事情の場合のみ許されます。その際には、必ず講座に連絡(024-547-1116)を行い、欠席届を提出すること。実習を2割以上欠席したものは、実習を終わらせたとは認めません。実習を終了していない学生は定期試験(中間試験、期末試験、口頭試問)の受験資格を認めないので、試験の期日前までに補習を行い出席日数の規定を満たすこと。
- 3) ご遺体からのウイルス、プリオン等の感染防止や、防腐処置に使われた化学物質(ホルマリン、アルコール等)への暴露を防ぐため、十分な保護具を用いること。

【垂直的統合授業の実施内容】

解剖実習を行っている器官系に関連する外科系臨床各科の教員による「臨床解剖学」が並行して開講されている。

【水平的統合授業の実施内容】

肉眼解剖学に並行して器官生理学、組織学Ⅱ(各論)、人体発生学(各論)が開講している。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

実習講義の中で先端的な研究要素のある内容も随時含まれている。

【授業スケジュール】

		上半身から始めるグループ		下半身から始めるグループ		
日付(曜日)	時限	内容	参照する「手引」のセクション	内容	参照する「手引」のセクション	教員
1 4月2日(火)	3	講義		講義		本間
	4-6	執刀式 胸部浅層	§1, 2, 3, 4	執刀式 腹部浅層	§1, 3, 4, 30 (「外腹斜筋」まで)	全教員
2 4月8日(月)	3	講義		講義		本間
	4-6	大腿前面浅層	§53 (「大腿前面の皮切」まで), §54 (「大腿筋膜」まで)	頸部浅層	§5	
3 4月9日(火)	3	講義		講義		渡邊
	4-6	背部浅層	§6	殿部・大腿後面深層	§6, 53 (「殿部と大腿後面の皮切」まで), §54 (「大殿筋など」)	
4 4月12日(金)	4	講義		講義		本間
	5-6	殿部・大腿後面深層	§56, 57 (「大腿骨の切断」を除く)	浅背筋	§7, 14 (「肩甲骨の後ろの筋」の-1), 2), §26 (「胸腰筋膜」まで)	
5 4月15日(月)	3	講義		講義		橋本
	4-6	頸部やや深層	§8, 9 (「小胸筋」まで)	大腿前面	§54, 55 (「大腿四頭筋と内転筋管」の5)まで	
6 4月16日(火)	3	講義		講義		向笠
	4-6	大腿前面深層・膝関節	§55 (「大腿四頭筋と内転筋管」の6)から), §57 (「大腿骨の切断」のみ), §62	腋窩と鎖骨下動脈	§9 (「わきのした」以降), §10 (「鎖骨下動脈の枝」の2)まで	
7 4月19日(金)	4	講義		講義		植村
	5-6	上肢浅層・腕神経叢	§11	膝窩・下腿後面	§53 (「殿部と大腿後面・下腿後面の皮切り」のみ), §58, 62 (一部)	
8 4月22日(月)	3	講義		講義		小俣
	4-6	下腿前面・足背	§53 (「下腿前面と足背の皮切り」のみ), §59	上腕・腕神経叢	§11 (「腕神経叢」から), §12, 13	
9 4月23日(火)	3	講義		講義		本間
	4-6	上腕伸側・肩関節	§13 (「前鋸筋」の3)), §14, 22 (除2), 6), 13))	足底	§60, 61 (観察のみ), §63 (一側のみ)	
10 4月26日(金)	4	講義		講義		小俣
	5-6	深背筋・後頭下三角	§26, 27, (72の一部)	前腕伸側・手背	§17, 23 (「肘の関節の周囲の筋」のみ)	
11 4月30日(火)	3	予習				
	4-5	4月30日(火)	口頭試問(1)			全教員
12 5月7日(火)	3	講義		講義		本間
	4-5	前腕屈側・手掌浅側	§16, 18	脊髄	§28	
13 5月13日(月)	3	講義		講義		渡邊
	4-6	胸腹壁・胸腔	§29-31, 35, 36	手掌	§19, 20, 21, 24	
14 5月14日(火)	3	講義		講義		田村
	4-5	顔面	§73 (「耳下腺と顔面神経」まで)	頸部深層・縦隔	§37 (「肺の切り出し」まで), §38, 39, 40 (「原位置での観察」のみ), §42 (「気管と食道」まで)	
15 5月20日(月)	3	講義		講義		本間
	4-6	縦隔	§40 (「心臓の切り出し」以降), §42 (「迷走神経」以降), §51 (「肋間神経など」のみ)	下顎後部・下部	§73 (「耳下腺と顔面神経」以降)	
16 5月21日(火)	3	講義		講義		本間
	4-5	頭部離断・咽頭	§72, 74,	肺・心臓	§37, 40 (復習), §41	
17 5月27日(月)	3	講義		講義		本間
	4-6	腹膜と腹腔	§32-34, 43, 44	内頭蓋底・口腔	76 (「喉頭腔を見おろす」と「喉頭の後面で」のみ) §78, 79	

日付(曜日)	時限	上半身から始めるグループ		下半身から始めるグループ		教員
		内容	参照する「手引」のセクション	内容	参照する「手引」のセクション	
18 5月28日(火)	1	講義				渡邊
	3	懇談会準備				全教員
	4	白菊会会員との懇談会				全教員
5月28日(火)	5	喉頭	§75, 76, 38 (「甲状腺と上皮小体」のみ)	腹部内臓の血管	§45	
19 6月3日(月)	3	予習				
	4-6	口頭試問(2)				全教員
20 6月4日(火)	3	講義				向笠
	4-5	腹部内臓	§45 - 49	鼻腔・咀嚼筋	§80, 81 (「側頭筋の裏側で」まで)	
21 6月10日(月)	3	予習				
	4-6	中間試験				全教員
22 6月11日(火)	3	講義				橋本
	4-5	側頭下窩	§81 (「下顎管を開く」から), 82	泌尿器(腎・副腎・尿管)と横隔膜	§50, 64 (「尿管と膀胱」-1) 4) §52 (「横隔膜に分布する血管と神経」まで)	
23 6月17日(月)	3	講義				本間
	4-6	後胸腹壁・腰神経叢	§51, 52 (「後腹壁内面の筋」以降「腰神経叢」まで)	口蓋・副鼻腔	§83, 84	
24 6月18日(火)	3	講義				和栗
	4-5	眼窩	§85, 86	外陰部	§52 (「下半身の切り離し」), 64 (「尿管と膀胱」の5)を除く), 65, 66 (f:「前庭球と陰核」まで, m:「会陰部の浅い層」の8)まで)	
25 6月24日(月)	3	講義				橋本
	4-6	会陰	§66 (f:「尿生殖隔膜」以降, m:「会陰部の浅い層」の9)以降), 67	眼球・上顎	§87	
26 6月25日(火)	3	講義				渡邊
	4-5	頸静脈孔・中耳	§88, 89	骨盤	§68, 69	
27 7月1日(月)	3	講義				本間
	4-6	骨盤内臓・骨盤壁	§70, 65 m, 71	内耳・翼突管	§90, 91	
28 7月2日(火)	3	予習				
	4-5	口頭試問(3)				全教員
29 7月8日(月)	4-6	片付け、お別れ式				全教員

【担当教員】

教員氏名	職	所属
和栗 聡	教授	解剖・組織学講座
本間 俊作	准教授	神経解剖・発生学講座
植村 武文	准教授	解剖・組織学講座
渡邊 裕二	講師	神経解剖・発生学講座
橋本 光広	講師（学内）	神経解剖・発生学講座
田村 直輝	講師	解剖・組織学講座
向笠勝貴	助教	神経解剖・発生学講座
鈴木倫毅	助教	解剖・組織学講座
羽田 浩士	助教	解剖・組織学講座
小俣 純一	助教（兼任）	保健科学部理学療法学科，（兼）神経解剖・発生学講座

【理解すべき構造】

筆記試験や口頭試問では、以下の学習目標を達成しているかどうか問われます。口頭試問では、「この筋肉の名前を答えなさい」という種類の単純な質問もあるが、それは理解の程度を推し量るため、評価の基準はあくまで以下の項目についての理解の到達度です。

- 1) 末梢神経系の構成を説明できる。
- 2) 脊髄の構造、髄膜との関係が説明できる。
- 3) 脊髄神経と神経叢の構成および主な骨格筋支配と皮膚分布を概説できる。
- 4) 四肢の骨・関節を列挙し、主な骨の配置を図示できる。
- 5) 四肢の主要筋群の運動と神経支配を説明できる。
- 6) 心臓の構造と分布する血管と神経を説明できる。
- 7) 冠状動脈の個体差について説明できる。
- 8) 心臓の刺激伝導系を説明できる。
- 9) 体循環、肺循環および胎児循環とその遺残物を説明できる。
- 10) 大動脈の枝を図示し、分布域を概説できる。
- 11) 頭頸部と四肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。
- 12) 主な静脈を図示し、門脈系と大静脈系の吻合部を説明できる。

- 13) 胸管を經由するリンパの流れを概説できる。
- 14) 主な血管系の個人差について概説できる。
- 15) 気道の構造, 肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。
- 16) 縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。
- 17) 呼吸筋とその神経支配が説明できる。
- 18) 各消化器官の位置、形態と血管分布を図示できる。
- 19) 腹膜と臓器の関係を説明できる。
- 20) 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。
- 21) 歯、唾液腺の構造と機能を説明できる。
- 22) 腹部臓器や胸部臓器の横断面での位置関係を概説できる。
- 23) 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。
- 24) 男性生殖器の形態を説明できる。
- 25) 女性生殖器の形態や腹膜、支持組織との関係を説明できる。
- 26) 骨盤底部の構造が説明できる。
- 27) 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。
- 28) 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。
- 29) 眼球運動に関わる筋と神経支配を説明できる。
- 30) 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。
- 31) 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。
- 32) 咀嚼と嚥下の機構を説明できる。
- 33) 喉頭の構造と機能と神経支配を説明できる。
- 34) 舌の知覚、味覚、運動の各機能に関与する神経について支配領域とその経路を説明できる。
- 35) 眼球に分布する動脈と静脈について説明できる。
- 36) 音が有毛細胞によって感知されるまでの経路について説明できる。
- 37) 左右の反回神経の反回の仕方の違いについて発生上の理由を含めて説明できる。
- 38) 腹部臓器への自律神経系の支配について説明ができる。
- 39) 精子が形成されて射精されるまでの経路を説明できる。
- 40) 橈骨、正中、尺骨神経の支配する筋群とそれらが麻痺したときの状態が説明できる。
- 41) 主な指標点について説明できる。
- 42) 骨盤内臓への自律神経系の支配について説明ができる。
- 43) 鼠径管の構造とその中を通るものについて説明できる。
- 44) 上肢と下肢の運動性の違いについて解剖学的に説明できる。

科目・コース（ユニット）名：解剖学・組織学 I（組織学）
英語名称：Anatomy and Histology I（Human Histology）

【担当責任者】和栗 聡（解剖・組織学講座）

【連絡先】024-547-1123、histol@fmu.ac.jp

【開講年次】2年，【学期】前期，【必修／選択】必修，【授業形態】講義／実習

【概要】

本ユニットは1学年で履修した人体解剖学入門コースのうち「組織学入門」の継続である。講義では各組織の基本的事項を説明するとともに、標本観察実習に際しての具体的な要点を述べる。実習では、組織標本や電子顕微鏡写真の観察を通して、基礎的な組織・細胞の構造および機能との相関について理解する。そのためにいくつかの課題を与える。各自、参考書の準備が必要である。また、教科書では得られない観察力や洞察力を養うことにも主眼を置く。

【学習目標】

- (1) 各種器官における組織と細胞の基本構造、およびそれら機能を説明できる。
- (2) 肉眼解剖学レベルと顕微組織学レベルの構造を対比させて説明できる。
- (3) 英語を含む組織学用語を的確に使用できる。
- (4) 光学顕微鏡を適切に用いた観察ができる。

【教科書】教材として講義資料、実習資料などを PDF ファイルとして配布する。また、以下の教科書のどれか1冊を準備すること。

- ・内山安男・相磯貞和 監訳「Ross 組織学」原書第7版 南江堂
- ・内山安男 監訳「組織細胞生物学」原書第5版 南江堂
- ・後藤薫・和栗聡 監訳「ウィーター図説で学ぶ機能組織学」エルゼビア
- ・牛木辰夫、阿部和厚 「組織学」 改訂20版 南山堂
（上3つは洋書の翻訳。難解な文章が残るが図が良い。「牛木…」は日本人により執筆されたもの）

【参考書】

- ・MH Ross & W Pawlina "Histology, A Text and Atlas" Lippincott Williams & Wilkins
（上記「Ross 組織学」の原本）
- ・AL Kierszenbaum "Histology and Cell Biology, An Introduction to Pathology", Mosby
（上記「組織細胞生物学」の原本）
- ・B Young, G O'Dowd, P Woodford "Wheater's Functional Histology" Elsevier
（上記「ウィーター図説で学ぶ機能組織学」の原本）
- ・藤田尚男、藤田恒夫 「標準組織学 総論」第5版、医学書院
- ・藤田尚男、藤田恒夫 「標準組織学 各論」第5版、医学書院
（「藤田…藤田…」の2冊は補足説明が読み物的で良い味を出している）

科目・コース（ユニット）名：解剖学・組織学 I（組織学）
 英語名称：Anatomy and Histology I（Human Histology）

【成績評価方法】

1. 後述する学習アウトカムに基づいて評価を行い、出席については規定に基づく（原則として講義は3分の2以上、実習は5分の4以上の出席が必要）。
2. 筆記試験：前期末に行う。
3. 口頭試問：2枚のバーチャルスライドについて説明する。一人約5分。
4. スケッチ課題：合否を判定し、不合格の場合は再提出、試問、減点で対応する。
5. その他：出席状況、スケッチ提出状況、講義実習中の態度など。減点項目を設ける。
6. 以上を総合的に評価する。

【学習上の注意事項】実習室の使用ルール、顕微鏡・バーチャルスライドの使い方、標本の扱い方については初回の講義時に再度説明する。各種資料はPDFとしてMoodleで配布する。

【水平的統合授業の実施内容】「リンパ性器官」では、理解を促すために最初に免疫学講座の教員により免疫学の概要について講義する。その後、個々の関連組織の構造を学ぶことで理解を深める。

【先端的内容】総合講義において組織学を応用した先端的研究を紹介する。

【授業スケジュール／担当教員等】

	授業実施日	曜日	時限	場所	授業内容	担当教員
1	4月4日	木	3	第2講義室	消化器－1（口腔、唾液腺、舌、食道、胃）	和栗 聡
2	4月4日	木	4	組織学・病理学実習室	消化器－1（口腔、唾液腺、舌、食道、胃）	和栗 聡
3	4月4日	木	5	組織学・病理学実習室	消化器－1（口腔、唾液腺、舌、食道、胃）	和栗 聡
4	4月4日	木	6	組織学・病理学実習室	消化器－1（口腔、唾液腺、舌、食道、胃）	和栗 聡
5	4月11日	木	3	第2講義室	消化器－2（小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）	鈴木 倫毅
6	4月11日	木	4	組織学・病理学実習室	消化器－2（小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）	鈴木 倫毅
7	4月11日	木	5	組織学・病理学実習室	消化器－2（小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）	鈴木 倫毅
8	4月11日	木	6	組織学・病理学実習室	消化器－2（小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）	鈴木 倫毅
9	4月18日	木	3	第2講義室	呼吸器（鼻腔、気管、気管支、肺）	植村 武文
10	4月18日	木	4	組織学・病理学実習室	呼吸器（鼻腔、気管、気管支、肺）	植村 武文
11	4月18日	木	5	組織学・病理学実習室	呼吸器（鼻腔、気管、気管支、肺）	植村 武文
12	4月18日	木	6	組織学・病理学実習室	呼吸器（鼻腔、気管、気管支、肺）	植村 武文
13	4月25日	木	3	第2講義室	内分泌器官（下垂体、甲状腺、副腎）	和栗 聡
14	4月25日	木	4	組織学・病理学実習室	内分泌器官（下垂体、甲状腺、副腎）	和栗 聡
15	4月25日	木	5	組織学・病理学実習室	内分泌器官（下垂体、甲状腺、副腎）	和栗 聡
16	4月25日	木	6	組織学・病理学実習室	内分泌器官（下垂体、甲状腺、副腎）	和栗 聡
17	5月2日	木	3	第2講義室	泌尿器（腎臓、尿管、膀胱、尿道）	植村 武文
18	5月2日	木	4	組織学・病理学実習室	泌尿器（腎臓、尿管、膀胱、尿道）	植村 武文

科目・コース（ユニット）名：解剖学・組織学Ⅰ（組織学）

英語名称：Anatomy and Histology I（Human Histology）

19	5月 2日	木	5	組織学・病理学実習室	泌尿器（腎臓、尿管、膀胱、尿道）	植村 武文
20	5月 2日	木	6	組織学・病理学実習室	泌尿器（腎臓、尿管、膀胱、尿道）	植村 武文
21	5月 9日	木	3	第2講義室	免疫学入門	関根 英治
22	5月 9日	木	4	第2講義室	リンパ性器官（リンパ節、胸腺、脾臓）	植村 武文
23	5月 9日	木	5	組織学・病理学実習室	リンパ性器官（リンパ節、胸腺、脾臓）	植村 武文
24	5月 9日	木	6	組織学・病理学実習室	リンパ性器官（リンパ節、胸腺、脾臓）	植村 武文
25	5月 16日	木	3	組織学・病理学実習室	試問 2	全員
26	5月 16日	木	4	組織学・病理学実習室	試問 2	全員
27	5月 16日	木	5	組織学・病理学実習室	試問 2	全員
28	5月 16日	木	6	組織学・病理学実習室	試問 2	全員
29	5月 23日	木	3	第2講義室	男性生殖器（精巣、精巣上体、陰茎）	植村 武文
30	5月 23日	木	4	組織学・病理学実習室	男性生殖器（精巣、精巣上体、陰茎）	植村 武文
31	5月 23日	木	5	組織学・病理学実習室	男性生殖器（精巣、精巣上体、陰茎）	植村 武文
32	5月 23日	木	6	組織学・病理学実習室	男性生殖器（精巣、精巣上体、陰茎）	植村 武文
33	5月 30日	木	3	第2講義室	女性生殖器（卵巣、子宮、膣、外陰部）	和栗 聡
34	5月 30日	木	4	組織学・病理学実習室	女性生殖器（卵巣、子宮、膣、外陰部）	和栗 聡
35	5月 30日	木	5	組織学・病理学実習室	女性生殖器（卵巣、子宮、膣、外陰部）	和栗 聡
36	5月 30日	木	6	組織学・病理学実習室	女性生殖器（卵巣、子宮、膣、外陰部）	和栗 聡
37	6月 6日	木	3	第2講義室	皮膚と皮膚付属器	田村 直輝
38	6月 6日	木	4	組織学・病理学実習室	皮膚と皮膚付属器	田村 直輝
39	6月 6日	木	5	組織学・病理学実習室	皮膚と皮膚付属器	田村 直輝
40	6月 6日	木	6	第2講義室	特別講義	外部講師
41	6月 13日	木	3	第2講義室	平衡聴覚器（外耳、中耳、内耳）	鈴木 倫毅
42	6月 13日	木	4	組織学・病理学実習室	平衡聴覚器（外耳、中耳、内耳）	鈴木 倫毅
43	6月 13日	木	5	組織学・病理学実習室	平衡聴覚器（外耳、中耳、内耳）	鈴木 倫毅
44	6月 13日	木	6	組織学・病理学実習室	平衡聴覚器（外耳、中耳、内耳）	鈴木 倫毅
45	6月 20日	火	3	第2講義室	視覚器（角膜、網膜、眼瞼など）	田村 直輝
46	6月 20日	木	4	組織学・病理学実習室	視覚器（角膜、網膜、眼瞼など）	田村 直輝
47	6月 20日	木	5	組織学・病理学実習室	視覚器（角膜、網膜、眼瞼など）	田村 直輝
48	6月 20日	木	6	組織学・病理学実習室	視覚器（角膜、網膜、眼瞼など）	田村 直輝
49	6月 27日	木	3	第2講義室	歯、神経組織－2（大脳皮質、小脳など）	和栗 聡
50	6月 27日	木	4	組織学・病理学実習室	歯、神経組織－2（大脳皮質、小脳など）	和栗 聡
51	6月 27日	木	5	組織学・病理学実習室	歯、神経組織－2（大脳皮質、小脳など）	和栗 聡
52	6月 27日	木	6	組織学・病理学実習室	歯、神経組織－2（大脳皮質、小脳など）	和栗 聡
53	7月 4日	木	3	組織学・病理学実習室	試問 3	全員
54	7月 4日	木	4	組織学・病理学実習室	試問 3	全員
55	7月 4日	木	5	組織学・病理学実習室	試問 3	全員

科目・コース（ユニット）名：解剖学・組織学 I（組織学）

英語名称：Anatomy and Histology I（Human Histology）

56	7月 4日	木	6	組織学・病理学実習室	試問 3	全員
57	7月 11日	木	3	組織学・病理学実習室	総合講義・実習まとめ	全員
58	7月 11日	木	4	組織学・病理学実習室	総合講義・実習まとめ	全員
59	7月 11日	木	5	組織学・病理学実習室	総合講義・実習まとめ	全員
60	7月 11日	木	6	組織学・病理学実習室	総合講義・実習まとめ	全員

【担当教員】

教員氏名	職	所属
和栗 聡	教授	解剖・組織学講座
関根 英治	教授	免疫学講座
植村 武文	准教授	解剖・組織学講座
田村 直輝	講師	解剖・組織学講座
鈴木 倫毅	助教	解剖・組織学講座
羽田 浩士	助教	解剖・組織学講座

科目・コース（ユニット）名：解剖・組織学Ⅱ（脳解剖学）

英語名称：Neuroanatomy

【担当責任者】橋本 光広（神経解剖・発生学講座）

【連絡先】（電話）024-547-1116（e-mail）hasimoto@fmu.ac.jp

【開講年次】2年【学期】後期【必修／選択】必修

【授業形態】講義／実習

【概要】

講義、摘出された脳の肉眼解剖、脳切片スライドグラス標本の観察を通して、中枢神経系の機能を担う脳の構造について学習する。さらに、臓器としての脳が機能するために必要な血管系・髄膜・脳脊髄液などについても学習する。講義では、脳の各部位における主要な構造「神経核・皮質・伝導路」について、それらの機能と関連を含めて概説する。実習では、ビデオ教材やアトラスなどを駆使し、複雑な脳の立体的な構造と機能の理解を深める。

【学習目標】

- (1) 中枢神経系の機能をなう構造について理解し説明できる。
- (2) 中枢神経系を冒す様々な病変やその診断法を学ぶ上で基礎となる諸構造について学び説明できる。

【教科書】

(1) 教科書

特に指定はないが、以下の教科書が薦められる。どれか一冊は揃えること。

1. イラストレイテッドカラーテキスト神経解剖学 第5版

A.R. Crossman, D. Neary 著 野村巖、水野昇監訳 三輪書店

6,380 円 ISBN：978-4-89590-598-5

カラー写真や図が多用され、医学部学生向けに明瞭簡潔に書かれた教科書。

臨床的内容も多く含まれている。用語は、日本語と英語。

2. 神経解剖学講義ノート

寺島俊雄 著 金芳堂 5,060 円 ISBN978-4-7653-1506-7

学生向けに模式的な図を多用して分かり易く書かれた教科書。模式図中心なので、実際の脳の立体構造を理解するためには、アトラスと併用することが必須。

(<https://www.kinpodo-pub.co.jp/book/1506-7/>に正誤表あり)

3. マーティン カラー神経解剖学テキストとアトラス 第4版

John Martin 著 野村巖、金子武嗣監訳 西村書店 7,040 円

ISBN：978-4-89013-460-1

2015年に改訂された教科書の翻訳版。臨床例が多く、アトラスも充実している。

(2) 実習書

解剖実習の手びき 改訂11版

寺田春水、藤田恒夫 著 南山堂 ISBN：978-4-525-10311-8

科目・コース（ユニット）名：解剖・組織学Ⅱ（脳解剖学）

英語名称：Neuroanatomy

肉眼解剖学実習で使用したものを、脳解剖実習でも用いる。

(3) アトラス

ハインズ神経解剖学アトラス 第5版（購入してください）

D.E. Haines 著 佐藤二美訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 7,150円 ISBN：978-4-8157-0185-7

脳の断面や外観はもちろん、脳血管の図、MRIの画像、重要な伝導路の模式図など、有用な図を収載した脳のアトラス。優れたアトラスで、この版からカラー図版化され、内容が一段と充実した。脳解剖のみならず、神経系が関係するあらゆる臨床科で役に立つ。脳解剖実習では、アトラスを参照しながら脳の解剖を行う。

【参考書】

1) BRS Neuroanatomy 7th ed.

Douglos Gould 著 Wolters Kluwer Health 9,459円 ISBN：978-1975214371

簡潔にまとめてある英語の教科書。

2) 臨床神経解剖学 第8版

Estomih Mtui, Gregory Gruener, Peter Dockery 著 井出千束ら訳 エルゼビア・ジャパン 10,780円 ISBN：978-4860346683

イラストが多用されており、分かり易い臨床神経解剖学の教科書。神経系の臨床各科で使うことができる。

【成績評価方法】

脳解剖学の成績は、実習終了後に行う。同定試験および期末試験の成績、実習課題レポート及び実習態度や出席状況を総合して行う。実習終了後の同定試験（授業スケジュール第27回）では、脳の各部位の写真をスクリーンに呈示し、実習を通じて学んだ脳の構造の同定が出来るか、また、主要な部位の機能的な意義が理解されているか、について筆記試験を行う。期末試験では、脳解剖学の理解度を総合的に評価する筆記試験を行う。期末試験の再試験は1回だけ実施する。ただし、本試験において著しく低い点（正規分布において、概ね -3σ 以下の得点）を得たものは、再試験の受験を認めない。

【学習上の注意事項】

マクロ脳解剖の実習手順を説明した動画を、学内限定でオンライン公開する。脳解剖開始前に各動画を視聴し、各実習手順を確認しておくこと。脳解剖学講義内で実習手順の説明は行わない。

出席については、規定に基づき原則として、講義は2/3以上の出席、実習については、4/5以上の出席を要する。

【垂直的統合授業の実施内容】

神経系の診断法や治療において脳解剖学の知識がどのように使われているかについて、脳神経外科学講座教員による授業を行う。

【水平的統合授業の実施内容】

科目・コース（ユニット）名：解剖・組織学Ⅱ（脳解剖学）

英語名称：Neuroanatomy

脳解剖学に追随して神経生理学の講義が行われるので、関連付けて学習する。脳解剖講義と神経生理講義の対応については神経生理学のシラバスを参照のこと。脳解剖では、脳の肉眼解剖から実際の脳構造を学び、そこから脳機能の概要を学ぶ。さらに、神経生理学によって、脳の生理機能を深く学ぶことになる。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

講義内で、講義担当教員が行っている専門的な研究の内容も紹介されている。

2024年度脳解剖学スケジュール

回	月日	曜日	時限	項目・キーワード(解剖実習の手引き§)	場所	担当教員名
1	9月2日	月	3	(講1) 脳の概要1 (イントロ、脳の全最、髄膜、血管、脳脊髄液)	第2講義室	八木沼
2	9月2日	月	4	(講2) 脳の概要2 (脳幹レベルの外観、内景)	第2講義室	八木沼
3	9月2日	月	5	(実) 実習1 (§ 92-94)	解剖実習室	八木沼
4	9月2日	月	6	(実) 実習2 (§ 95-96)	解剖実習室	本間
5	9月3日	火	3	(講3) 脳の概要3 (大脳と間脳の外観と内景、脳溝、脳回、白質、視床、基底核)、末梢神経 (感覚受容器、神経線維の種類と伝導速度)	第2講義室	橋本
6	9月3日	火	4	(講4) 脊髄 (灰白質と白質)・反射弓 (伸長反射、屈筋反射) 感覚性伝導路1 (後索-内側毛帯路)	第2講義室	八木沼
7	9月3日	火	5	(実) 実習3 (§ 97-99)	解剖実習室	本間
8	9月3日	火	6	(実) 実習4 (§ 101-102)	解剖実習室	橋本
9	9月5日	木	2	(講5) 感覚性伝導路2 (脊髄視床路) 脊髄小脳路、運動性下行路 (外側、前皮質脊髄路)	第2講義室	八木沼
10	9月5日	木	3	(講6) 脳幹、脳神経核(XII, XI, X, IX, VII, V)の構成と、神経路1 (疑核、孤束核、味覚路、内臓感覚、Vが関与する反射路)	第2講義室	橋本
11	9月5日	木	4	(実) 実習5 (§ 103-104)	解剖実習室	渡邊
12	9月5日	木	5	(実) 実習6 (§ 105-106)	解剖実習室	向笠
13	9月6日	金	4	(講7) 脳幹、脳神経核(III, IV, VI, VIII)の構成と、神経路2 (眼球運動、垂直・水平注視中枢、内側縦束、前庭動眼反射、前庭脊髄路、聴覚伝導路)	第2講義室	橋本
14	9月6日	金	5	(実) 実習7 脳の断面の観察 (§ 100、§ 107)	解剖実習室	本間
15	9月6日	金	6	(実) 実習8 伝導路に沿って脳の断面と切片の観察	解剖実習室	渡邊
16	9月9日	月	3	(講8) 中脳・視覚路・視覚系反射路	第2講義室	八木沼
17	9月9日	月	4	(講9) 視床・大脳・基底核 (視床特殊核と連合核、大脳皮質、機能局在、連合野、白質神経束、基底核の直接路と間接路)	第2講義室	橋本
18	9月9日	月	5	(講10) 視床下部、下垂体 (視床下部のおもな核と機能、神経内分泌)	第2講義室	橋本
19	9月9日	月	6	(実) 実習9 伝導路に沿って脳の断面と切片の観察	解剖実習室	向笠
20	9月13日	金	4	(講11) 臨床脳解剖学 (神経系の診断と治療のための脳解剖学)	第2講義室	藤井 (脳神経外科)
21	9月13日	金	5	(講12) 小脳 (小脳皮質の構成、神経回路、小脳核、小脳の入出力)	第2講義室	橋本
22	9月13日	金	6	(実) 実習10 伝導路に沿って脳の断面と切片の観察	解剖実習室	本間

科目・コース（ユニット）名：解剖・組織学Ⅱ（脳解剖学）

英語名称：Neuroanatomy

23	9月17日	火	3	(講13) 嗅脳、辺縁系（海馬、Papez回路、扁桃体、嗅覚）	第2講義室	橋本
24	9月17日	火	4	補講		
25	9月17日	火	5	(実) 実習11 レポート課題の仕上げ、提出	解剖実習室	渡邊
26	9月17日	火	6	自習		
27	9月24日	火	1	(試験) 実習同定試験	未定	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
八木沼 洋行	名誉教授	神経解剖・発生学講座
藤井 正純	教授	脳神経外科学講座
本間 俊作	准教授	神経解剖・発生学講座
渡邊 裕二	講師	神経解剖・発生学講座
橋本 光広	講師(学内)	神経解剖・発生学講座
向笠 勝貴	助教	神経解剖・発生学講座

科目・コース（ユニット）名：分子細胞生物学 II
英語名称：Molecular Cell Biology II

【担当責任者】井上直和

【連絡先】井上直和：n-inoue@fmu.ac.jp

【開講年次】2年 【学期】前期 【必修／選択】必須 【授業形態】講義

【概要】

分子細胞生物学 I にひきつづき、生体を細胞のレベルで捉え、その分子機構を学習することを目的とする。細胞の動的な構造とそれを可能にする分子装置について、基本的な方法論を含めた多面的な講義を受けることにより、極めて多様な生命現象を可能にする細胞機能の分子生物学的な理解を行う。同時に、様々な疾病として現れてくる細胞機能の異常について学習する。具体的には、細胞が様々な情報を受容し、多様な細胞応答へと繋ぐシグナル伝達の仕組み、細胞の形や運動、分裂といった動的な営みを担う細胞骨格の構造と機能、遺伝情報を正確に娘細胞へ分配するために巧妙に制御された細胞周期の仕組み、細胞社会の構築・維持に関わる細胞外マトリックスと細胞接着、幹細胞の基本概念などについて学ぶ。

【学習目標】

- 細胞と細胞小器官の構造と機能について説明できる。
- 細胞間および細胞内シグナル伝達の基本概念を説明できる。
- 遺伝子発現を制御する細胞内シグナル伝達経路について理解できる。
- 細胞骨格の構造と機能について理解できる。
- 細胞周期の制御機構と有糸分裂の過程について説明できる。
- 減数分裂のメカニズムについて説明できる。
- 細胞接着分子の構造と機能について説明できる。
- 細胞外マトリックスの構造と機能について理解できる。
- 幹細胞、細胞の非対称性、および細胞死について説明できる。

【教科書】

分子細胞生物学第 8 版または第 9 版（東京化学同人）

【参考書】

細胞の分子生物学（Newton Press）

遺伝子（東京化学同人）

遺伝子の分子生物学（東京電機大学出版）

ヒトの分子遺伝学（メディカルインターナショナル社）

レーニンジャー新生化学（上）5-12 章、（下）24—29 章（廣川書店）

【成績評価方法】

成績評価は1出席状況、2授業態度、3各試験に基づき行う。なお、いずれの試験でも合格判定基準を満たした場合に合格とする。出席率が60%に満たない場合、また授業態度が著しく不良な場合、期末試験の受験を認めない場合があるので注意すること。

【垂直的統合授業の実施内容】

- 細胞のシグナル伝達、細胞骨格などの授業において、関連する疾患（がん、免疫疾患、早老病など）の臨床的概念について触れる。

【水平的統合授業の実施内容】

- 生化学的な物質代謝から、解剖学・組織学・発生学で学ぶマクロな現象を理解するための機序について理解する。
- ユビキチン修飾による炎症・免疫制御について説明する。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2024/4/10	水	4	(講) シグナル伝達と G タンパク質共役型受容体 1 (15章)	本間美和子	p593-p633
2	2024/4/10	水	5			
3	2024/4/17	水	4	(講) シグナル伝達と G タンパク質共役型受容体 2 (15章)	本間美和子	
4	2024/4/17	水	5			
5	2024/4/24	水	4	(講) 遺伝子発現を調節するシグナル伝達経路 (16章)	小椋正人	p635-p686
6	2024/4/24	水	5			
7	2024/5/1	水	4	(講) 真核細胞の細胞周期 (19章)	本間美和子	p773-p806
8	2024/5/1	水	5			
9	2024/5/8	水	4	(講) 細胞の構築と運動 I: ミクロフィラメント (17章)	西田満	P687-p725
10	2024/5/8	水	5			
11	2024/5/15	水	4	(講) 細胞の構築と運動 II: 微小管と中間径フィラメント (18章)	永井友朗	p727-p771
12	2024/5/15	水	5			
13	2024/5/22	水	4	(講) ユビキチン修飾による炎症シグナル制御と疾患、創薬	徳永文稔	
14	2024/5/22	水	5			

15	2024/5/29	水	4	(講) 細胞から組織への集 成 (20 章)	東智仁 齋藤明	p815-p835
16	2024/5/29	水	5			p835-p862
17	2024/6/5	水	4	(講) 幹細胞、細胞の非対 称、および細胞死 (21 章)	井上直和	p806-p810, p865-p866
18	2024/6/5	水	5			p863-p881
19	2024/6/12	水	4	(講) 幹細胞、細胞の非対 称、および細胞死 (21 章)	井上直和	p884-p893
20	2024/6/12	水	5			p893-p905
21	2024/6/19	水	4	(講) 生きた受精卵を見る 技術～ヒト不妊からマンモ ス復活まで～	山縣一夫	
22	2024/6/19	水	5			

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
西田満	教授	生化学講座	
永井友朗	助教	生化学講座	
井上直和	教授	細胞科学研究部門	
本間美和子	准教授	生体物質研究部門	
小椋正人	講師	生体物質研究部門	
東智仁	准教授	基礎病理学講座	
齋藤明	助教	基礎病理学講座	
徳永文稔	教授	大阪公立大学大学院医学研究科 医化学	
山縣一夫	教授	近畿大学生物理工学部遺伝子工学科	

科目・コース（ユニット）名： 生化学実習
英語名称： Biochemical Experiments

【担当責任者】西田 満

【連絡先】 nishita@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年, 【学期】 後期, 【必修／選択】 必修

【授業形態】 実習

【概要】分子生物学や生化学の手法は、臨床や基礎医学の最も基本的かつ必須の実験手技となっている。本実習では、遺伝子クローニング並びにタンパク質の解析および活性測定をおこなう。これにより、分子生物学と生化学の基本的な手技の習得とその原理の理解を目指す。

【学習目標】

1. 遺伝子クローニングの手法を習得し、その原理を説明できる。
2. タンパク質解析の手法を習得し、その原理を説明できる。
3. 酵素化学の手法を習得し、その原理を説明できる。
4. 実験結果を整理し、論理的に考察する能力を身につける。

【参考書】

<DNA 関連>

- ①基礎から学ぶ遺伝子工学（羊土社）、著／田村隆明
（原理が詳しく書かれていてわかりやすい）
- ②バイオ実験イラストレイテッド（秀潤社）1巻、2巻
（実験方法が詳しく書かれていてわかりやすい）

<タンパク質関連>

- ①タンパク質実験ノート改訂第4版（羊土社）上巻・下巻
（原理や実験方法が詳しく書かれている）
- ②バイオ実験イラストレイテッド（秀潤社）5巻
（原理や実験方法が詳しく書かれていてわかりやすい）

【成績評価方法】

出席状況（履修規定に基づく）、実習に対する取り組みと試験やレポートにより総合評価する。

【学習上の注意事項】事前に配布する生化学実習書を予習してから実習にのぞむこと。

【垂直的統合授業の実施内容】

実習で扱う解析方法がどのように医療や産業に応用されているのか、といった基礎から応用へのプロセスを実例に基づきながら紹介する。

【水平的統合授業の実施内容】

分子生物学や免疫学の知識や解析方法について学ぶ。

【授業スケジュール】

実習は 32 班に別れてローテーションで行う。

例として一つの班のローテーションの内容を示す。

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2023/9/12	木	4、5、6	(実) PCR、アガロース電気泳動による PCR 産物の確認と精製	全教員	
2	2023/9/18	水	4、5、6	(実) 大腸菌へのプラスミド DNA 導入	全教員	
3	2023/9/19	木	4、5、6	(実) プラスミド DNA の抽出および制限酵素消化	全教員	
4	2023/9/24	火	4、5、6	(実) 制限酵素消化したプラスミドの電気泳動、考察	全教員	
5	2023/9/25	水	4、5、6	(実) 酵素反応実験 (Michaelis-Menten のグラフ作成)	全教員	
6	2023/9/26	木	4、5、6	(実) SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動・ゲルの CBB 染色	全教員	
7	2023/10/1	火	4、5、6	(実) SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動・イムノブロット法	全教員	
8	2023/10/3	木	4、5、6	(実) 抗体による検出・まとめ	全教員	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
西田 満	教授	生化学講座	nishita@fmu.ac.jp
苅谷 慶喜	准教授	生化学講座	
伊藤 浩美	講師	生化学講座	itohrm@fmu.ac.jp
永井 友朗	助教	生化学講座	tnagai@fmu.ac.jp
佐事 武	助教	生化学講座	
橋本 仁志	助教	細胞科学研究部門	

荒井 齊祐	助教	細胞科学研究部門	
加藤 成樹	准教授	生体機能研究部門	
深堀 良二	助教	生体機能研究部門	
小椋 正人	講師	生体物質研究部門	

科目・コース（ユニット）名： 生理学 （器官生理学）
英語名称：Physiology （Organ Physiology）

【担当責任者】 挾間章博 （細胞統合生理学）

【連絡先】 生理学講座共通メールアドレス physiol1@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年, 【学期】 前期（2年）【必修／選択】 必修,
【授業形態】 講義

【概要】 生体内での各臓器がどのような仕組みで働いているかを理解することは、医学の基礎として必須である。本講義においては、分子・細胞・器官・個体の各レベルでの各臓器の働きを学び、それらを有機的に結び付けられるようになることを目指す。

【学習目標】

- ・ 人体において、各臓器がどのような働きを担っているかを説明できる。
- ・ 各臓器の働きを分子・細胞・器官のレベルで説明できる。

【教科書】 特に指定しないが、代表的な書籍を挙げる。また、各講義において、適時プリントを配布する。

カラー図解 人体の正常構造と機能 全10巻縮刷版

坂井建雄・河原克雅編集（日本医事新報社）

ガイドン生理学

John E. Hall 著、石川義弘、岡村康司、尾仲達史、河野憲二翻訳（エルゼビア・ジャパン株式会社）

標準生理学

本間研一著（医学書院）

【参考書】 特に指定しないが講義のはじめに代表的な参考図書を紹介する。上記以外の教科書等も講座に蔵書があるため、購入前に閲覧したい場合は相談に応じる。

【成績評価方法】

・ 出席状況、学習態度および筆記試験の結果を総合的に判断する。なお、出席については、規定に基づき原則として、講義は2／3以上の出席を要する。

【学習上の注意事項】

【垂直的統合授業の実施内容】

病態生理学的内容の講義を行うことで、臨床との橋渡しをする。

【水平的統合授業の実施内容】

生理学の講義の中に、解剖学・薬理学・病理学との橋渡しになるような内容を加えることで、水平的統合授業となることを目指している。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

ノーベル賞を受賞した研究室に在籍していた先生を招き、アクアポリンに関する講義を実施している。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2024/04/05	金	2	(講)生理学総論1 / 生理学の概念・学習方法 / 膜輸送の基礎	挾間章博	
2			3	(講) 生理学総論2 / 細胞内電位 / 平衡電位	挾間章博	
3	2024/04/10	水	2	(講) 体液1 / 体液の組成と機能	挾間章博	
4			3	(講) 血液1 / 血液総論・構成成分・赤血球のはたらき	挾間章博	
5	2024/04/12	金	2	(講) 血液2 / 白血球および血小板のはたらき	挾間章博	
6			3	(講) 呼吸1 / 呼吸総論 / 呼吸運動	吉江 進	
7	2024/04/17	水	2	(講) 呼吸2 / 肺気量分画 / 死腔と肺胞換気	吉江 進	
8			3	(講) 呼吸3 / 換気力学 / 肺と組織におけるガス交換	吉江 進	
9	2024/04/19	金	2	(講) 呼吸4 / 肺と血管のガス成分	吉江 進	
10			3	(講) 呼吸5 / 肺循環 / 呼吸調節	吉江 進	
11	2024/04/24	水	2	(講) 循環1 / 循環概論 / 循環力学の基礎	挾間章博	
12			3	(講) 循環2 / 心臓の電気活動・心電図	挾間章博	
13	2024/04/26	金	2	(講) 循環3 / 心臓の収縮力調節・心周期	挾間章博	

14			3	(講) 循環4 / 血管の機能 / 血圧・脈波	挾間章博	
15	2024/05/01	水	2	(講) 循環5 / 微小循環・局所循環	挾間章博	
16			3	(講) 循環6 / 循環調節	挾間章博	
17	2024/05/08	水	2	(講) 腎機能1 / 腎臓の役割	挾間章博	
18			3	(講) 腎機能2 / 糸球体の濾過	挾間章博	
19	2024/05/15	水	2	(講) 腎機能3 / 尿細管の機能	挾間章博	
20			3	(講) 腎機能4 / 集合管の機能	挾間章博	
21	2024/05/17	金	2	(講) 腎機能5 / 体液のpH調節機構	挾間章博	
22			3	(講) 腎機能6 / 排尿調節	挾間章博	
23	2024/05/22	水	2	(講) 特論	挾間章博	
24			3	(講) 特論	挾間章博	
25	2024/05/24	金	2	(講) 消化・吸収1 / 消化管の機能 総論	三宅将生	
26			3	(講) 消化・吸収2 / 胃の機能	三宅将生	
27	2024/05/29	水	2	(講) 消化・吸収3 / 小腸・大腸の機能	三宅将生	
28			3	(講) 消化・吸収4 / 膵液・胆汁分泌	三宅将生	
29	2024/06/05	水	2	(講) 消化・吸収5 / 消化管運動	三宅将生	
30			3	(講) 内分泌1 / 内分泌総論 /	小林大輔	
31	2024/06/12	水	2	(講) 内分泌2 / 視床下部ホルモン / 下垂体ホルモン	小林大輔	
32			3	(講) 内分泌3 / 甲状腺ホルモン / 膵臓・副腎のホルモン	小林大輔	
33	2024/06/19	水	2	(講) 内分泌4 / 性ホルモン	小林大輔	

34			3	(講) 生殖機能	小林大輔	
35	2024/06/26	水	2	(講) 内分泌5 / 血糖調節機構	挾間章博	
36			3	(講) 特論・細胞分化	挾間章博	
37	2024/07/03	水	2	(講) 特論1 / 病態腎生理学1	花岡一成	
38			3	(講) 特論2 / 病態腎生理学2	花岡一成	
39	2024/07/10	水	2	(講) 特論3 / 水チャネルの機能1	安井正人	
40			3	(講) 特論4 / 水チャネルの機能2	安井正人	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
挾間 章博	教授	細胞統合生理学講座
小林 大輔	講師	細胞統合生理学講座
三宅 将生	助教	細胞統合生理学講座
吉江 進	助教	細胞統合生理学講座
安井 正人	非常勤講師	慶應義塾大学医学部薬理学講座 教授
花岡 一成	非常勤講師	慈恵会医科大学医学部総合診療内科 教授

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

科目・コース（ユニット）名：生理学（神経生理学）【医学2】
英語名称：Physiology（Neurophysiology）

【担当責任者】永福 智志（システム神経科学）

【連絡先】 seifuku@fmu.ac.jp

【開講年次】2年，【学期】後期，【必修／選択】必須，【授業形態】講義

【概要】

神経系での情報処理はシナプスで連結した多数のニューロンからなる神経回路で行われており、処理信号は活動電位と呼ばれる電気信号である。本講義では、このような神経系における情報処理の基礎を学び、それに基づき、動物やヒトの感覚・認知・運動・行動・自律機能・学習/記憶・情動（感情）・コミュニケーション（言語的・非言語的）とその神経機構について学ぶ。

【学習目標】

(1) 神経系の基礎

- 1) 静止膜電位とその発生機構を説明できる。
- 2) 活動電位とその発生機構を説明できる。
- 3) 無髄および有髄神経における活動電位の伝導機構を説明できる。
- 4) シナプス伝達を説明できる。
- 5) シナプス可塑性を説明できる。
- 6) 中枢神経系の構成について概説できる。
- 7) 末梢神経系の構成と走行について概説できる。
- 8) 脳の神経化学的構成について概説できる。

(2) 感覚

- 1) 感覚の一般的な発生メカニズムを説明できる。
- 2) 体性感覚と内臓感覚およびそれらの受容器と伝導路を概説できる。
- 3) 化学感覚（味覚と嗅覚）およびそれらの受容器と伝導路を概説できる。
- 4) 平衡感覚およびその受容器と伝導路を概説できる。
- 5) 聴覚およびその受容器と伝導路を概説できる。
- 6) 視覚の受容機構を説明できる。
- 7) 視知覚の神経機構について概説できる。

(3) 運動

- 1) 脊髄反射のメカニズムを説明できる。
- 2) 脳幹反射について概説できる。
- 3) 大脳皮質運動野の構造と機能を概説できる。
- 4) 大脳基底核の神経回路と機能を概説できる。
- 5) 小脳の神経回路と機能を概説できる。
- 6) 神経筋接合部について説明できる。

- 7) 骨格筋の興奮収縮連関について説明できる。
- (4) 高次脳機能：認知・行動・学習/記憶・情動・コミュニケーション
 - 1) 学習/記憶と海馬体の機能について概説できる。
 - 2) 情動と扁桃体の機能について概説できる。
 - 3) 側頭連合野の機能を概説できる。
 - 4) 頭頂連合野の機能を概説できる。
 - 5) 前頭連合野の機能を概説できる。
 - 6) 言語野の機能を概説できる。
 - 7) 報酬系と嫌悪系について説明できる。
- (5) 自律機能と生物リズム
 - 1) 自律神経系の構成と機能について説明できる。
 - 2) 脳幹の循環・呼吸中枢について説明できる。
 - 3) 視床下部の構造と特徴を説明できる。
 - 4) 摂食・飲水行動の神経機構について概説できる。
 - 5) 性行動の神経機構について概説できる。
 - 6) 睡眠の神経機構について概説できる。
 - 7) 生物時計について概説できる。

【教科書】標準生理学 第9版 / 本間研一 他 編集, 医学書院

【参考書】以下を参考図書とする。

1. Principles of Neural Science, 6th ed. / Kandel ER et al, McGraw-Hill
<訳書>カandel神経科学 第2版, メディカル・サイエンス・インターナショナル
 2. Physiology of Behavior, 13th ed. / Carlson NR & Birkett MA, Pearson
<訳書>カールソン神経科学テキスト 一脳と行動一 原書13版, 丸善出版
 3. Primer on the Autonomic Nervous System, 4th ed. / Biaggioni I et al, Elsevier
<訳書>ロバートソン 自律神経学 原著第3版, エルゼビア・ジャパン
 4. Costanzo Physiology, 7th ed. / Costanzo LS et al, Elsevier
<訳書>コスタanzo 明解生理学 第7版, エルゼビア・ジャパン
 5. Guyton and Hall Textbook of Medical Physiology, 13th ed. / Hall JE, Saunders
<訳書>ガイトン 生理学 原著第13版, エルゼビア・ジャパン
 6. Ganong's Review of Medical Physiology, 26th ed. / Barrett, KE et al, McGraw-Hill
<訳書>ギャノン グ 生理学 原書第26版, 丸善出版
 7. Berne & Levy Physiology, 7th ed. / Koeppen BM & Stanton BA, Elsevier
<訳書>バーン・レヴィ カラー基本生理学, 西村書店
- また、文献等は学生の要望に応じ適宜紹介する。

【成績評価方法】

成績評価は、①出席状況、②授業態度、③期末試験、④その他の試験（実施した場合）に基づき行う。

出席状況は授業中の任意の時点で、Google フォーム（QR コード）を用いて確認する。（その時点での出席がタイムスタンプから確認できない場合は、たとえその前後に出席していても、出席扱いにならない可能性があるので注意すること。不正行為には厳正に対処する。）医学部履修規定に基づき、出席率が 2/3 に満たない場合、また授業態度が著しく不良な場合、期末試験の受験を認めない。

【学習上の注意事項】

授業出席にあたっては始業時間を厳守すること

【垂直的統合授業の実施内容】

学習内容と臨床医学を結び付けることを目的に、骨盤内臓神経の機能と障害に関して、泌尿器科医の立場からの解説（第 25 回（10 月 11 日）や、薬物中毒や精神疾患の神経生理学的基礎に関して精神科医の立場からの解説（第 30 回（11 月 18 日））を実施する。

【水平的統合授業の実施内容】

基本的に、解剖学・組織学Ⅱ（脳解剖学）を追って授業を実施し、互いの授業内容を参照しあうことで、神経系の構造と機能を総合的に理解できるようにする。各授業の主な対応関係は以下の通りである。

脳解剖学	神経生理学
第 6 回（9 月 3 日）： 脊髄（灰白質と白質）・反射弓（伸長反射・屈筋反射）、感覚性伝導路 1（後索・内側毛帯路） 第 9 回（9 月 5 日）： 感覚性伝導路 2（脊髄視床路）・脊髄小脳路・運動性下行路（外側・前皮質脊髄路）	第 9 回（9 月 12 日）： 体性感覚（皮膚感覚と深部感覚） 内臓感覚 第 17 回（9 月 30 日）： 運動総論 脊髄と運動(1) 第 19 回（10 月 2 日）： 脊髄と運動(2)
第 10 回（9 月 5 日）： 脳幹、脳神経核（XII, XI, X, IX, VII, V）の構成と神経路（疑核、孤束核、味覚路、内臓感覚、V が関与する反射路） 第 13 回（9 月 6 日）： 脳幹、脳神経核（III, IV, VI, VIII）の構成と神経路（眼球運動、垂直・水平注視中枢、内側縦束、前庭動眼反射、前庭脊	第 11 回（9 月 18 日） 化学感覚（味覚と嗅覚） 平衡感覚：前庭器官と前庭反射 第 12 回（9 月 18 日）： 自律神経系，脳幹網様体，呼吸中枢，循環中枢 第 13 回（9 月 19 日）： 聴覚 第 14 回（9 月 19 日）：

<p>髄路、聴覚伝導路)</p>	<p>脳神経, 脳幹反射 第 21 回 (10 月 9 日) : 脳幹と運動</p>
<p>第 16 回 (9 月 19 日) : 中脳・視覚路・視覚系反射路</p>	<p>第 14 回 (9 月 19 日) : 脳神経, 脳幹反射 第 15 回 (9 月 25 日) : 視覚(1) 第 16 回 (9 月 25 日) : 視覚(2) 第 21 回 (10 月 9 日) : 脳幹と運動</p>
<p>第 17 回 (9 月 19 日) : 視床・大脳・基底核 (視床特殊核と連合核、大脳皮質、機能局在、白質神経束、基底核の直接路と間接路)</p>	<p>第 26 回 (10 月 16 日) : 第一次運動野, 高次運動野 第 28 回 (10 月 18 日) : 大脳基底核, 視床 第 32 回 (10 月 21 日) : 前頭連合野 第 33 回 (10 月 25 日) : 側頭連合野と頭頂連合野 第 34 回 (10 月 25 日) : 言語の神経科学</p>
<p>第 18 回 (9 月 19 日) : 視床下部、下垂体 (視床下部の主な核と機能、神経内分泌)</p>	<p>第 18 回 (9 月 30 日) : 視床下部と行動① 第 20 回 (10 月 2 日) : 視床下部と行動②</p>
<p>第 21 回 (9 月 13 日) : 小脳 (小脳皮質の構成、神経回路、小脳核、小脳の入出力)</p>	<p>第 31 回 (10 月 21 日) : 小脳 : 神経回路と機能</p>
<p>第 23 回 (9 月 17 日) : 嗅脳、辺縁系 (海馬、Papez 回路、扁桃核、嗅覚)</p>	<p>第 24 回 (10 月 11 日) : 大脳辺縁系(1) : 海馬体 第 29 回 (10 月 18 日) : 大脳辺縁系(2) : 扁桃核</p>

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

最新の神経科学の展開と、人工知能(AI)やディープ・ラーニングの知見は切り離せない状況になっている。同領域の最新の知見について特別講義を実施する (第 35-36 回 (10 月 28 日))。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	9月2日	月	1	(講) 動物性機能総論, 体液の区分・組成, 膜輸送, イオンチャンネル, Na^+/K^+ -ポンプ	永福智志	
2	9月2日	月	2	(講) 静止電位: 静止電位の発生, ポンプ・リーク仮説, Donnan 平衡	永福智志	
3	9月4日	水	2	(講) 活動電位(1): 活動電位の発生, 全か無かの法則, 不応期, Hodgkin-Huxley モデル	永福智志	
4	9月4日	水	3	(講) シナプス伝達(1): 化学シナプス, 電気シナプス, シナプス電位, 加重, 神経伝達物質・受容体の基礎的構造と機能	浄土英一	
5	9月9日	月	1	(講) 活動電位(2): 興奮の伝導, 電気緊張電位, 局所電流, 跳躍伝導, 集合活動電位	永福智志	
6	9月9日	月	2	(講) シナプス伝達(2): 神経伝達物質ドーパミン, ノルアドレナリン, セロトニン, アセチルコリン, グルタミン酸	浄土英一	
7	9月11日	水	2	(講) 感覚総論: 感覚の種類, 感覚の発生メカニズム, 順応, Weber 比, 人工ニューラル・ネットワーク	永福智志	
8	9月11日	水	3	(講) シナプス伝達(3): イオンチャンネル型受容体, G タンパク質結合型受容体, 伝達物質投射系	浄土英一	
9	9月12日	木	2	(講) 体性感覚 (皮膚感覚と深部感覚): 脊髄上行路 (脊髄小脳路を含む), 体性感覚の神経機構 内臓感覚	永福智志	
10	9月12日	木	3	(講) 神経の可塑性: 長期増強・抑圧現象, 受容体のアップ・ダウンレギュレーション, 軸索のスプラウティング	浄土英一	

11	9月18日	水	2	(講) 化学感覚(味覚と嗅覚) 平衡感覚: 前庭器官と前庭反射	永福智志	
12	9月18日	水	3	(講) 自律神経系, 脳幹網様体, 呼吸 中枢, 循環中枢	高橋和巳	
13	9月19日	木	2	(講) 聴覚: 蝸牛器官, 聴覚の神経機 構	永福智志	
14	9月19日	木	3	(講) 脳神経, 脳幹反射	高橋和巳	
15	9月25日	水	2	(講) 視覚(1): 視覚器と光線の受容	永福智志	
16	9月25日	水	3	(講) 視覚(2): 視知覚の神経機構	永福智志	
17	9月30日	月	2	(講) 運動総論(1): 反射と随意運動 脊髄と運動(1): 脊髄の構造	永福智志	
18	9月30日	月	3	(講) 視床下部と行動①(摂食, 飲水, 生殖, 体温調節)	高橋和巳	
19	10月2日	水	2	(講) 脊髄と運動(2): 脊髄反射, 脊髄 下行路	永福智志	
20	10月2日	水	3	(講) 視床下部と行動②(情動行動, ストレス反応, 概日リズム)	高橋和巳	
21	10月9日	水	2	(講) 脳幹と運動: 脳幹反射, 姿勢・ 運動制御, 定位反応, 嚥下と咀嚼	永福智志	
22	10月9日	水	3	(講) 意識状態, 脳死, 睡眠	高橋和巳	
23	10月11日	金	4	(講) 骨格筋: 神経筋接合部, 興奮収 縮連関, 筋収縮機構, 運動単位	永福智志	
24	10月11日	金	5	(講) 大脳辺縁系(1): 海馬体 場所細胞, 両側海馬損傷, 順行性健忘, 保続	浄土英一	
25	10月11日	金	6	(講) 【特別講義】 骨盤内臓神経の機能と障害	【特別講義】太 田昌一郎先生 (看護学部)	
26	10月16日	水	2	(講) 第一次運動野, 高次運動野(運 動前野腹側部・運動前野背側部・補足 運動野・帯状皮質運動野)	永福智志	
27	10月16日	水	3	(講) 【特別講義】 睡眠の神経機構	【特別講義】小 山純正先生(福 島大学)	
28	10月18日	金	4	(講) 大脳基底核: 神経回路と機能 視床: 神経回路と機能	永福智志	
29	10月18日	金	5	(講) 大脳辺縁系(2): 扁桃体	浄土英一	

				情動制御, 摂食制御, 社会的知覚, オキシトシン	
30-	10月18日	金	6	(講)【特別講義】報酬系と嫌悪系, 脳内自己刺激, 内因性オピオイド, ドーパミン, 動機づけ, 嗜癖行動, 薬物依存・中毒	【特別講義】片山規央先生(福島大学)
31	10月21日	月	2	(講)小脳:神経回路と機能運動総論(2):運動制御の新しい流れ	永福智志
32	10月21日	月	3	(講)前頭連合野:前頭前皮質遂行機能, 作業記憶, ミラーニューロン	浄土英一
33	10月25日	金	2	(講)側頭連合野と頭頂連合野視覚認知, 視覚記憶, 聴覚認知, 空間認知	永福智志
34	10月25日	金	3	(講)言語の神経科学:言語発達, Broca野, Wernicke野, 失語症, ラテラルリティ	浄土英一
35-36	10月28日	月	2-3	(講)【特別講義】人工知能(AI)と脳	【特別講義】林隆介先生(産業技術総合研究所)
37-38	11月1日	金	2-3	(講)【特別講義】歩行と姿勢の運動制御	【特別講義】中隋克己先生(岩手県立医科大学)

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
永福智志	主任教授	医学部システム神経科学講座	seifuku@fmu.ac.jp
浄土英一	准教授	医学部システム神経科学講座	Jodo1019@fmu.ac.jp
高橋和己	講師	医学部システム神経科学講座	takahasi@fmu.ac.jp
小山純正	非常勤講師	福島大学・共生システム理工学類 教授	
林隆介	非常勤講師	産業技術総合研究所・システム脳科学 主任研究員	

中隲克己	非常勤講師	岩手県立医科大学・生理学講座・統合生理学分野 教授	
片山規央	非常勤講師	福島大学・保健管理センター教授	
太田昌一郎	客員講師	看護学部生命科学部門 教授	

科目・コース（ユニット）名：薬理学
英語名称：Pharmacology

【担当責任者】下村 健寿

【連絡先】pharm@fmu.ac.jp

【開講年次】2年，【学期】前期・後期【必修／選択】必須

【授業形態】講義

【概要】

薬理学とは、薬物が生体に及ぼす作用、および生体が薬物に及ぼす作用を研究する学問である。病気の予防、診断および治療に用いられる薬物の重要性は言うまでもない。しかし“くすり”は“リスク”でもある。痛みや不安などをはじめとした様々な症状に悩む人を救うために、医師は薬物を“リスク”ではなく、“くすり”として使わなければならない。そのためには薬物についての正しい知識が不可欠である。そこでいろいろな病気の治療薬について、作用メカニズムを理解し、薬理学の基礎知識を身につける。またそれを土台にして臨床薬理学を修得できるようにする。

【学習目標】

一般目標

- ① 薬物の作用とそのメカニズムを理解する。
- ② 将来にわたって薬物に関する最新情報を自学自習できるように、情報をどのようにして得るかを習得する。
- ③ 薬物についてわかりやすく説明する態度を身につける。

行動目標

- ① 薬物の用量と作用の関係について説明できる
- ② 体内への吸収、分布、代謝、排泄について説明できる。
- ③ 受容体を列挙しその情報伝達経路、効果を説明できる。
- ④ 受容体のアゴニスト、アンタゴニストを列挙しその効果を説明できる。
- ⑤ 様々な疾患に対する主な治療薬の一般名を列挙できる。
- ⑥ 薬物の作用機序を説明できる。
- ⑦ 薬物の副作用を説明できる。

【教科書】

薬がみえる vol. 1：第2版 メディックメディア（2021年）
薬がみえる vol. 2：第2版 メディックメディア（2023年）
薬がみえる vol. 3：第2版 メディックメディア（2023年）
薬がみえる vol. 4：第1版 メディックメディア（2020年）

【参考書】

NEW 薬理学 改訂第7版 田中千賀子・加藤隆一 南江堂 (2017年)
グッドマン・ギルマン薬理書〔上・下〕改訂第13版 廣川書店 (2022年)

【成績評価方法】

評価は2回の筆記試験の成績により行う。
講義の3分の2以上に出席した者を筆記試験の受験資格者とする。
合格に要する到達点は100点満点中60点とする。

【学習上の注意事項】

図表が豊富な教科書を用いること、ならびに自主学習や試験勉強等において配布された資料にのみ依存することを避け、幅広い学習を促すため本科目では原則として講義資料は配付しない。

【垂直的統合授業の実施内容】

「中枢神経系作用薬」授業における精神医学科領域や脳神経内科領域薬物に関する授業実施
「麻酔薬」授業における麻酔科領域薬物に関する授業実施
「循環器系疾患治療薬」授業における循環器内科領域薬物に関する授業実施
「消化器系疾患治療薬」授業における消化器内科領域薬物に関する授業実施
「呼吸器系疾患治療薬」授業における呼吸器内科領域薬物に関する授業実施
「排尿障害治療薬」授業における泌尿器科領域薬物に関する授業実施
「内分泌療法薬」授業における産婦人科領域薬物に関する授業実施
「抗炎症薬・免疫調節薬」授業におけるリウマチ膠原病内科領域や移植免疫学領域薬物に関する授業実施
「内分泌系作用薬」授業における糖尿病内分泌代謝内科領域薬物に関する授業実施
「抗がん薬」授業における腫瘍内科・血液内科領域薬物に関する授業実施

【水平的統合授業の実施内容】

「細胞内情報伝達や生理活性物質」授業における生化学や生理学分野に関わる授業実施
「自律神経系作用薬」授業における神経生理学分野に関わる授業実施
「免疫調節薬」授業における免疫学分野に関わる授業実施

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

「薬がつけられるまで」授業における創薬 (drug discovery and development) および遺伝子治療など新たな治療軸 (モダリティ) に関する授業実施

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	24/5/31	金	2	(講) 薬理学とは	下村	vol. 4
2	24/5/31	金	3	(講) 受容体・イオンチャネル	堀田	vol. 4
3	24/6/7	金	2	(講) 生理活性物質	前島	vol. 4
4	24/6/7	金	3	(講) 薬物の生体内動態	三坂	vol. 4
5	24/6/14	金	2	(講) 薬がつくられるまで	三坂	vol. 4
6	24/6/14	金	3	(講) 交感神経系	日出間	vol. 1
7	24/7/9	火	4	(講) 副交感神経系	日出間	vol. 1
8	24/7/9	火	5	(講) 筋弛緩薬	堀田	vol. 1
9	24/7/9	火	6	(講) 麻酔薬	日出間	vol. 1
10	24/7/12	金	2	(講) 呼吸器系疾患治療薬	三坂	vol. 2
11	24/7/12	金	3	(講) 消化器系疾患治療薬	下村	vol. 3
12	24/7/16	火	4	(講) 高血圧、狭心症治療薬	坂本	vol. 1
13	24/7/16	火	5	(講) 心不全治療薬	坂本	vol. 1
14	24/7/16	火	6	(講) 抗不整脈薬	坂本	vol. 1
15	24/7/19	金	2	(講) 利尿薬、排尿障害治療薬	三坂	vol. 1
16	24/7/19	金	3	(講) 内分泌療法薬	日出間	vol. 2
17	24/9/6	金	2	(講) 抗炎症・抗アレルギー薬	堀田	vol. 2
18	24/9/6	金	3	(講) NSAIDs、膠原病治療薬	日出間	vol. 2
19	24/9/13	金	2	(講) 免疫調節薬	堀田	vol. 2
20	24/9/13	金	3	(講) 肥満・糖尿病治療薬	下村	vol. 2
21	24/9/20	金	2	(講) 脂質異常症治療薬	下村	vol. 2
22	24/9/20	金	3	(講) プリン代謝、骨代謝	堀田	vol. 2
23	24/9/24	火	2	(講) パーキンソン病治療薬	堀田	vol. 1
24	24/9/24	火	3	(講) 抗不安薬、催眠薬	三坂	vol. 1
25	24/9/27	金	2	(講) 抗うつ薬	堀田	vol. 1
26	24/9/27	金	3	(講) 統合失調症治療薬	下村	vol. 1
27	24/10/1	火	2	(講) 抗てんかん薬	三坂	vol. 1
28	24/10/1	火	3	(講) 麻薬性鎮痛薬	前島	vol. 1
29	24/10/4	金	2	(講) 薬物乱用	三坂	vol. 1
30	24/10/4	金	3	(講) 血液作用薬、貧血治療薬	堀田	vol. 2
31	24/10/11	金	2	(講) 抗がん薬総論と造血因子	三坂	vol. 3
32	24/10/11	金	3	(講) 抗がん薬1 (細胞毒性薬)	日出間	vol. 3
33	24/10/18	金	2	(講) 抗がん薬2 (分子標的薬)	下村	vol. 3
34	24/10/18	金	3	(講) 薬物相互作用	三坂	vol. 4

【担当教員】

教員氏名	職	所属
下村 健寿	主任教授	病態制御薬理医学講座
前島 裕子	准教授	病態制御薬理医学講座
三坂 眞元	講師	病態制御薬理医学講座
堀田 彰一郎	講師	病態制御薬理医学講座
日出間 志寿	助教	病態制御薬理医学講座
坂本 多穂	准教授	静岡県立大学

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

科目・コース（ユニット）名： 生理学・薬理学実習【医学2】
英語名称：Physiology and Pharmacology Practical

【担当責任者と連絡先】

狭間章博（細胞統合生理学講座）：physiol1@fmu.ac.jp

永福智志（システム神経科学講座）：seifuku@fmu.ac.jp

下村健寿（病態制御薬理医学講座）：pharm@fmu.ac.jp

【開講年次】：2年 【学期】：後期 【必修／選択】：必修

【授業形態】：実習

【概要】

生理学（器官生理学・神経生理学）および薬理学で学んだ内容を、「生きた知識」として真に身につけるため、人体や動物を用いた実験により、生理現象を直に体験する。また、コンピュータ・シミュレーションにより薬物作用について学習する。

【学習目標】

- ① さまざまな生理機能の計測を実施し、その意義を説明できる。
- ② 実験動物の使用に関するルールを説明できる。
- ③ 計測機器の取扱い方法や注意すべき点を説明できる。
- ④ 臨床の場で用いられる基本的な生体電気現象の記録ができる。
- ⑤ 自らも被験者になることによって、患者さんの心を思い量ることができる。
- ⑥ 薬の生体に対する作用と生体の薬に対する反応について説明できる。
- ⑦ 実験結果と考察について人にわかりやすく説明できる。
- ⑧ 生体現象は様々な構成要素に還元でき、またそれらの協働によって成り立っていることを説明できる。

【教科書】 実習書を配布する。

【参考書】 配布する実習書に参考文献などを記載する。

【成績評価方法】 出席、実習態度、レポート、小テスト、口頭試問、発表会等により総合的に評価する。無断欠席や適切な理由のない欠席の場合、また実習態度が著しく悪い場合には単位を認定しない。

【学習上の注意事項】 実習書に記載するのであらかじめ読んでおくこと。

【垂直的統合授業の実施内容】

「数理モデルによる細胞生理学実習」（細胞統合生理学講座担当）では、循環器科学領域における病態と、その要因について学ぶ。

科目・コース（ユニット）名：生理学・薬理学実習【医学2】

英語名称：Physiology and Pharmacology Practical

「体液調節と腎機能」（細胞統合生理学講座担当）では泌尿器科学領域について学ぶ。腎疾患の病態や検査方法について学ぶ。

「脳波」・「神経伝導検査の基礎」（システム神経科学講座担当）では神経疾患の病態や検査方法とその生理学的基礎について学ぶ。

「マウスに対する糖負荷後の血糖変動の測定（病態制御薬理医学講座担当）」では糖尿病・代謝・内分泌内科領域について学ぶ。

【水平的統合授業の実施内容】

「数理モデルによる細胞生理学実習」（細胞統合生理学講座担当）では、生化学的・計算科学的・統計学的手法について学ぶ。

「体液調節と腎機能（細胞統合生理学講座担当）」では生化学的、分析化学的及び統計学的解析手法について学ぶ。

「薬物動態および薬力学シミュレーション（病態制御薬理医学講座担当）」では生化学的な解析手法について学ぶ。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	10月23日	水	4	（講）実習ガイダンス 項目1：数理モデルによる細胞生理実習 項目2：体液調節と腎機能 項目3：脳波 項目4：神経伝導検査の基礎 項目5：マウスに対する糖負荷後の血糖変動の測定 項目6：薬理学シミュレーション 場所：組織病理学実習室	病態制御薬理医学講座 システム神経科学講座 細胞統合生理学講座 全員
2	11月6日	水	4-6	（実）1週目 1-① 原則水曜日・木曜日2日連続で1項目を実施する 場所：生理・薬理・衛生学実習室（4F） 第1, 第2ゼミナール室（4F） 生理・公衆衛生学実習室（5F）	
3	11月7日	木	4-6	（実）2週目 2-① 場所：同上	

科目・コース（ユニット）名：生理学・薬理学実習【医学2】
英語名称：Physiology and Pharmacology Practical

4	11月13日	水	4-6	(実) 2週目 2-② 場所：同上
5	11月14日	木	4-6	(実) 3週目 3-① 場所：同上
6	11月20日	水	4-6	(実) 3週目 3-② 場所：同上
7	11月21日	木	4-6	(実) 4週目 1-② 場所：同上
8	11月27日	水	4-6	(実) 5週目 4-① 場所：同上
9	11月28日	木	4-6	(実) 5週目 4-② 場所：同上
10	12月4日	水	4-6	(実) 6週目 5-① 場所：同上
11	12月5日	木	4-6	(実) 6週目 5-② 場所：同上
12	12月11日	水	4-6	(実) 7週目 6-① 場所：同上
13	12月12日	木	4-6	(実) 7週目 6-② 場所：同上
14	1月9日	木	1-6	(実) アドバンスト週間 ① 場所：同上
15	1月16日	木	1-6	(実) アドバンスト週間 ② 場所：同上

【担当教員】

細胞統合生理学講座・システム神経科学講座・病態制御薬理医学講座 全員

科目・コース（ユニット）名： 微生物学
英語名称： Microbiology

【担当責任者】石岡 賢

【連絡先】欠席・遅刻等の連絡は 024-547-1158 に電話してください。

質問は石岡 (ishiken@fmu. ac. jp)、宮崎 (m-nozomu@fmu. ac. jp)、錫谷 (suzutani@fmu. ac. jp)
橋本 (don@fmu. ac. jp) にメールするか、アポイントを取って微生物学講座に来てください。

【開講年次】2年, 【学期】通年, 【必修／選択】必須

【授業形態】講義／実習

【概要】

地球上には多数の微生物が棲息し、複雑な生態系を作っている。これらの微生物の性質を明らかにすることは、地球上の生物資源を理解するうえで大変重要なテーマである。一方、医学で微生物学を学習する目的には、感染症の原因となる病原微生物を知り、疾患の発症病理を理解すること、感染症の診断法、治療法、予防法を理解することといった臨床的な点と（感染症学）、微生物を題材に分子生物学を学ぶという基礎的な点がある。また、我々の体表面には 1,000 種にも及ぶ細菌が暮らし、我々の健康に大きな影響を及ぼしていることが明らかになりつつある。本ユニットでは、宿主であるヒトとそれに寄生・感染する微生物との関係に主眼を置きながら、上記の問題を学習する。

【学習目標】

将来、医学・医療に携わる者に必要な微生物学・感染症学の知識を修得する。
この知識が3年から始まる臨床医学の学習や病院での実習に生かされるように身に着ける。
また人の健康と微生物のかかわりに興味を持ち、普段の生活に感染防御の知識や醗酵食品などを応用する態度を醸成する。

身につけなくてはならない具体的な知識は以下の点である。

- 1 各微生物（真菌、細菌、ウイルス）の構造や増殖の仕方を説明出来る。
- 2 感染症に対応する生体の反応と、免疫と感染症発症の関係を説明出来る。
- 3 臓器別に、感染症を起こす微生物名とその頻度を説明出来る。
- 4 病原微生物の名前とその微生物の感染経路、発症病理、症候、診断法、治療法、予防法を説明出来る。
- 5 抗菌薬、抗ウイルス薬の作用機序を説明出来る。
- 6 滅菌と消毒の方法と、その利点・欠点を説明出来る。
- 7 ワクチンの種類とその作用を説明出来る。
- 8 感染症に関する世界の動向を説明できる。

【教科書】標準微生物学 第15版 （錫谷達夫、松本哲哉 編集）医学書院

【参考書】 戸田新細菌学 第34版 (吉田眞一、柳 雄介、吉開泰信 編集) 南山堂
シンプル微生物学 第6版 (小熊恵二、堀田博、若宮伸隆 編集) 南江堂
病原菌の今日的意味 改訂第4版 (松本慶蔵 編) 医薬ジャーナル社
ウォームアップ微生物学 中込 治 著 医学書院

【成績評価方法】

試験 (総論、細菌学・真菌学各論、ウイルス学の3回の試験の総合点)、実習の態度やレポートの評価などを総合して評価します。

講義には2/3以上の出席が必要。実習は2度とできない経験なので、欠席は認めません。また感染する危険性を伴う実習のため、説明時間に遅刻した場合は厳しく減点します。実習を欠席する際は事前に連絡してください。補講します。

- ・細菌学総論試験 45点満点 + 実習1レポート点 5点 (授業1~14回)
- ・細菌学・真菌学各論試験 80点満点 + 実習2,3レポート点 20点 (授業15~45回)
- ・ウイルス学試験 95点満点 + 実習4レポート点 5点 (授業46~71回)

【学習上の注意事項】

下記のシラバスには教科書のページ数を記載しております。予習して講義に臨んでください。予習することによって講義時間内での理解が深まり、学習の効率が格段に上がります。また講義では教科書を使って説明することがありますので、教科書を持参してください。例年、各論に入ってから分量が格段に多くなるため、徐々に成績が悪くなり、留年した人のほとんどが微生物学を落とすか、再試を受けた結果、再履修となっています。きちんと予習復習をしましょう。講義の中で、あるいは実習で過去の講義の復習をしているのですが、その都度理解しないまま講義を受けるため、復習だということすらわからない学生がたくさんいます。

なお、錫谷は令和5年度で定年退官したため、令和6年度の途中で新しい教授が着任すると思います。その後、シラバスが変更になるかもしれません。

【垂直的統合授業の実施内容】

呼吸器感染、消化器感染するウイルスについては小児科学との垂直統合授業で、小児科学講座の橋本准教授が講義します。(回数56, 57, 61, 62回)

【水平的統合授業の実施内容】

微生物学の講義全般にわたって免疫学の知識が必要となります。第49回目の講義では感染症に関する免疫を講義します。また試験には免疫学の内容も出します。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

第8回の講義ではゲノム編集についての先端的な内容を講義します。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	標準微生物学
1	4月11日	木	2	(講) 微生物学の歴史、真核細胞と原核細胞	錫谷 達夫	p. 1-13
2	18日	木	2	(講) 細菌の構造と機能	錫谷 達夫	p. 18-24, 78-82
3	25日	木	2	(講) 細菌の化学療法 (I) 細胞壁合成阻害薬	錫谷 達夫	p. 102-110
4	5月2日	木	2	(講) 細菌の化学療法 (II) タンパク質合成阻害薬	錫谷 達夫	p. 111-118
5	9日	木	2	(講) PK/PD 理論、薬剤耐性化	錫谷 達夫	p. 118-122
6	16日	木	2	(講) 細菌の代謝、世代時間、細菌の分類と同定	石岡 賢	p. 24-41 p. 82-89 p. 96-101
7	23日	木	2	(講) 細菌遺伝学	石岡 賢	p. 42-62
8	30日	木	2	(講) 遺伝子組換え技術、ゲノム編集	石岡 賢	p. 59-62
9	6月6日	木	2	(講) 滅菌、消毒	宮崎 希	p. 615-623
10	13日	木	2	(講) 感染論	錫谷 達夫	p. 582-584 p. 596-605
11	9月5日	木	6	(実) 実習1; 消毒薬の効果	全 員	
12	10日	火	4	(実) 実習1; 消毒薬の効果	全 員	
13	10日	火	5	(実) 実習1; 消毒薬の効果	全 員	
14	10日	火	6	(実) 実習1; 消毒薬の効果	全 員	
15	10月2日	水	4	(講) 球菌 (I) ブドウ球菌属	未 定	p. 127-136
16	2日	水	5	(講) 球菌 (II) レンサ球菌属	未 定	p. 136-141
17	2日	水	6	(講) 球菌 (III) レンサ球菌属	未 定	p. 141-144
18	8日	火	2	(講) 球菌 (IV) ナイセリア属	未 定	p. 210-213
19	9日	水	4	(実) 実習2; 腔・咽頭からの菌の培養	全 員	
20	9日	水	5	(実) 実習2	全 員	

21	9日	水	6	(実) 実習 2	全 員	
22	10日	木	4	(実) 実習 2	全 員	
23	10日	木	5	(実) 実習 2	全 員	
24	10日	木	6	(実) 実習 2	全 員	
25	15日	火	1	(実) 実習 2	全 員	
26	16日	水	4	(講) グラム陰性桿菌 (I)	未 定	p. 166-209
27	16日	水	5	(講) グラム陰性桿菌 (II)	未 定	p. 166-209
28	16日	水	6	(実) 実習 3; 便からの菌の培養	全 員	
29	17日	木	4	(講) グラム陰性桿菌 (III)	未 定	p. 166-209
30	17日	木	5	(実) 実習 3	全 員	
31	17日	木	6	(実) 実習 3	全 員	
32	21日	月	4	(講) 芽胞形成菌	未 定	p. 146-159
33	21日	月	5	(実) 実習 3	全 員	
34	21日	月	6	(実) 実習 3	全 員	
35	22日	火	1	(実) 実習 3	全 員	
36	24日	木	4	(講) 芽胞形成菌	未 定	p. 146-159
37	24日	木	5	(講) らせん状菌	未 定	p. 227-232 p. 236-240
38	24日	木	6	(講) らせん状菌/抗酸菌	未 定	
39	28日	月	4	(講) 抗酸菌	未 定	p. 241-255
40	28日	月	5	(講) マイコプラズマ (p. 272-277)	未 定	p. 272-277
41	28日	月	6	(講) リケッチア、クラミジア	未 定	p. 278-293
42	31日	木	4	(講) 真菌学	未 定	p. 295-337
43	31日	木	5	(講) 真菌学	未 定	p. 295-337
44	31日	木	6	(講) 真菌学	未 定	p. 295-337
45	11月8日	金	2	(講) ウイルスの形態と分類、増殖	未 定	p. 341-361
46	8日	金	3	(講) ウイルスの遺伝学とウイルス発がん	未 定	p. 362-370
47	15日	金	2	(講) ウイルス性疾患の診断	未 定	p. 379-385
48	15日	金	3	(講) ワクチンの原理	未 定	p. 585-593
49	22日	金	2	(講) ウイルスに対する免疫	未 定	
50	22日	金	3	(講) ワクチンで予防できる疾患 (I)	未 定	p. 477-479 441

				麻疹、ムンプス、風疹		
51	29日	金	2	(講) ワクチンで予防できる疾患(Ⅱ) 日本脳炎、狂犬病、パピローマウイルス	未定	p. 446-447, p. 482-484, p. 414-418
52	29日	金	3	(講) ワクチンで予防できる疾患(Ⅲ) インフルエンザウイルス	未定	p. 464-474
53	12月2日	月	4	(実) 実習4; ウイルスのタイター測定	全員	
54	2日	月	5	(実) 実習4	全員	
55	2日	月	6	(実) 実習4	全員	
56	6日	金	2	(講) 上気道炎を起こすウイルス	橋本	p. 410-414 p. 429-430 p. 479-481 p. 454-461
57	6日	金	3	(講) 同上	橋本	
58	9日	月	4	(講) ヘルペスウイルス科	全員	p. 397-410
59	9日	月	5	(講) ヘルペスウイルス科	全員	
60	9日	月	6	(講) ヘルペスウイルス科	全員	
61	10日	火	4	(講) 下痢を起こすウイルス	橋本	p. 431-436 p. 499-506
62	10日	火	5	(講) 同上	橋本	
63	10日	火	6	(講) 肝炎ウイルス A型、E型肝炎ウイルス	未定	p. 430-431 p. 452-454
64	13日	金	2	(講) 肝炎ウイルス B型、D型肝炎ウイルス	未定	p. 530-535
65	13日	金	3	(講) 肝炎ウイルス(Ⅲ) C型肝炎ウイルス	未定	p. 449-452
66	1月8日	水	2	(講) レトロウイルス(Ⅰ) ヒトT細胞白血病ウイルス	未定	p. 507-520
67	10日	金	4	(講) レトロウイルス(Ⅱ) ヒト免疫不全ウイルス	未定	p. 520-530
68	10日	金	5	(講) プリオン	未定	
69	10日	金	6	補講	未定	

*標準微生物学(第14版)のページ数を記載しました。

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
石岡 賢	講師	福島県立医科大学 微生物学講座	
宮崎 希	助教	福島県立医科大学 微生物学講座	
深見 伸一	助教	福島県立医科大学 微生物学講座	
和田 雄治	助教	福島県立医科大学 微生物学講座	
橋本 浩一	准教授	福島県立医科大学 小児科学講座	
錫谷 達夫	非常勤講師	大原総合病院	

科目・コース（ユニット）名：免疫学
英語名称：Immunology

【担当責任者】 関根 英治

【連絡先】 meneki@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年，学期：前期と後期，必修／選択：必修，授業形態：講義／実習

【概要】

免疫とは自己と非自己を見分けながら非自己（病原微生物や癌細胞など）に対して抵抗性を示す能力であり、免疫学とはその機構とその破綻によってひき起こされる疾患を理解する学問である。

免疫には生体に生まれつき備わっている自然免疫と、特異性と記憶を特徴とする獲得免疫（適応免疫）とがある。これらはお互いに関連し協調しながら、生体に侵入した病原微生物を異物として認識し、排除する。一方、免疫機構の破綻は、免疫不全症やアレルギー性疾患、自己免疫疾患などをひき起こす。

免疫学コースでは、免疫機構の基礎となる物質（抗体・補体・サイトカイン・ケモカインなど）や、それらを作り出す免疫担当細胞（T細胞・B細胞・マクロファージ・樹状細胞・顆粒球など）、そしてそれらの相互作用について学修する。前半（中間試験前まで）は、主として生体防御における免疫機構や、免疫学的検査法の基本的手技について講義や実習を通じて学修する。後半（中間試験後）は、免疫機構の破綻によって生じる疾患や、移植免疫・がん免疫などについて学修する。

【学習目標】

・一般目標

生体防御における免疫機構を分子レベルで理解し、その破綻によって生じる疾患（免疫不全症、アレルギー性疾患、自己免疫疾患など）、移植免疫、がん細胞に対する免疫（がん免疫）を理解する。

・行動目標

[免疫の一般特性]

- 1 生体防御機構における免疫系の特徴（特異性、多様性、寛容、記憶）を説明できる。
- 2 免疫に関わる臓器/組織と細胞、およびその役割を説明できる。
- 3 自然免疫と獲得免疫の特徴（病原体の記憶・認識機構の違い）を説明できる。
- 4 「二度なし」現象の細胞分子基盤とワクチンの原理を説明できる。
- 5 生体防御における補体の役割を説明できる。

科目・コース（ユニット）名：免疫学

英語名称：Immunology

[自己と非自己の識別に関与する分子とその役割]

- 1 MHCクラスIとクラスIIの基本構造、抗原呈示経路の違いを説明できる。
- 2 免疫グロブリン（抗体）とT細胞レセプターの構造と反応様式を説明できる。
- 3 免疫グロブリンとT細胞レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構を説明できる。
- 4 自己と非自己の識別機構の確立と免疫学的寛容を説明できる。

[免疫反応の調節機構]

- 1 抗原レセプターからのシグナルを増強あるいは減弱する調節機構を概説できる。
- 2 代表的なサイトカイン・ケモカインの特徴を説明できる。
- 3 ヘルパーT細胞(Th1, Th2, T_{fh}, Th17)、細胞傷害性T細胞(CTL)、制御性T細胞(Treg)それぞれが担当する生体防御反応を説明できる。

[免疫と疾患]

- 1 ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴を説明できる。
- 2 原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群(AIDS)を概説できる。
- 3 免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症を概説できる。
- 4 アレルギー発症の機序(Coombs分類)を概説できる。
- 5 がん疾病に関わる細胞性免疫の特徴(がん免疫)を概説できる。
- 6 移植免疫の特徴・問題点を概説できる。

[免疫学実習]

- 1 FACSの原理の概説と、FACSによる細胞のポピュレーション解析ができる。
- 2 ELISAの原理の概説と、ELISAによる血清蛋白質濃度の測定ができる。

【教科書】

エッセンシャル免疫学 (THE IMMUNE SYSTEM) 第4版 (Peter Parham 著, 笹月健彦訳)
(メディカル・サイエンス・インターナショナル社) を教科書として使用するので準備すること。

【参考書】

- ・ 関根・町田が担当する授業では、授業で使用するスライドのpdfを前日の夜までに免疫学講座のホームページ <https://www.fmu.ac.jp/cms/immunol/index.html>で公開する。
- ・ 必要な者は各自印刷するか、iPadなどにダウンロードして使用すること。
- ・ 参考書は特に指定しないが、古い教科書の使用は控えること。

科目・コース（ユニット）名：免疫学
英語名称：Immunology

【成績評価方法】

- ① 前期試験（中間試験）（原則として100点を満点とする）、後期試験（期末試験）（原則として100点を満点とする）、実習（実習の履修は必須、レポートを提出した者に実習点（原則として10点を満点）を与える）、出欠等を加えて総合的に評価する。
- ② 計40回の授業回数のうち、出席率が60%に満たない者は、免疫学の試験資格を失う。
- ③ 上記の条件（規程回数出席・実習の履修・良好な授業態度）を満たし、かつ筆記試験と実習点の合計が120点以上の者を単位取得者と認める。最終成績点は合計点数の1/2として算出し、小数点以下は切り捨てる。また、合計点数が200点を超えた場合は、最終成績点を100点とする。
- ④ ③で算出された合計点が60点未満の者に対して後期試験終了後に再試験（原則として100点を満点とする）を1回のみ行う。再試験の試験範囲は、前期と後期の全授業範囲とする。60点以上の取得者は最終成績点を60点とし、単位取得者と認める。

【学習上の注意事項】

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行期の授業時間中や開始前後において、感染拡大防止に非協力的な行動をとる学生に対して退席を命じる*ことがある。

*感染拡大防止に適切に対応している学生が、安全に医学教育を受ける権利を保護するための措置であることを理解すること。

【垂直的統合授業の実施内容】

該当科目・コース（ユニット）名：免疫学

該当授業項目：

- ① 移植免疫 令和6年12月10日1限目 講師 丸橋 繁
要点：固形臓器移植における免疫学的問題点に社会医学的問題点を加えて解説し、移植免疫の理解を深める。
- ② 輸血と免疫 令和6年12月10日2限目 講師 植田 航希
要点：輸血の基本原則と輸血による様々な副作用を免疫学的視点から解説し、輸血における免疫応答の理解を深める。
- ③ アレルギーの臨床 令和6年12月13日6限目 講師 鈴木 修三
要点：アレルギー専門医と指導医の有資格者を講師に迎え、臨床医の視点からの解説を通じて、現代のアレルギー性疾患の問題点の理解を深める。

【水平的統合授業の実施内容】

該当科目・コース（ユニット）名：組織学

該当授業項目：

科目・コース（ユニット）名：免疫学

英語名称：Immunology

① リンパ性器官 令和6年5月9日3限目 講師 関根 英治

要点：リンパ節や骨髄などのリンパ性器官の組織学的構造に免疫学的機能の解説を加えることで、リンパ性器官の理解を深める。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

該当科目・コース（ユニット）名：免疫学

該当授業項目：

① 補体 令和6年5月10日5限目 講師 関根英治

要点：当講座でのレクチン経路の補体因子「MASP-1」の発見に至るまでの背景と、近年当講座で明らかにされた第2経路の補体因子「MASP-3」の役割についての研究成果について解説し、科学的探求心を養う。

【授業スケジュール】

回数	月	日	曜日	時限	授業項目	担当者
1	5	10	金	4	(講) 自然免疫	関根英治
2				5	(講) 補体	
3	5	17	金	4	(講) 抗体の構造とB細胞の多様性 (1)	町田 豪
4				5	(講) 抗体の構造とB細胞の多様性 (2)	
5	5	24	金	4	(講) T細胞による抗原の認識 (1)	関根英治
6				5	(講) T細胞による抗原の認識 (2)	
7	5	31	金	4	(講) B細胞の分化	町田 豪
8				5	(講) 抗体の診断・治療への応用	
9	6	7	金	4	(講) T細胞の分化 (1)	関根英治
10				5	(講) T細胞の分化 (2)	
11	6	14	金	4	(講) T細胞を介する免疫 (1)	関根英治
12				5	(講) T細胞を介する免疫 (2)	
13	6	21	金	4	(講) B細胞と抗体による免疫応答 (1)	町田 豪
14				5	(講) B細胞と抗体による免疫応答 (2)	
15	6	28	金	4	(講) 粘膜表面の感染防御	町田 豪
16				5	(講) 自然免疫と適応免疫の共進化	
17	7	5	金	4	(講) NK細胞	関根英治
18				5	(講) 前期のまとめ	
19				6		

科目・コース（ユニット）名：免疫学

英語名称：Immunology

20				4	(実) 免疫学実習	関根英治 町田 豪
21	7	12	金	5		
22				6		
23				4	(実) 免疫学実習	
24	7	19	金	5		
25				6		
26				1	(講) 前期の復習と中間試験のフィードバック	関根英治
27	11	12	火	2		
28				3		
29				1	(講) 免疫記憶とワクチン (1)	
30	11	19	火	2	(講) 免疫記憶とワクチン (2)	
31				3	(講) アレルギーの基礎 (1)	
32				1	(講) アレルギーの基礎 (2)	
33	11	26	火	2	(講) 自己免疫 (1)	
34				3	(講) 自己免疫 (2)	
35				1	(講) 移植免疫	丸橋 繁
36	12	10	火	2	(講) 輸血と免疫	植田航希
37				3	(講) 免疫不全	関根英治
38				4	(講) がんと免疫系の相互作用 (1)	関根英治
39	12	13	金	5	(講) がんと免疫系の相互作用 (2)	
40				6	(講) アレルギーの臨床	鈴木修三

【担当教員】

教員氏名	職	所 属	備 考
関根 英治	教 授	免疫学講座	
丸橋 繁	教 授	肝胆膵・移植外科学講座	
町田 豪	講 師	免疫学講座	
植田 航希	講 師	輸血・移植免疫学講座	
鈴木 修三	非常勤講師	公立藤田総合病院（リウマチ・膠原病、呼吸器 臨床教授）	

【その他（メッセージ等）】

指定された教科書に沿って講義を行う。予習をし、講義の内容は講義中に理解するように心がけること。

* 試験に通るための勉強でなく、将来を見据えて、免疫学を理解する勉強を期待します。

科目・コース（ユニット）名：病理学（病理学総論Ⅰ）【医学Ⅱ】
英語名称：Pathology (Pathologic basis 1)

【担当責任者】橋本 優子 鈴木 理 川合 覚

【連絡先】内線：2182、e-mail：“病理病態診断学講座” <pathol-1@fmu.ac.jp>

【開講年次】2年, 【学期】後期【必修／選択】必須,

【授業形態】講義／実習

【概要】病理学総論では各臓器・組織の差を越えて共通にみられる病変の成因、成立機序、病態、転帰、病理形態像などを概括的に把握し、理解する。

【学習目標】

(炎症と創傷治癒、感染症・寄生虫学、細胞傷害・変性と細胞死、代謝障害、遺伝)

- 炎症の概念、病態ならびに細胞・組織の形態学的変化を理解する。
- 各種微生物の基本的性状、病原性とそれによって生じる病態、疾患を理解する。
- 寄生体と宿主が織りなす寄生現象（感染経路、宿主の生体防御、臓器特異性）と疾病との関わり（疫学、診断、治療、予防など）を理解し、説明できる。
- 変性と細胞死の原因や機序、ならびに細胞・組織の形態学的変化を理解する。
- 糖質、タンパク質、脂質などの代謝障害によって生じる多様な疾患について理解する。
- 免疫異常による疾患について病態生理、発生機序や細胞・組織の形態学的変化を理解する。
- 臓器移植後の拒絶反応とGVHDの病態生理、発生機序や細胞・組織の形態学的変化を理解する。
- 生まれた時から確認出来るような病気または病的状態の素因や原因を把握し、診断、治療さらに予防学を学ぶ。
- ゲノム・染色体・遺伝子の多様性と疾患との関連を理解する。

【教科書】【参考書】

教科書は、特に指定しないが、参考までに下記を挙げる。

(教科書)

- ・カラーイラストで学ぶ 集中講義 病理学 改訂2版、MEDICAL VIEW
- ・標準病理学（北川昌伸 監修／仁木利郎、小田義直 編）第7版、医学書院、2023/3/27
- ・解明病理学（青笹克之 編）第4版、医歯薬出版、2021/11
- ・カラールービン病理学—臨床医学への基盤—改訂版（E.ルービン他 編著／鈴木利光、中村栄男、深山正久、山川光徳、吉野正 監訳）西村書店、2017/11
- ・Robbins Basic Pathology: (Robbins Pathology) [Kumar/Abbas/Aster] Saunders;10 版 (2017/04)

(アトラス)

- ・組織病理アトラス（深山正久、小田義直、坂元亨宇、松野吉宏、森永正二郎、森谷卓也編）第6版、文光堂、2015/10

- ・カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断（赤木忠厚監修／松原修、真鍋俊明ほか編）第7版、医歯薬出版、2020/12
- ・組織病理カラーアトラス（坂本穆彦、北川昌伸、菅野純著）第3版、医学書院、2021/5
- ・図説人体寄生虫学（吉田幸雄、有菌直樹著）第10版、南山堂、2021/3

【成績評価方法】

総論講義、実習が全て終了後、上記の行動目標が達成されているかどうかについて、筆記および実習試験を実施して、総合的に判定します。試験は実習が全て終了していないと受験できません。

【学習上の注意事項】

1. 講義内容を理解し把握するためには、生物学、分子生物学、分子遺伝学、免疫学、解剖学、組織学、生理学、生化学、薬理学、微生物学など幅広い知識が必要です。平素から講義だけでなく生命科学に関する知識を得ることおよび主体的思考に努めることが重要と考えます。
2. 講義の項目に関して不足分を自学、自習にて学び、質問があれば積極的に行うことが必要です。
3. 講義、実習時にその都度必要な資料を配布します。実習では組織像のスケッチを主とするレポートの提出を義務づけます。
4. 広い範囲にわたる病理学を理解するには膨大な時間が必要です。まずは薄い教科書でよいので通読し、病気の成り立ち、転帰、診断や治療など医療のかかわり方について、病理学の概略を理解し、そこに各分野の知識を有機的に付加していくことが肝要と考えます。

【垂直的統合授業の実施内容】

- ①生化学から発展させた代謝異常
- ②免疫学からの発展させた免疫・移植
- ③微生物学からの発展させた感染症の病理
- ④分子遺伝学、発生学を発展させた奇形・先天異常

【水平的統合授業の実施内容】

炎症、代謝に関与する各臨床医学系領域の授業実施

臓器移植における各移植臓器に関与する内科、外科領域の授業実施

奇形、先天障害における小児科領域の授業実施 等

臓器別 Unit の病理（血液学、婦人科、小児科、頭頸部、骨・軟部、消化器、乳腺）

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2024/10/03	木	2	(講) 細胞傷害	橋本 優子	
2	2024/10/03	木	3	(講) 細胞傷害	橋本 優子	
3	2024/10/10	木	2	(実) 細胞傷害	橋本 優子	
4	2024/10/10	木	3	(実) 細胞傷害	橋本 優子	
5	2024/10/17	木	2	(講) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
6	2024/10/17	木	3	(講) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
7	2024/10/23	水	2	(講) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
8	2024/10/23	水	3	(講) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
9	2024/10/29	火	4	(実) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
10	2024/10/29	火	5	(実) 炎症・創傷治癒	橋本 優子	
11	2024/10/29	火	6	(講) 代謝障害	橋本 優子	
12	2024/10/30	水	2	(講) 代謝障害	橋本 優子	
13	2024/10/30	水	3	(実) 代謝障害	橋本 優子	
14	2024/11/01	金	4	(講) 感染症	鈴木 理	
15	2024/11/01	金	5	(講) 感染症	鈴木 理	
16	2024/11/01	金	6	(講) 感染症	鈴木 理	
17	2024/11/07	木	2	(講) 発生障害と遺伝子疾患	橋本 優子	
18	2024/11/07	木	3	(実) 発生障害と遺伝子疾患	橋本 優子	
19	2024/11/08	金	4	(実) 感染症	鈴木 理	
20	2024/11/08	金	5	(実) 感染症	鈴木 理	
21	2024/11/08	金	6	(実) 感染症	鈴木 理	
22	2024/11/12	火	4	中間試験	橋本 優子	
23	2024/11/12	火	5	中間試験	橋本 優子	
24	2024/11/12	火	6	中間試験	橋本 優子	
25	2024/12/05	木	2	(講) 免疫	橋本 優子	
26	2024/12/05	木	3	(講) 免疫	橋本 優子	
27	2024/12/09	月	1	(実) 免疫	橋本 優子	
28	2024/12/09	月	2	(実) 免疫	橋本 優子	
29	2024/12/09	月	3	(講) 移植	橋本 優子	
30	2024/12/12	木	2	(講) 移植	橋本 優子	
31	2024/12/12	木	3	(実) 移植	橋本 優子	
32	2025/01/14	火	4	(講) 寄生虫	川合 覚	
33	2025/01/14	火	5	(講) 寄生虫	川合 覚	
34	2025/01/14	火	6	(講) 寄生虫	川合 覚	

35	2025/01/20	月	4	特別講義	川合 覚	
36	2025/01/20	月	5	特別講義	川合 覚	
37	2025/01/20	月	6	特別講義	川合 覚	
38	2025/01/21	火	4	(講) 寄生虫	川合 覚	
39	2025/01/21	火	5	(講) 寄生虫	川合 覚	
40	2025/01/21	火	6	(講) 寄生虫	川合 覚	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
橋本 優子	教授	病理病態診断学講座
鈴木 理	教授	会津医療センター病理診断科
川合 覚	教授	獨協医科大学熱帯病寄生虫病学講座

科目・コース（ユニット）名： 病理学（病理学総論 II）【医学 2】
英語名称： Pathology (Pathology basis 2)

【担当責任者】 千葉 英樹（基礎病理学）

【連絡先】 p2@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年, 【学期】 2年後期, 【必修／選択】 必修

【授業形態】 講義／実習

【概要】

本講義・実習では、病気の原因や成立機序および肉眼・組織像を個体・臓器・組織・細胞・分子レベルで学ぶ。入門では病気の種類、病気に関わる生理・病理現象を学ぶ。循環障害総論では、心血管系に生じる様々な疾患について学ぶ。腫瘍総論では、腫瘍とはどのような疾患か、どのようにして発生・進展していくのかを学ぶ。また病理実習では、「病気の場合としての組織・細胞」という視点を修得する。神経病理学総論や腎病理では、神経疾患や腎疾患の基礎知識を学ぶ。

【学習目標】

- 1) 病気の種類や病気に関わる現象を説明できる。
- 2) 循環障害や腫瘍の原因や成立機序および肉眼・組織像を説明できる。
- 3) 神経疾患や腎疾患の基礎を説明できる。

【教科書】

ロビンス基礎病理学（丸善出版）

【参考書】 以下を参考図書とする。

ルービン病理学（西村書店）

解明病理学—病気のメカニズムを解く（医歯薬出版）

ダイナミック病理学（西村書店）

病態病理学（南山堂）

カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断（医師薬出版）

標準病理学（医学書院）

【成績評価方法】

- 1) 評価方法： 出席、授業態度、実習、中間・期末試験などにより総合的に判定する。
- 2) 受験資格： 出席率が3分の2に満たない場合、実習スケッチ・課題が未提出あるいは不合格の場合、授業態度が著しく不良な場合は、試験の受験を認めない。

【学習上の注意事項】 該当なし

【水平的統合授業の実施内容】

解剖学、組織学、生理学など幅広い基礎医学をベースとして、病理学総論の授業を実施する。

【授業スケジュール】

回数	月日	曜日	時限	項目	内容（キーワード等）	担当者
1	9月20日	金	4	入門（講義）	（講）病理学では何を学ぶか	千葉英樹
2			入門（講義）	（講）病理学では何を学ぶか	千葉英樹	
3			腫瘍（講義）	（講）腫瘍とは何か（良性腫瘍と悪性腫瘍の違い）	千葉英樹	
4	9月26日	木	2	腫瘍（実習）	（実）腫瘍とは何か（良性腫瘍と悪性腫瘍の違い）	千葉英樹
5			腫瘍（実習）	（実）腫瘍とは何か（良性腫瘍と悪性腫瘍の違い）	千葉英樹	
6	9月30日	月	4	腫瘍（講義）	（講）腫瘍の分類（上皮性・非上皮性腫瘍）	千葉英樹
7			腫瘍（実習）	（実）腫瘍の分類（上皮性・非上皮性腫瘍）	千葉英樹	
8			腫瘍（実習）	（実）腫瘍の分類（上皮性・非上皮性腫瘍）	千葉英樹	
9	10月15日	火	4	腫瘍（講義）	（講）癌の浸潤と転移	千葉英樹
10			腫瘍（実習）	（実）癌の浸潤と転移	千葉英樹	
11			腫瘍（実習）	（実）癌の浸潤と転移	千葉英樹	
12	10月22日	火	4	循環障害（講義）	（講）充血とうっ血、浮腫	千葉英樹
13			循環障害（実習）	（実）充血とうっ血、浮腫	千葉英樹	
14			循環障害（講義）	（講）出血、血栓症、DIC、塞栓症、梗塞、ショック	千葉英樹	
15	10月24日	木	2	循環障害（実習）	（実）出血、血栓症、DIC、塞栓症、梗塞、ショック	千葉英樹
16			循環障害（実習）	（実）出血、血栓症、DIC、塞栓症、梗塞、ショック	千葉英樹	
17	10月25日	金	4	腫瘍（講義）	（講）癌と遺伝子異常	杉本幸太郎
18			腫瘍（講義）	（講）癌と遺伝子異常	杉本幸太郎	
19			腫瘍（講義）	（講）癌と遺伝子異常	杉本幸太郎	
20	10月31日	木	2	腫瘍（講義）	（講）腫瘍による全身症状／腫瘍細胞診	杉本幸太郎
21			腫瘍（実習）	（実）腫瘍による全身症状／腫瘍細胞診	杉本幸太郎	

22	11月5日	火	4	腫瘍（講義）	（講）臨床における病理診断の重要性	五十嵐誠治
23			5	腫瘍（講義）	（講）臨床における病理診断の重要性	五十嵐誠治
24			6	腫瘍（講義）	（講）臨床における病理診断の重要性	五十嵐誠治
25	11月6日	水	2		中間試験	
26			3		中間試験	
27	11月13日	水	2		中間試験 総括	千葉英樹
28			3		中間試験 総括	千葉英樹
29	11月15日	金	4	腫瘍（講義）	（講）各臓器の癌①	杉野 隆
30			5	腫瘍（講義）	（講）各臓器の癌①	杉野 隆
31			6	腫瘍（実習）	（実）各臓器の癌①	杉野 隆
32	11月20日	水	2	腫瘍（実習）	（実）各臓器の癌②	杉本幸太郎
33			3	腫瘍（実習）	（実）各臓器の癌②	杉本幸太郎
34	11月21日	木	2	神経病理（講義）	（講）正常脳、中枢神経系の発生と分化、脳血管病変	杉本幸太郎
35			3	神経病理（実習）	（実）脳腫瘍、脳の感染性疾患、脱髄疾患	杉本幸太郎
36	11月27日	水	2	腎病理（講義）	（講）腎病理	田中瑞子
37			3	腎病理（実習）	（実）腎病理	田中瑞子
38	11月28日	木	2	神経病理（講義）	（講）アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症	杉本幸太郎
39			3	神経病理（実習）	（実）アルツハイマー病、パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症	杉本幸太郎

【担当教員】

教員氏名	職	所属
千葉英樹	教授	基礎病理学講座
杉本幸太郎	講師	基礎病理学講座
五十嵐誠治		坪井病院病理診断科・部長（非常勤医師）
杉野隆		静岡県立静岡がんセンター病理診断科・部長（非常勤医師）
田中瑞子		寿泉堂総合病院病理診断科・部長（非常勤医師）

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

病理診断の医師として実務経験のある教員が実施する。

その他（メッセージ等）：

- 1) 病理学を理解するためには、生体の正常構造と機能を理解した上で、その異常がどう病気に結びつくかを学ぶ必要があります。病理学が対象とする範囲は非常に広く、専門分野を問わず医療に携わる者にとって不可欠な学問体系です。与えられた授業時間内で全ての疾患を説明することは不可能ですので、不足分は自学自習により補って下さい。
- 2) 病理実習は、学生自らが「病気の間としての臓器・組織・細胞」という視点を体感できる貴重な機会です。バーチャルスライドや顕微鏡によって、「この病変は何か?」、「どうしてこうなるのか?」等じっくりと考えて生きた知識を身につけ、不明点については積極的に質問して下さい。なおスケッチやレポートは、必ず実習時間内に終了して提出して下さい。合格点に達しないものは再提出になります。
- 3) 病理学はその性格上、臨床医学と基礎医学との橋渡しの役割を担っています。しかし病理学総論の開講時期には臨床講義が始まっておらず、臨床のイメージを思い浮かべることが困難な場合も多々あります。したがって、学んだ疾病の主な臨床像については、臨床系の教科書で確認して下さい。
- 4) 病理に興味のある学生は、基礎病理学講座に遠慮なく来て下さい。一緒に顕微鏡を覗いてディスカッションすることによって、多彩な疾患について更に勉強できます。

科目・コース（ユニット）名：漢方医学Ⅰ【医学Ⅱ】

英語名称：Kampo medicineⅠ

【担当責任者】 田原英一（漢方医学）

分野担当責任者（漢方医学） 湯液：田原英一 鍼灸：鈴木雅雄 生薬：秋葉秀一郎

【連絡先】 湯液：田原英一 e-tahara@fmu.ac.jp

鍼灸：鈴木雅雄 masuzuki@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年, 【学期】 前期【必修／選択】 必修,

【授業形態】 講義

【概要】

東アジアの伝統医学は国際的に重視され、世界保健機関（WHO）による国際疾病分類（ICD-11）にも独自の章が設けられた。漢方は古代中国医学が日本に伝来し、1500年を経て発展した我が国の伝統医学で、湯液（薬物療法）と鍼灸がその両輪であることを認識する。

漢方医学は臨床が基本であり、その基軸となる漢方医学的病態診断（証）の基礎と診療方法を学習する。治療手段として湯液では天然物を組み合わせた方剤を使用し、鍼灸では鍼や灸を用いて人体にある経穴（ツボ）を刺激する。診察から治療まで、湯液、鍼灸それぞれの特徴を把握する。臨床効果や機序について、現代科学的なエビデンスを含めて概説する。

【学習目標】

1. 「漢方」とは何を指す語か、歴史的背景と共に理解できる。
2. 漢方あるいは伝統医学に対する国内外の状況を、例を引いて概説できる。
3. 現代における漢方医学の有用性とエビデンスを、例を引いて説明できる。
4. 漢方医学的な生理、病理、病態（証）を示す基本的な用語について理解できる。
5. 漢方医学における四診（問診と身体診察）について、具体的に説明できる。
6. 湯液と鍼灸の治療手段（生薬、薬方、鍼灸施術）の実際を、体験を交えて説明できる。

【教科書】

1. はじめての漢方診療 ノート(第2版)、三瀦忠道、医学書院
湯液臨床の要点を収載。臨床実習でも使用し、卒前から臨床実地まで活用できる。
2. 基本がわかる漢方医学講義、日本漢方医学教育協議会、羊土社
日本の全医学部の漢方担当教員による標準教科書。湯液と鍼灸の要点を記載。

【参考書】

1. はじめての漢方診療 十五話（第2版）、三瀦忠道、医学書院
「はじめての漢方診療ノート（第2版）」の姉妹版で、丁寧に解説している。
2. 学生のための漢方医学テキスト、日本東洋医学会
3. 症例から学ぶ和漢診療学、寺澤捷年、医学書院
4. 漢方概論、藤平健・小倉重成、創元社

5. 漢方 294 処方 生薬解説、じほう

主要な漢方処方を構成する生薬について、成分や漢方医学的位置づけを解説。

6. 経絡・ツボの教科書、新星出版社

7. 鍼灸臨床最新科学 メカニズムとエビデンス、 医歯薬出版株式会社

【成績評価方法】

- ① 規定に基づき、原則として3分の2以上の出席を②筆記試験受験資格とする。
- ② 筆記試験：学習目標に掲げた項目について、その習得度を確認する。
 - ・漢方とは何か、概史と現在の位置づけ、具体的な分野を簡潔に述べられる。
 - ・証とその尺度について説明できる。
 - ・漢方医学における診察（病態把握法）の所見と証との関連を説明できる。
 - ・湯液と鍼灸の治療手段の実際を、体験を通して説明できる。
 - ・現代における漢方医学の有用性と、臨床効果の例をエビデンスと共に説明できる。総点 60%以上、かつ湯液（生薬を含む）・鍼灸領域で各 50%以上を合格とする。

【垂直的統合授業の実施内容】

湯液の臨床（主に3回目）では「医療における漢方の活用とEBM」に関して、医療現場における漢方診療の意義をプライマリケア医の視線で具体的に示す。

【水平的統合授業の実施内容】

鍼灸の臨床（主に5回目）では「伝統医学とサイエンス」にて経穴（けいけつ）部位の解剖と物理刺激に対する神経生理学的働きを理解し、鍼灸刺激が中枢ではどのような反応を起こしているか説明を行う。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

すべての授業を通して、湯液の実臨床を基に、使用する薬（生薬）の実際を知り臨床応用の基礎と効果を学ぶ。また、鍼灸診療の理論と実技を取り入れ、臨床に応用できる基礎を身につける。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	R6/9/4	水	4	（講）漢方医学とは何か 略史と概要・ 診療の実際	田原英一

				「漢方」の意味、現代医療における意義、病態把握の基礎、民間療法との相違	
2	R6/9/4	水	5	(講) 湯液における理論と診察の実際 証(漢方医学的病態)の尺度 漢方診察法、漢方薬と総合病院での運用の実際	田原英一
3	R6/9/5	水	6	(講) 医療における漢方の活用とEBM プライマリケア医からみた漢方の重要性	吉永 亮
4	R6/9/11	水	4	(講) 生薬とは何か? 主要な生薬と生薬産地の現状 薬用部位、選品、加工の実際など。	佐橋佳郎
5	R6/9/11	水	5	(講) 鍼灸医学について 伝統医学とサイエンス	高岡 裕
6	R6/9/11	水	6	(講・実) 鍼治療の実際(手技の基本) 毫鍼の使い方	加用拓己

【担当教員】

教員氏名	職	所属
田原英一	教授	会津医療センター漢方医学講座
吉永 亮	診療部長	飯塚病院東洋医学センター漢方診療科
佐橋佳郎	特任研究員	会津医療センター漢方医学講座
加用拓己	助手	会津医療センター漢方医学講座
高岡 裕	教授	富山大学学術研究部医学系

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

- 1, 2, 3回は医師が担当
4, 5, 6回は鍼灸師、漢方専門薬剤師(実務経験者)が担当

科目・コース（ユニット）名：腎・泌尿器（骨の科学と脆弱性骨折予防）
英語名称：Nephrology・Urology（Bone Science and Fragility Fracture Prevention）

【担当責任者】

コーディネイター：風間順一郎（腎臓高血圧内科）

分野担当責任者：大平哲也(疫学講座)、山口明子(地域婦人科腫瘍学講座)、
山田仁(整形外科学講座)

【連絡先】腎臓高血圧内科学講座 jjkaz@fmu.ac.jp

【開講年次】2年, 【学期】後期 【必修／選択】必須

【授業形態】講義

【概要】

ロコモティブ症候群は超高齢社会を迎えたわが国において国家や国民に対する巨大な脅威となりつつある。脆弱性骨折は、このロコモティブ症候群を起こす原疾患の中でもある程度予防が可能な疾患であるが、しかし、わが国においてその対策は遅れている。本ユニットではこの分野の先進国である英国型の脆弱性骨折予防活動がわが国にも根付くことを目的として、そのための基礎知識である骨生物学＋ミネラル代謝学＋疫学＋骨粗鬆症学＋脆弱性骨折予防学を各分野のエキスパートたちがオムニバス形式で講義する

【学習目標】

1. 骨生物学の概要を理解できる
2. ミネラル代謝の概要を理解できる
3. ロコモティブ症候群がわが国に及ぼしている脅威を認識できる
4. 骨粗鬆症の病態を理解できる
5. ライフイベントと骨代謝の関係を理解できる
6. 脆弱性骨折の予防法を理解できる
7. 社会の脆弱性骨折を減らすために、自分に何ができるか、自分が何をすべきか、自覚できる

【教科書】指定しない

【参考書】骨ペディア 骨疾患・骨代謝キーワード事典 日本骨代謝学会編 羊土社 2015

【成績評価方法】

2年から3年への進級評定には関与せず、試験も行わない

3年前期の腎・泌尿器の試験範囲に含まれるため、この講義内容を理解して試験に正答することは3年から4年への進級の際に必要な条件となる

特別な事情がない限り、5コマの授業にはすべて出席すること

5コマ全てに出席した場合、試験時に5点を上限とする加点を行う可能性がある
なお出欠確認に際して出欠票を余分に確保するなどの不正行為があった場合は、たとえ故意ではなくても3年時の腎・泌尿器試験の受験資格を喪失し、異議申し立ては認めない
不正行為があっても不正者が特定できない場合、出席者を含む学年全員がそのコマを欠席したものとして扱う

【学習上の注意事項】

オムニバス型の講義なので、一コマ一コマ全集中で聴講すること

【垂直的統合授業の実施内容】

垂直型統合的授業の形式はとっていない

【水平的統合授業の実施内容】

本講義は、全体が解剖学・生理学・疫学・婦人科学・内科学・整形外科の枠を超えた水平型統合授業である。一部には薬理学の要素も含まれる。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

遅々として進まないわが国の脆弱性骨折対策への一つの提案として、2018年に福島では診療科横断型脆弱性骨折予防プロジェクトである「Project F」が立ち上げられた。このプロジェクトは「福島の脆弱性骨折を減らす」という将来のアウトカムを設定して、これを実現するために現在なにをすべきかを診療科横断的に模索し行動することを旨としており、他に例を見ない先進的かつ野心的な試みである。将来の福島の医療を担う学生への啓発活動はプロジェクトFの目的を達成するためにきわめて重要な課題であり、このために本教育プログラムが立案された。なお、骨ミネラル代謝学、内分泌学、骨生物学、疫学、内科学、婦人科学、整形外科をワンセットにする教育プログラム自体も国内初の試みであり、近い将来には福島モデルとして注目を集めるだろう。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2025/1/8	水	3	(講) 脆弱性骨折・ロコモティブ症候群の社会へのインパクト	大平 哲也
2	2025/1/15	水	2	(講) 骨生物学総論	風間順一郎
3	2025/1/15	水	3	(講) 骨粗鬆症学総論	風間順一郎
4	2025/1/22	水	2	(講) ライフイベントと骨の健康	山口 明子
5	2025/1/22	水	3	(講) 脆弱性骨折を予防する	山田 仁

【担当教員】

教員氏名	職	所属
風間 順一郎	教授	腎臓高血圧内科学講座
大平 哲也	教授	疫学講座
山口 明子	准教授	地域婦人科腫瘍講座
山田 仁	教授	整形外科学講座（運動器・骨代謝学）

科目・コース（ユニット）名：内科学総論【医学2】

英語名称：Basics & Overview of Internal Medicine

【担当責任者】 島袋 充生（糖尿病内分泌代謝内科学講座）、濱口 杉大（総合内科、総合内科・総合診療医センター）

【連絡先】 総合内科・総合診療医センター 024-547-1908 fcgp@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年 【学期】 後期 【必修／選択】 必修 【授業形態】 講義・演習

【概要】 内科学は臨床医学の領域において大きな領域の一つである。現代医学における内科学は領域別・臓器別に分化しているが、その根幹となる理念、思考プロセス、診療技術は共通している。臨床医学、内科学を学ぶ第一歩として内科総論の授業を実施する。

【学習目標】

- 1) 内科学とは何かを説明できる
- 2) 医師として求められる基本的資質・能力を説明できる
- 3) 診察の手順を説明できる
- 4) 臨床推論について説明できる
- 5) 問題解決志向システムに基づいた診療録（POMR）について説明できる
- 6) 主要症候 37 をあげることができる
- 7) 臨床推論について説明できる
- 8) エビデンスのピラミッドについて説明できる
- 9) PICO(PECO)について説明できる
- 10) 根拠に基づいた医療（Evidence-based Medicine）の概念を説明できる
- 11) 患者中心の医療について説明できる
- 12) バイタルサインをあげて、その必要性を説明できる
- 13) 頭頸部の診察を実施し、診察所見を記録し、正常か判断できる
- 14) 胸部の診察を実施し、診察所見を記録し、正常か判断できる
- 15) 腹部の診察を実施し、診察所見を記録し、正常か判断できる
- 16) 人体において栄養がどのような役割を果たすか説明できる
- 17) 栄養素の不足がどのような疾患につながるか説明できる
- 18) スクリーニング検査について感度・特異度を用いて説明できる
- 19) 検査閾値と治療閾値について説明できる
- 20) 疾患予防について一次予防、二次予防、三次予防の違いを説明できる
- 21) 全人的医療に求められる要素を列挙できる
- 22) 現代医療が抱える問題について説明できる

【教科書】

なし

【参考書】

- 内科ポケットレファランズ
- 聞く技術 答えは患者の中にある

科目・コース（ユニット）名：内科学総論【医学2】

英語名称：Basics & Overview of Internal Medicine

- Dr.ウィリス ベッドサイド診断—病歴と身体診察でここまでわかる!
- 誰も教えてくれなかった診断学—患者の言葉から診断仮説をどう作るか
- ジェネラリストのための内科外来マニュアル
- ホスピタリストのための内科診療フローチャート
- 総合内科病棟マニュアル
- Harrison's Principles of Internal Medicine, Twenty-First Edition (Vol.1 & Vol.2) 21st Edition
- 朝倉書店内科学 第12版、2022年3月発行

【成績評価方法】

原則出席とする。毎回講義終了後に提出する出席表に所定の記入をすることで出席とみなす（出席 1/3 未満は単位を認めない）。成績評価は、毎回の授業における参加の積極性、授業後に実施する理解度テストの点数と出席日数により総合的に評価する。

【学習上の注意事項】

演習では診察手技を実際に体験して学ぶ。積極的な参加を期待する。

【垂直的統合授業の実施内容】

該当なし

【水平的統合授業の実施内容】

該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

福島県・福島県立医科大学は総合内科医・総合内科医の育成で日本での先端を進んでおり、総合的な診療についての教育機会が豊富である。このコースではすべて総合内科医または総合診療医が授業を担当する。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内容	担当教員名
1	2025/2/12	水	4	講) 内科学概観 内科学とは、EBM と個別医療、 医学的決断と結果の評価	島袋 充生
2	2025/2/12	水	5	講・演) 臨床推論 病歴聴取、身体診察の基本	濱口杉大、中川 紘明、高橋世、 長沼透、會田哲 朗、柳田真衣、 松崎史弥

科目・コース（ユニット）名：内科学総論【医学2】

英語名称：Basics & Overview of Internal Medicine

3	2025/2/12	水	6	講・演) 身体診察① バイタルサインの解釈	濱口杉大、中川 紘明、高橋世、 長沼透、會田哲 朗、柳田真衣、 松崎史弥
4	2025/2/13	木	4	演) 身体診察② 頭頸部診察 ① 何を見るか、②正常所見、 所見をどう表現するか、④異常所見	小野正博、鎌田 一宏
5	2025/2/13	木	5	演) 身体診察③ 胸部診察 ①～④	小野正博、鎌田 一宏
6	2025/2/13	木	6	演) 身体診察④ 腹部診察 ①～④	小野正博、鎌田 一宏
7	2025/2/14	金	4	講) 栄養管理 人の身体と栄養、医療と栄養	島袋充生
8	2025/2/14	金	5	講・演) スクリーニングと疾患予防 EBM に基づいた予防医療	菅家智史
9	2025/2/14	金	6	講) 現代医療の問題と全人的医療 Polypharmacy, QOL、本人と家族の選択、 Advanced care planning	菅家智史

【担当教官】

教員氏名	職	所属
島袋充生	教授	糖尿病内分泌代謝内科学講座
濱口杉大	教授	医大総合内科、総合内科・総合診療医センター
鎌田一宏	教授	会津医療センター総合内科
小野正博	非常勤講師	福島県立宮下病院、総合内科・総合診療医センター
菅家智史	講師	地域・家庭医療学講座、総合内科・総合診療医センター
中川紘明	助手	医大総合内科、総合内科・総合診療医センター
高橋世	助手	医大総合内科、総合内科・総合診療医センター
長沼透	助手	医大総合内科、総合内科・総合診療医センター
會田哲朗	助手	医大総合内科、総合内科・総合診療医センター
中本洋平	助手	医大総合内科、総合内科・総合診療医センター
内藤翔太郎	助手	医大総合内科、総合内科・総合診療医センター

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

すべての授業において、総合内科医・総合診療医としての実務経験のある教員が実施する

科目・コース（ユニット）名：臨床解剖学
英語名称：Clinical Anatomy

【担当責任者】和栗 聡（解剖・組織学講座）

【連絡先】024-547-1123、histol@fmu.ac.jp

【開講年次】2年, 【学期】前期, 【必修／選択】必須, 【授業形態】講義／実習

【概要】

肉眼解剖学実習の進行に合わせ、臨床的観点や画像診断学的観点からの解剖学について臨床各科の教員によるオムニバス形式の授業を行う。解剖学を基本に臨床各科への垂直的統合を目指す。

【学習目標】

- 1) 臨床医学的な観点から人体の構造や機能について説明できる。
- 2) 臨床医学の現場で解剖学的な知識がどのように用いられているか列挙できる。
- 3) ロールモデルを通じて自らのキャリアデザインについて述べるができる。

【教科書】なし

【参考書】なし

【成績評価方法】

成績評価は出席状況とレポートによって行う。

【学習上の注意事項】

担当講師の都合で授業予定はイレギュラーとなっているので授業時間を間違えないように注意すること。臨床各科の詳しい内容の講義は3年生で行われるので、この時点で臨床各科の細かい知識の習得を目的とはしないので、講義資料は原則として配られない。（講師によっては配られることもある）。出席は毎回確認する。

【垂直的統合授業の実施内容】

肉眼解剖学の垂直的統合を図る科目である。

【水平的統合授業の実施内容】

該当なし。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

該当なし。

【授業スケジュール】

回数	授業実施日	曜日	時限	場所	授業内容（仮題）	担当教員
1	5月13日	月	1	第2講義室	（講）四肢の外科	山田 仁
2	5月20日	月	1	第2講義室	（講）脊椎の外科	二階堂 琢也
3	5月27日	月	1	第2講義室	（講）肺の外科	鈴木 弘行
4	5月27日	月	2	第2講義室	（講）心臓における構造と機能	高瀬 信弥
5	6月10日	月	1	第2講義室	（講）形成外科と解剖学	小山 明彦
6	6月10日	月	2	第2講義室	（講）乳腺の解剖と乳癌について	立花 和之進
7	6月17日	月	1	第2講義室	（講）甲状腺・副甲状腺	鈴木 聡
8	6月24日	月	1-2	第2講義室 解剖実習室	（講・実）肝と膵の外科、移植外科	丸橋 繁
9	6月28日	金	1	第2講義室	（講）食道と胃の外科	佐瀬 善一郎
10	7月1日	月	1	第2講義室	（講）泌尿器外科解剖	佐藤 雄一
11	7月1日	月	2	第2講義室	（講）下部消化管の外科	門馬 智之
12	7月4日	木	2	第2講義室	（講）眼内の世界へようこそ	大口 泰治
13	7月8日	月	1	第2講義室	（講）産婦人科医療とリンクする 臨床解剖学	添田 周
14	7月8日	月	2	第2講義室	（講）耳鼻咽喉科と頭頸部外科	室野 重之

【担当教員】

教員氏名	職	所属
山田 仁	講師（非常勤）	整形外科科学講座・寿泉堂総合病院
二階堂 琢也	准教授	整形外科科学講座
鈴木 弘行	主任教授	呼吸器外科学講座
高瀬 信弥	講師	心臓血管外科学講座
小山 明彦	主任教授	形成外科学講座
立花 和之進	講師	乳腺外科学講座
鈴木 聡	講師	甲状腺内分泌学講座
丸橋 繁	主任教授	肝胆膵・移植外科学講座
佐瀬 善一郎	准教授	消化管外科学講座
佐藤 雄一	助手	泌尿器科学講座
門馬 智之	准教授	消化管外科学講座
大口 泰治	講師（非常勤）	眼科学講座・大口眼科
添田 周	教授	産科婦人科学講座
室野 重之	主任教授	耳鼻咽喉科学講座

【医師として実務経験のある教員による授業科目】 [該当する](#)

科目・コース（ユニット）名：基礎特別講義
英語名称：Advanced bioscience

【担当責任者】井上直和（コースコーディネーター）、小林和人（分野担当責任者）、本間美和子（分野担当責任者）

【連絡先】n-inoue@fmu.ac.jp

【開講年次】2年 【学期】後期【必修／選択】 必須 【授業形態】講義

【概要】生命現象の科学や個体の構成と機能に関する分野について、分子細胞生物学 I, II の内容を発展させた講義を行う。さまざまな疾患や病態に結びつく生命現象の仕組みについて、分子、細胞、個体レベルでの研究から得られた成果、ならびに急速に発展してきたライフサイエンス分野の新たな研究手法について紹介する。特に、基礎研究の成果がいかに新しい治療法の開発や医療技術の発展に結びつくのかについて解説する。

【学習目標】

- ・生命現象の科学に関して、生体物質の構造と機能、その合成・分解、ヒト遺伝学、分子生物学の実験法について理解し説明することができる。
- ・個体の構成と機能に関して、細胞内シグナル伝達、神経伝達、生殖工学、恒常性維持などについて理解すると共に、病態を規定する分子メカニズムを深く理解し説明することができる。
- ・基礎研究から得られた先進的研究開発について、その成果の臨床応用（診断、治療、創薬への活用等）について理解し説明することができる。

【教科書】特に指定なし。

【参考書】特に指定はしないが、講義内において参考図書を紹介する。

【成績評価方法】

出席状況（60%以上の出席が必要）、講義への取り組み方を考慮して、講義内容に関する長文レポート提出により評価する。3つの観点として、講義テーマに関する理解の正確さと深さ、記述の論理性、自分たちが担う将来の医学への洞察力ならびに学習態度において採点する。

【垂直的統合授業の実施内容】

第8回の授業において、これまでほぼ対症療法しかなかった神経疾患に対する、近年の様々な疾患修飾糧法の開発の現状を学び、その開発の中で神経科学を含む基礎医学が果たしてきた役割について紹介する。

【水平的統合授業の実施内容】

本講義では、下記のような研究領域横断的な内容が含まれている。

- ・ 遺伝子改変動物を利用した高次生命現象の理解に資する方法論
- ・ 定量的生物学を用いた病態の具体的な分子機序に関する方法論
- ・ 生体構成分子の変化がいかに病態と関連するのかを理解するための方法論
- ・ ゲノム、RNA、タンパク質、それぞれの質的・量的変化を包括的に解析し細胞機能を解明するためのバイオインフォマティクスに関する基本的理解
- ・ 神経系で起こる生化学、生理学的な応答を基礎に、恒常性を維持するための分子・細胞レベルから行動レベルまで繋がる生体機構の理解

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

第1～7 および9回は、生体情報伝達研究所で実際に行われている最先端の研究内容や、外部講師による最先端の研究成果を紹介する。第8回は、神経科学における基礎研究から臨床応用への展開について紹介する。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2024/10/8	火	3	(講) 神経伝達物質の代謝と情報伝達	小林和人 (生体機能研究部門)	
2	2024/10/15	火	2	(講) 核内シグナル伝達とエピジェネティクス	本間美和子 (生体物質研究部門)	
3	2024/10/15	火	3	(講) 遺伝子改変動物を用いた生殖生物学研究	井上直和 (細胞科学研究部門)	
4	2024/10/22	火	2	(講) 細胞競合の生物学	未定 (細胞科学研究部門)	
5	2024/10/22	火	3	(講) がん病態解明とトランスレーショナルリサーチ	未定 (生体物質研究部門)	
6	2024/10/29	火	2	(講) 恒常性維持に関わる脳機能	井口善生 (生体機能研究部門)	
7	2024/10/29	火	3	(講) 細胞内膜系を構築する分子装置	橋本仁志 (細胞科学研究部門)	

8	2024/11/5	火	2	(講) 神経科学の臨床応用 —実験室の成果を臨床へ—	金井数明(脳 神経内科学)	
9	2024/11/5	火	3	(講) 疾患要因と関連する 分子機序の研究	未定(生体物 質研究部門)	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
小林 和人	教授	生体機能研究部門	
井口 善生	助教	生体機能研究部門	
本間美和子	准教授	生体物質研究部門	
井上 直和	教授	細胞科学研究部門	
橋本 仁志	助教	細胞科学研究部門	
金井 数明	教授	脳神経内科学講座	

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

8 講目「(講) 神経科学の臨床応用—実験室の成果を臨床へ—」がこれに該当する。

科目・コース（ユニット）名：テュートリアルⅡ【医学2】

英語名称：Tutorial-Ⅱ

【担当責任者】西田満（生化学講座）

【連絡先】nishita@fmu.ac.jp

【開講年次】2年 【学期】前期 【必修／選択】必須

【授業形態】演習（テュートリアル形式）

【概要】医学部の教育はプロフェッショナル（専門職）教育である。

本コースは、講義・実習による基本的な医学的知識や技術の習得・訓練を補完する内容を含むだけでなく、単なる医学的知識や技術にとどまらない、プロフェッショナル教育を基礎づける広範な内容を含む。

なお本コースは、テュートリアル形式の学習（自学自習・少人数グループ学習・問題解決型学習）として設定されている。テュートリアル形式の学習では提示された課題（シナリオ）の問題把握と追及を自発的に行い、理論構築のトレーニングを行う。また到達度に対して自己評価を行い、自己指向型の学習態度を身につけることが求められる。

【学習目標】

テュートリアル形式の学習は、問題を自ら発見・解決し、自ら成長していく能動学習である。すなわち、自分で疑問を持ち、自分で解決する態度を身につけ、グループ学習への積極的な参加をし、自分の考えを他人に伝える能力を養うことである。

《学習総合》

1. 課題（シナリオ）の問題を把握・分析・評価し、論点を抽出することができる。
2. 既知の知識を整理し、多面的な発想や総合的な連想ができる。
3. 科学的に事象を見つめ、論理的に考察できる。

《グループ学習》

1. 討論に積極的に参加し、自分の考えを論理的に説明できる。
2. 他者の考えを理解し、柔軟に取り入れることができる。
3. グループの一員として問題解決へ建設的な貢献ができる。

《自己学習》

1. 自分の意思で計画・努力・実行して学習し、問題を解決できる。
2. 必要な情報を収集することができる。
3. 得られた情報をまとめ、自己の考えとともに報告・発表し、討論できる。

【教科書】該当なし

【参考書】該当なし

【成績評価方法】

学習の成果は発表および討論過程を通じて、以下の観点から総合的に評価する。

1. 出席（規定に基づき原則として、3分の2以上の出席を必須とする。無断欠席は評価の対象としない。やむを得ない理由で欠席した場合は、必ず、3日以内に欠席届を教育研修支援課に提出すること。遅刻は大きな減点となる。）
2. テューターが以下の観点から総合的に評価する。態度不良は減点となる。
 - ① 論理的に思考し、自らの考えを表出することができたか
 - ② グループの一員として、議論の活性化に貢献できたか
 - ③ 必要な事項について、きちんと自己学習ができたか
 - ④ 授業に対し、積極的に取り組むことができたか

※ 具体的な評価項目は、【学習目標】を参考のこと。

【学習上の注意事項】該当なし

【垂直的統合授業の実施内容】該当なし

【水平的統合授業の実施内容】該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】該当なし

【授業スケジュール】

学生は7人前後のグループとなり、チュートリアル室または各講座等（総合科学系各講座、生命科学・社会医学系各講座、附属生体情報伝達研究所各部門）の指定場所にて行う。担当教員（チューター）より提示された学習課題（シナリオ）に対して、学生が主体的に討論を行う。なお、グループ分け、担当チューター、実施場所についてはチュートリアル・オリエンテーションで発表する（オリエンテーションの実施日時・場所については別途通知する。）。

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2024/6/21	金	2, 3	別途通知	別途通知
2	2024/6/28	金	2, 3	別途通知	別途通知
3	2024/7/5	金	2, 3	別途通知	別途通知

【担当教員】別途通知

科目・コース（ユニット）名：テュートリアルⅠ・Ⅱ・Ⅲ合同【医学1・2・3合同】

英語名称：Tutorial-I・II・III

【担当責任者】西田満（生化学講座）

【連絡先】nishita@fmu.ac.jp

【開講年次】1・2・3年 【学期】後期 【必修／選択】必須

【授業形態】演習（テュートリアル形式）

【概要】医学部の教育はプロフェッショナル（専門職）教育である。

本コースは、講義・実習による基本的な医学的知識や技術の習得・訓練を補完する内容を含むだけでなく、単なる医学的知識や技術にとどまらない、プロフェッショナル教育を基礎づける広範な内容を含む。

なお本コースは、テュートリアル形式の学習（自学自習・少人数グループ学習・問題解決型学習）として設定されている。テュートリアル形式の学習では提示された課題（シナリオ）の問題把握と追及を自発的に行い、理論構築のトレーニングを行う。また到達度に対して自己評価を行い、自己指向型の学習態度を身につけることが求められる。

【学習目標】

テュートリアル形式の学習は、問題を自ら発見・解決し、自ら成長していく能動学習である。すなわち、自分で疑問を持ち、自分で解決する態度を身につけ、グループ学習への積極的な参加をし、自分の考えを他人に伝える能力を養うことである。

《学習総合》

1. 課題（シナリオ）の問題を把握・分析・評価し、論点を抽出することができる。
2. 既知の知識を整理し、多面的な発想や総合的な連想ができる。
3. 科学的に事象を見つめ、論理的に考察できる。

《グループ学習》

1. 討論に積極的に参加し、自分の考えを論理的に説明できる。
2. 他者の考えを理解し、柔軟に取り入れることができる。
3. グループの一員として問題解決へ建設的な貢献ができる。

《自己学習》

1. 自分の意思で計画・努力・実行して学習し、問題を解決できる。
2. 必要な情報を収集することができる。
3. 得られた情報をまとめ、自己の考えとともに報告・発表し、討論できる。

【教科書】該当なし

【参考書】該当なし

【成績評価方法】

学習の成果は発表および討論過程を通じて、以下の観点から総合的に評価する。

1. 出席率（規定に基づき原則として、3分の2以上の出席を必須とする）
2. 問題の把握・分析・評価および論点の抽出
3. 問題解決のための計画・努力・実行
4. 積極性および論理性
5. 発表・討論能力

※ 具体的な評価項目は、【学習目標】を参考のこと。

【学習上の注意事項】 該当なし

【垂直的統合授業の実施内容】 該当なし

【水平的統合授業の実施内容】 該当なし

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】 該当なし

【授業スケジュール】

10～11人（各学年3～4人）が1グループとなり、主体的に課題の設定と議論を行う。班分け、担当教員、実施場所についてはチュートリアル・オリエンテーションで発表する（オリエンテーションの実施日時・場所については別途通知する。）。

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2024/11/19	火	4, 5	別途通知	別途通知
2	2024/11/26	火	4, 5	別途通知	別途通知
3	2024/12/3	火	4, 5	別途通知	別途通知

【担当教員】 別途通知

科目・コース（ユニット）名： 行動科学 III（こころと病 I）【医学 2】
英語名称： Behavioral Science III (Mind and Disease I)

【担当責任者】三浦 至（神経精神医学講座）

【連絡先】

神経精神医学講座医局：024-547-1331（内 2433）

メールアドレス：neuropsych@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年, 【学期】前期, 【必修／選択】必須,

【授業形態】講義

【概要】基本的な医療モデルの一つにbio（生物）-psycho（心理）-social（社会）モデルがあり、全ての医師には患者を多面的にとらえることが求められる。「こころと病」では、病に際しての人の心理や行動について、医療者として知っておくべき患者の心理状態や防衛機制、適応などについて学習する。

「こころと病 I」は行動科学の一つとして、人が一般身体疾患に罹患したときの心理・身体反応や行動について具体例を挙げながら概説し、全人的医療を行うための考え方やスキルを習得する。

【学習目標】

1. 人の心理・認知・行動を理解するための基本的な考え方を説明できる。
2. 病に際しての防衛機制、不安、抑うつ、心気、依存などの反応や適応障害を説明できる。
3. 児童（や老年期）に特有のこころの反応を説明できる。
4. がんなど生命を脅かす病に罹患した際の心理反応や適応過程を説明できる。
5. 病を抱えた人に対する基本的なコミュニケーションや姿勢を身につける。

【教科書】特になし

【参考書】特になし

【成績評価方法】

出席状況とレポートにより評価する。出席については規定に基づき原則として講義の2/3以上の出席を要する。

【学習上の注意事項】

特記事項なし

【垂直的統合授業の実施内容】

1年次の行動科学 I（基礎心理学）、II（コミュニケーション論）などで学習した内容を、「こころと病」において臨床的内容として学習する。

【水平的統合授業の実施内容】

さまざまな疾患の特徴や経過・予後などについて、内科系・外科系の講義を統合してこころと病Ⅰの講義を理解する必要がある。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	2024/6/26	水	4	(講) 病における行動科学の重要性 (1)	日高 友郎	
2	2024/6/26	水	5	(講) 病における行動科学の重要性 (2)	日高 友郎	
3	2024/7/3	水	4	(講) 病と認知, 行動	青木 俊太郎	
4	2024/7/3	水	5	(講) 病への反応と適応, 支援 (1)	三浦 至	
5	2024/7/10	水	4	(講) 病への反応と適応, 支援 (2)	板垣 俊太郎	
6	2024/7/10	水	5	(講) がん患者の反応と適応, 支援	三浦 至	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
三浦 至	教授	神経精神医学講座
板垣 俊太郎	准教授	神経精神医学講座
日高 友郎	講師	衛生学・予防医学講座
青木 俊太郎	助教	医療人育成支援センター

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

精神科の医師として実務経験のある教官が実施する。(三浦至, 板垣俊太郎)

科目・コース（ユニット）名： 基礎臨床統合
英語名称：Foundation of Pathophysiology

【担当責任者】 亀岡弥生（医療人育成・支援センター）

【連絡先】 igakukyo@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年, 【学期】 前期・後期, 【必修／選択】 必須,
【授業形態】 演習

【概要】 1・2年生で学ぶ基礎医学の知識が疾患理解に深く繋がることを意識してきただろうか。病態生理のほとんどはこれまで学んだ基礎医学の知識で説明できる。この科目では、common diseasesの病態生理を、これまで学んだ基礎医学の知識を統合し考える思考回路を構築することを目指す。

【学習目標】

1. 症状や疾患のおこる機序を、基礎医学の知識を用いて考え、説明することができる。
2. 検査所見を評価し、そこから読み取れる病態を考え、説明することができる。
3. 他者と協働し、考えを深めることができる。

【教科書】

- ・解剖学、組織学、生理学、薬理学、免疫学、病理学、生化学の履修時に用いた教科書
- ・内科学（朝倉書店）

【参考書】

「ハマー&マクフィー 疾患の病態整理—臨床医学入門」国分眞一郎・中山智祥監訳 丸善出版

【成績評価方法】

- ① 出席状況（原則として全授業への出席を求めるが、履修規定に則り、単位認定には三分の二以上の出席が必要）
 - ② 事前学習の提出状況
 - ③ グループワークの提出状況と内容
 - ④ 授業後の提出物（マイベストアンサー）の提出状況と内容
 - ⑤ 授業内の発表・質疑応答
- 上記を総合して評価する。

【学習上の注意事項】

授業前に提示される事前課題には必ず取り組んで、自分の言葉で記述して欲しい。なお、事前課題の解答は、授業後の「マイベストアンサー」提出時に、修正を加えて提出できるよう、wordに打ち込んでおくのが望ましい。

【垂直的統合授業の実施内容】内科学で取り扱う疾患の病態を、基礎医学の視点と臨床医学の視点の両方から解説する。

【水平的統合授業の実施内容】一つの疾患の病態生理を説明するために、複数の基礎医学領域の知識を統合して考え、説明する必要がある。

【授業スケジュール】

ガイダンスにおいて、詳細を配布する。

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	
1	2024/6/27	木	2	(講) ガイダンス	亀岡弥生	
2	2024/7/11	木	1, 2	(演) 心不全	狭間章博	(ファシリテータ) 安井清孝 亀岡弥生
3	2024/7/17	水	2, 3		永福智志	
4	2024/7/18	木	未定	(演) 心電図	及川雅啓	
5	2025/1/14	火	2, 3	(演) 喘息	狭間章博	
6	2025/1/20	月	2, 3		永福智志	
7	2025/1/21	火	2, 3		橋本優子	
					齋藤純平	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
狭間章博	教授	細胞統合生理学講座
永福智志	教授	システム神経化学講座
及川雅啓	講師	循環器内科学講座
島袋充生	教授	糖尿病内分泌代謝内科学講座
齋藤純平	准教授	呼吸器内科学講座
橋本優子	教授	病理病態診断学講座
安井清孝	助教	医療人育成・支援センター
亀岡弥生	教授	医療人育成・支援センター

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

科目・コース（ユニット）名：腫瘍学演習
英語名称：Problem based learning in oncology

【担当責任者】橋本 優子（病理病態診断学）

【連絡先】病理病態診断学講座（内線 2182）

【開講年次】2年 【学期】後期 【必修／選択】必修

【授業形態】講義／演習

【概要】病理学総論やその他の基礎医学で学んだことを基礎として、それらを発展させ、PBL形式を含めた腫瘍学演習をおこなう。感染症、環境要因、自己免疫などで傷害を受けた細胞が、どのような異常をおこし腫瘍化するのか、どのように進展していくのかを、臨床症例を題材とした演習によって再認識する。さらに各がん腫のゲノム異常が、そのがん腫の特徴を生じさせており、その特徴をとらえた診断や治療法との関連性を考えていくことで、腫瘍の理解を深め次年度の臓器別講義内容へ橋渡しをすることを目的とする。

【学習目標】代表的ながん腫において、

- A: 定義・病態 ①腫瘍の定義、病態と疫学的事項（発生率、死亡率など）を概説できる
②腫瘍の症候を概説できる
③腫瘍のグレード、ステージを概説できる
- B: 診断 ①腫瘍の検査所見を概説できる
②腫瘍の画像所見や診断を説明できる
③腫瘍の病理所見や診断を概説できる
- C: 治療 腫瘍の集学的治療（手術療法・放射線療法・化学療法・生物学的療法を含む）を概説できる
- D: 知識の統合 ①総合科学・基礎医学で学んだ知識を活用し、腫瘍の特性を理解し、それぞれに合った診断や治療を自ら考えて演習に参加すること
②家族性腫瘍にかかわる患者情報など、医療者が配慮すべきに腫瘍にまつわる事項について、多面的に考察できる基盤となる知識を身につけること

【教科書】指定しないが、下記に挙げる病理学の成書の「腫瘍」あるいは各臓器の「腫瘍」の項目を参考として挙げる

（教科書）

- ・カラーイラストで学ぶ 集中講義 病理学 第2版、MEDICAL VIEW
- ・標準病理学（坂本穆彦 監修／北川昌伸、仁木利郎 編）第6版、医学書院、2019/3
- ・解明病理学（青笹克之 監修／加藤光保・金井弥栄・菅野祐幸 編）第4版、医歯薬出版、2021/11
- ・カラールービン病理学—臨床医学への基盤—改訂版（E. ルービン他 編著／鈴木利光、中村栄男、深山正久、山川光徳、吉野正 監訳）西村書店、2017/11
- ・Robbins Basic Pathology: (Robbins Pathology) [Kumar/Abbas/Aster] Saunders;10 版

(2017/04) もしくはロビンス基礎病理学 10 版 丸善出版

(アトラス)

・組織病理アトラス (深山正久、小田義直、坂元亨宇、松野吉宏、森永正二郎、森谷卓也編)
第 6 版、文光堂、2015/10

・カラーアトラス病理組織の見方と鑑別診断 (赤木忠厚監修) 第 7 版、医歯薬出版、2020/12

・組織病理カラーアトラス (坂本穆彦、北川昌伸、菅野純著) 第 3 版、医学書院、2021/05

【参考】

- ① 国立がん研究センター がん情報サービス <https://ganjoho.jp>
- ② WHO CANCER TODAY <https://gco.iarc.fr/today/home>
- ③ 基礎医学の教科書 (分子細胞生物学、情報生化学、組織学、微生物学、免疫学、薬理学など各シラバス参照)
- ④ ワインバーグ がんの生物学 (原書第 2 版) : 教科書 / 南江堂
- ⑤ コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート 日本人類遺伝学会 (編集)

【成績評価方法】

- ・演習への参加度 : グループ討議や課題レポートで評価
- ・知識の定着度 : 前回授業の演習内容の確認テストを演習最初に行い提出、評価。
- ・基本的に必修・出席を求める。
- ・この演習の評価が進級判定に用いられることはないが、病理学総論の腫瘍の修得度の参考資料となることがある。

【学習上の注意事項】

グループ討論のほか、検鏡による病理組織観察、スケッチ、発表もある。必要な教材、資料を忘れずに持参すること

【垂直的統合授業の実施内容】

腫瘍学が関連する内容においてそれぞれ連携している

- ・総合科学 : 細胞生物学など
- ・社会医学 : 疫学、衛生学、公衆衛生学 (予防医学)
- ・臨床医学 : 内科診断学、内科学 (各領域) および外科学 (各領域)、腫瘍内科学、放射線診断学、放射線腫瘍学、臨床検査学など

【水平的統合授業の実施内容】

腫瘍の原因や薬剤治療、外科治療に必要な解剖学的な特徴の理解などにおいて基礎医学系が総合的に関与している

・組織学・解剖学・生理学・微生物学・免疫学・薬理学・病理学

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】該当なし

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2024/9/27	金	4	導入ガイダンス	橋本
2	2024/9/27	金	5	導入ガイダンス	橋本
3	2024/9/27	金	6	導入ガイダンス	橋本
4	2024/10/08	火	4	演習① 胃癌-1	橋本 引地
5	2024/10/08	火	5	演習① 胃癌-2	橋本
6	2024/10/08	火	6	演習① 胃癌-3	橋本
7	2024/11/14	木	2	演習② 血液性腫瘍-1	橋本 *
8	2024/11/14	木	3	演習② 血液性腫瘍-2	橋本 *
9	2024/11/22	金	4	演習③ 卵巣癌-1	橋本
10	2024/11/22	金	5	演習③ 卵巣癌-2	橋本
11	2024/11/22	金	6	演習③ 卵巣癌-3	橋本
12	2024/11/25	月	1	演習④ 大腸癌-1	杉本
13	2024/11/25	月	2	演習④ 大腸癌-2	杉本
14	2024/11/25	月	3	演習④ 大腸癌-3	杉本
15	2024/11/29	金	4	演習	橋本 小林
16	2024/11/29	金	5	特別講義	
17	2024/11/29	金	6	「遺伝子医療・ゲノム医療」の基礎	
18	2024/12/02	月	1	演習⑤ 乳癌-1	喜古
19	2024/12/02	月	2	演習⑤ 乳癌-2	喜古
20	2024/12/02	月	3	演習⑤ 乳癌-3	喜古 佐治
21	2024/12/04	水	2	演習④ 大腸癌-4	杉本
22	2024/12/04	水	3	演習④ 大腸癌-5	杉本
23	2024/12/11	水	2	演習⑥ 肺癌-1	橋本 武藤
24	2024/12/11	水	3	演習⑥ 肺癌-2	橋本 武藤
25	2025/01/08	水	4	演習⑦ 膵癌-1	橋本
26	2025/01/08	水	5	演習⑦ 膵癌-2	橋本
27	2025/01/27	月	5	演習 家族性腫瘍	橋本 *
28	2025/01/27	月	6	演習 家族性腫瘍	橋本 *
29	2025/01/28	火	4	演習 家族性腫瘍	橋本 *

30	2025/01/28	火	5	演習 家族性腫瘍	橋本 *
31	2025/01/28	火	6	演習 家族性腫瘍	橋本 *

【担当教員】

教員氏名	職	所属
橋本 優子	教授	病理病態診断学講座
喜古 雄一郎	学内講師	病理病態診断学講座
亀岡 弥生	教授	医療人育成支援センター
佐治 重衡	教授	腫瘍内科学講座
引地 拓人	准教授	内視鏡診療部
武藤 哲史	助教	呼吸器外科学講座
杉本 幸太郎	講師	基礎病理学講座
小林 朋子	准教授	東北大学予防医学・疫学部門小児発達学分野
*未定		

【担当責任者】 末永恵子

【連絡先】 suenaga@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年, 【学期】 後期, 【必修／選択】 必修

【授業形態】：講義

【概要】現代の医学は、ヒトの生物学として、自然科学の知識を基盤として成り立つものの、ひとつひとつの医療行為は、歴史的・地域的・文化的・経済的背景に規定された社会的行為です。医学を歴史的社会的営みとしてとらえ、まずは、〈文化〉や〈制度〉として相対化してみましょう。そのような視点から「病気」とは何か、「治療」とは何か、患者/医師関係とは何かを考えてみたいと思います。

【学習目標】

医学・医療について、広く歴史的文化的視点から把握し、相対化する姿勢を養うことができる。さらに、現代医療の様々な事象を考察する際に必要となる社会的に俯瞰する力を身につける。病気、医療、患者／医師関係について考え続ける姿勢を身に着けることができる。

【教科書】 授業時に配布するテキスト

【参考書】

黒田浩一郎編『医療社会学のフロンティア』世界思想社 2001年

川喜田愛郎著『医学概論』、ちくま学芸文庫 2012年

高草木光一編『思想としての「医学概論」』、岩波書店 2013年

黒田浩一郎編『新版 現代医療の社会学』世界思想社 2015年

【成績評価方法】

・授業の理解度を時間ごとのレポートによって評価するが、その評価は、教材を社会的歴史的観点から考察する姿勢を重視する。

・出席については、出席については、規定に基づき原則として、2／3以上の出席を要する。

・レポート点 $30 \times 3 = 90$ 点 参画態度 10点

【学習上の注意事項】

意見交換をします。活発な議論を期待しています。

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	2024年11月11日	月	4	（講）導入：病とは何か 文化人類学の知見	末永恵子
2	2024年11月11日	月	5	（講）医学・医療とは何か。 患者/医師関係	末永恵子
3	2024年11月18日	月	4	（講）近代医学の成立と発展	末永恵子
4	2024年11月18日	月	5	（講）医学の光と陰	末永恵子
5	2024年11月25日	月	4	（講）日本の近代医療の特徴	末永恵子
6	2024年11月25日	月	5	（講）現代医学・医療の諸問 題	末永恵子

【担当教員】

教員氏名	職	所属
末永恵子	講師	総合科学教育研究センター 人文社会科学領域